

第3期上北山村子ども・子育て支援事業計画
策定に係るニーズ調査

報 告 書

令和6（2024）年11月

 上北山村

目次

第1章 調査の概要.....	5
1 調査の目的.....	5
2 調査の設計.....	5
3 回収状況.....	6
4 報告書の見方.....	6
第2章 子ども・子育て支援に関するニーズ調査.....	7
1 お子さんご家族の状況について.....	7
2 子どもの育ちをめぐる環境について.....	11
3 お子さんの母親・父親の就労状況について.....	14
4 お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について.....	19
5 お子さんの土曜、日曜日・祝日の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について.....	24
6 小学校就学後の放課後の過ごし方について.....	28
7 お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について.....	34
8 とちの木センターについて.....	40
9 育児休業などの職場と子育ての両立支援制度について.....	43
10 子ども・子育て支援全般について.....	49
第3章 こどもの意識と生活に関する調査.....	59
1 回答者自身のことについて.....	59
2 ふだんの生活について.....	63
3 相談先について.....	76
4 子どもの権利について.....	79
5 ヤングケアラーについて.....	81
6 こどもまんなか社会について.....	82
参考資料.....	85
1 子ども・子育て支援に関するニーズ調査.....	85
2 こどもの意識と生活に関する調査.....	101

第1章 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、令和6（2024）年度に行う「第3期上北山村子ども・子育て支援事業計画」の策定の資料として、保育ニーズや子育て支援サービスの利用状況や利用意向、子どもと保護者の意識等を把握することを目的として実施するものです。

2 調査の設計

（1）調査対象

図表 1-2-1 調査対象

調査の種類	対象者数
子ども・子育て支援に関するニーズ調査	上北山村に在住の未就学児・就学児童の保護者全18人
こどもの意識と生活に関する調査	上北山村に在住の義務教育学校前期課程5・6年生及び後期課程7～9年生本人全8人

（2）調査期間

図表 1-2-2 調査期間

調査の種類	調査期間
子ども・子育て支援に関するニーズ調査	令和6（2024）年10月22日から 令和6（2024）年10月22日まで
こどもの意識と生活に関する調査	

（3）調査方法

図表 1-2-3 調査方法

調査の種類	調査方法
子ども・子育て支援に関するニーズ調査	直接配布・直接回収
こどもの意識と生活に関する調査	

3 回収状況

図表 1-3-1 回収状況

調査の種類	配付数	有効回答数	有効回答率
子ども・子育て支援に関するニーズ調査	18 件	17 件	94.4%
こどもの意識と生活に関する調査	8 件	8 件	100.0%

4 報告書の見方

- 調査結果の図表は、原則として回答者の構成比(百分率)で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 集計は、回答者数(該当質問においては該当者数)を100%として算出し、本文及び図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記します。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100.0%にならない場合があります。また、複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 第3章における「令和3年度国調査」とは、令和3(2021)年度に内閣府が実施した「令和3年 子供の生活状況調査」を、「令和4年度国調査」とは、令和4(2022)年度に内閣府が実施した「こども・若者の意識と生活に関する調査(10歳~14歳対象調査)」を、「令和5年度国調査」とは、令和5(2023)年度にこども家庭庁が実施した「こども政策の推進に関する意識調査」を指しています。

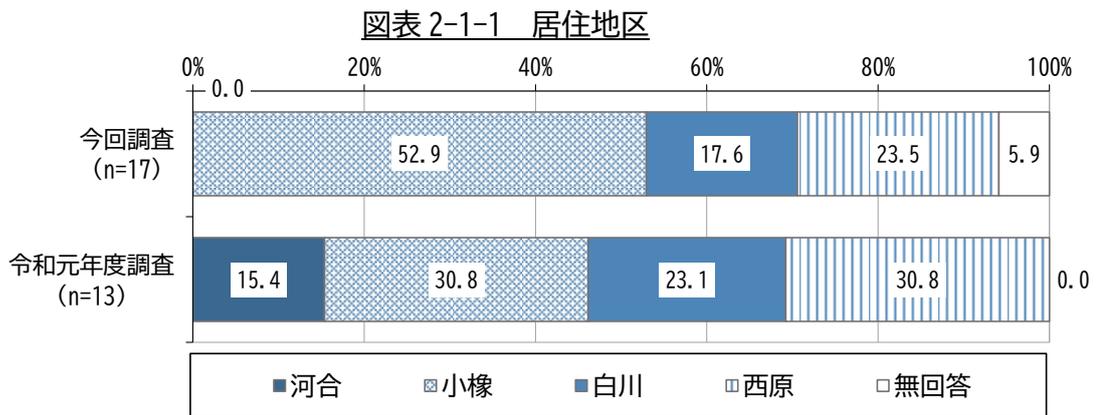
第2章 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

1 お子さんご家族の状況について

(1) 居住地区

問1 お住いの地区はどちらですか。(〇は1つ)

居住地区については、「小椽」が52.9%で最も高くなっています。

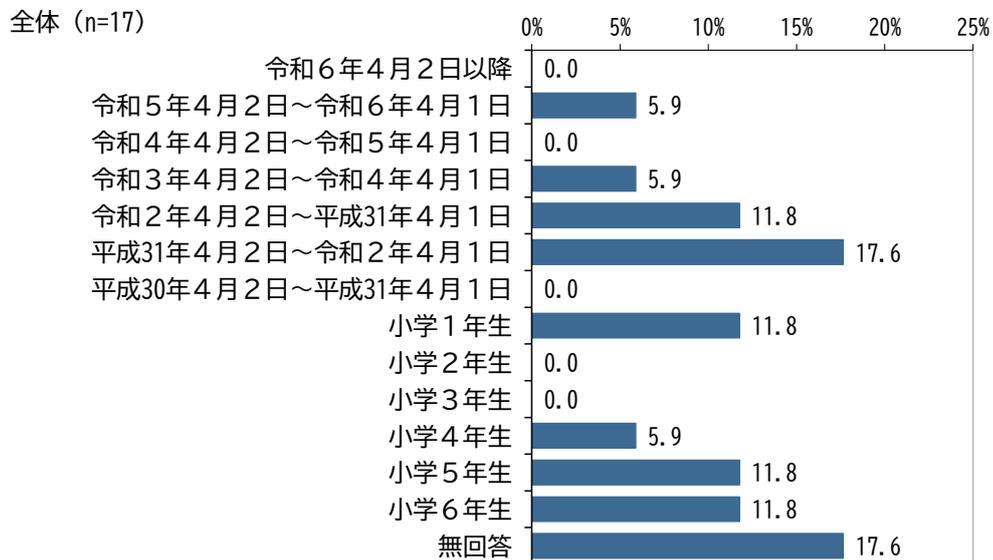


(2) 対象の子どもの学年（生年月日）

問2 この調査票の対象となっているお子さんの生年月日は、次のうちのどれに該当しますか。また、小学生の方はどの学年に該当しますか。(〇は1つ)

対象の子どもの学年（生年月日）については、「平成31年4月2日～令和2年4月1日」が17.6%で最も高くなっています。

図表 2-1-2 対象の子どもの学年（生年月日）

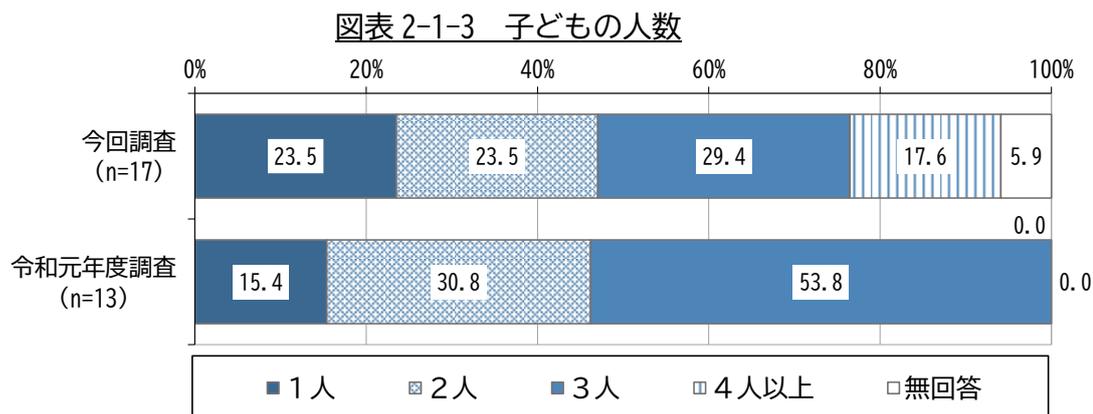


(3) 子どもの人数

問3 この調査票の対象となっているお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。(〇は1つ)

子どもの人数については、「3人」が29.4%で最も高くなっています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「4人以上」(17.6%)では、令和元(2019)年度調査(0.0%)より17.6ポイント増加しています。

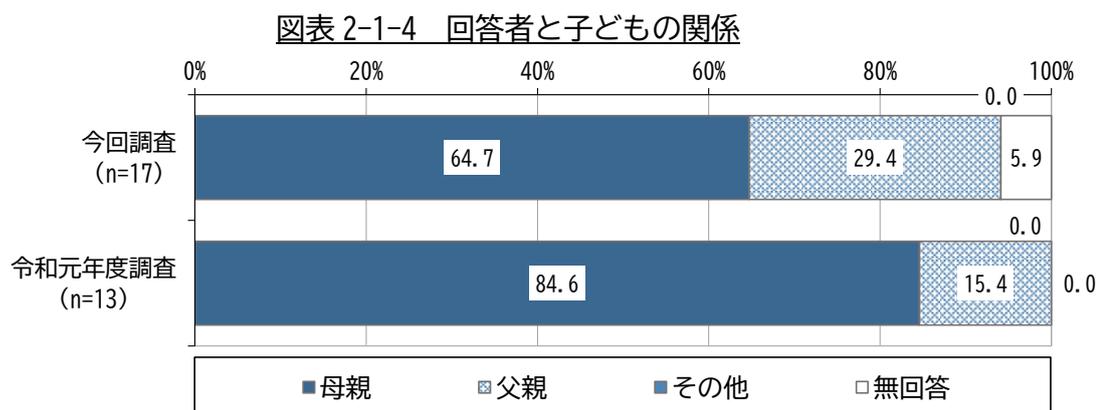


(4) 回答者と子どもの関係

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(〇は1つ)

回答者と子どもの関係については、「母親」が64.7%で最も高くなっています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「父親」(29.4%)では、令和元(2019)年度調査(15.4%)より14.0ポイント増加しています。

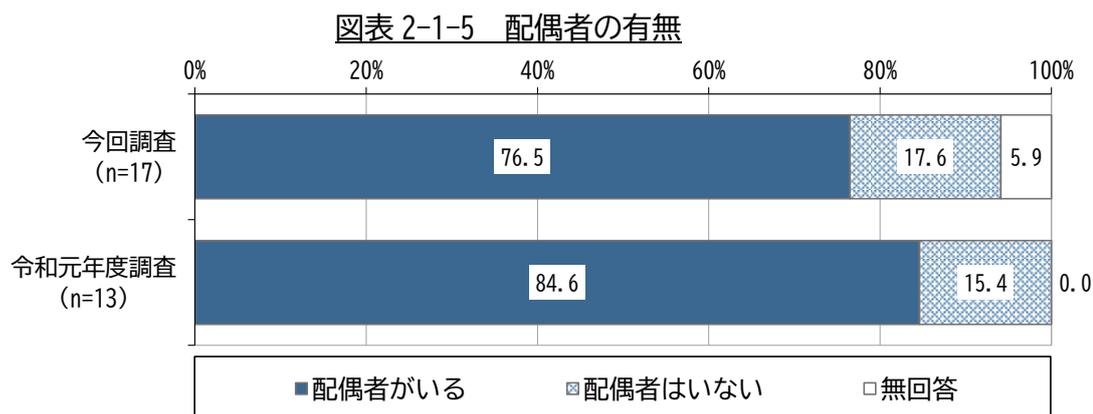


(5) 配偶者の有無

問5 この調査にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。(○は1つ)

配偶者の有無については、「配偶者がいる」が76.5%、「配偶者はいない」が17.6%となっています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「配偶者がいる」(76.5%)では、令和元(2019)年度調査(84.6%)より8.1ポイント減少しています。



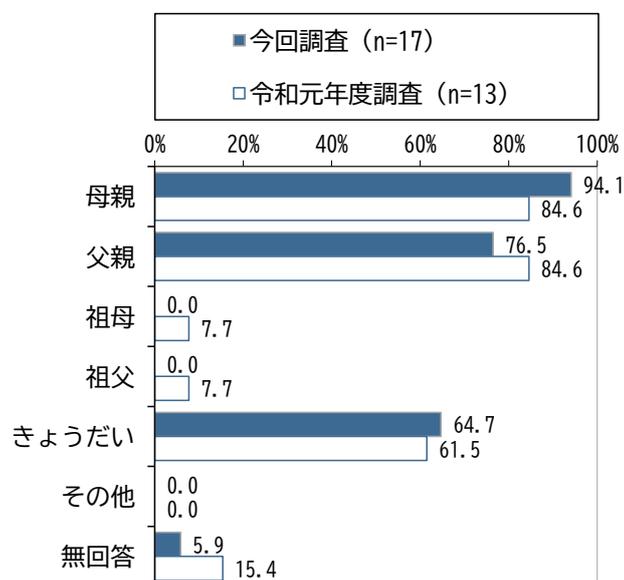
(6) 子どもの同居家族

問6 この調査票の対象となっているお子さんからみて、同居の家族はどなたですか。(あてはまる番号すべてに○)

子どもの同居家族については、「母親」が94.1%で最も高くなっています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「父親」(76.5%)では、令和元(2019)年度調査(84.6%)より8.1ポイント減少し、最も減少した項目となっています。

図表 2-1-6 子どもの同居家族

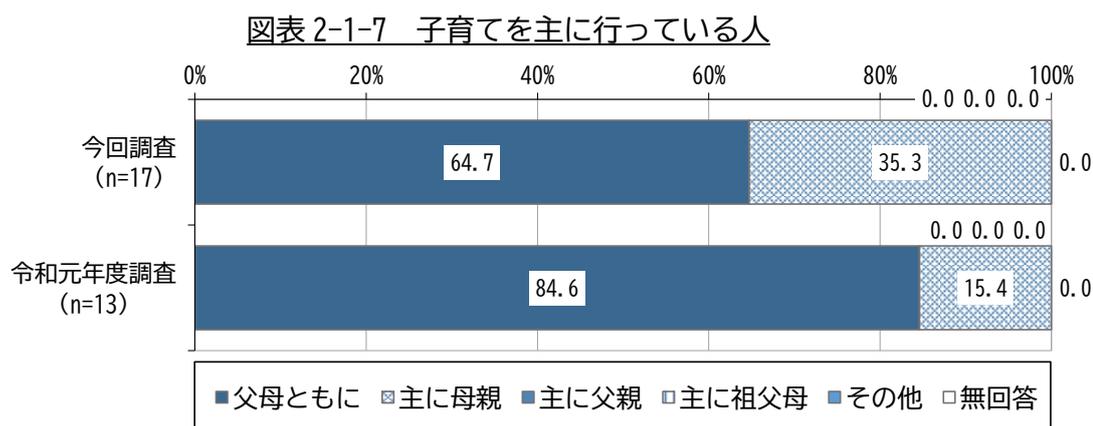


(7) 子育てを主に行っている人

問7 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（○は1つ）

子育てを主に行っている人については、「父母ともに」が64.7%で最も高くなっています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「主に母親」（35.3%）では、令和元（2019）年度調査（15.4%）より19.9ポイント増加しています。



2 子どもの育ちをめぐる環境について

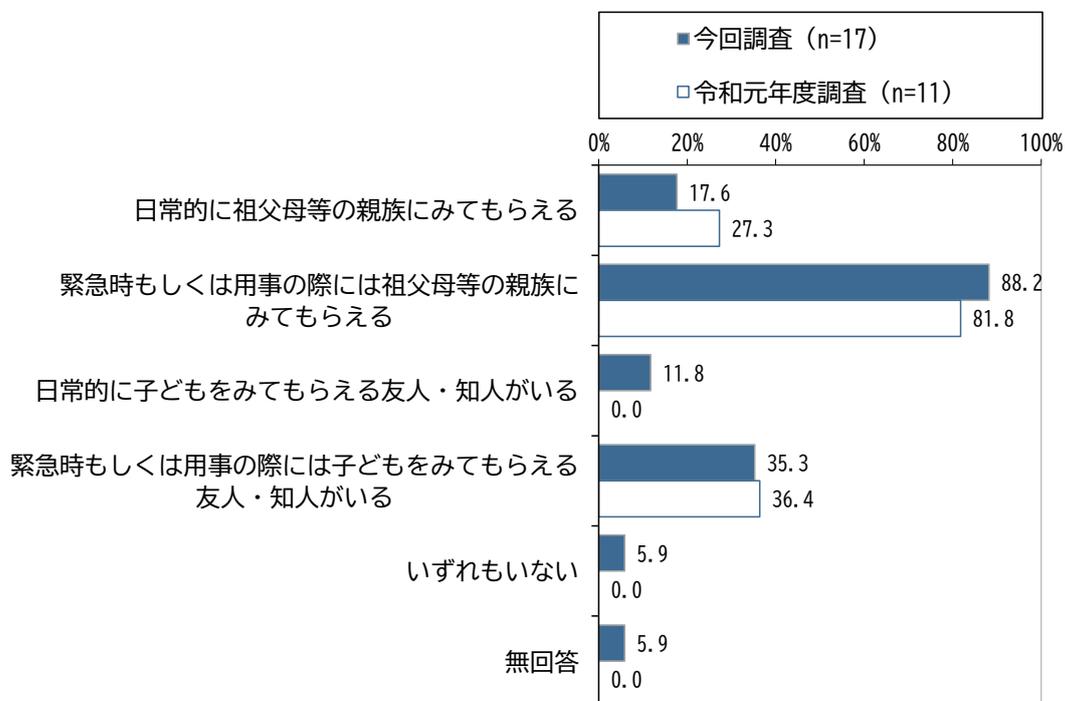
(1) 子どもの面倒を見てもらえる人の有無

問8 日頃、この調査票の対象となっているお子さんの面倒を見てもらえる人はいますか。
(あてはまる番号すべてに○)

子どもの面倒を見てもらえる人の有無については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が88.2%で最も高くなっています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(17.6%)では、令和元(2019)年度調査(27.3%)より9.7ポイント減少し、最も減少した項目となっています。

図表 2-2-1 子どもの面倒を見てもらえる人の有無

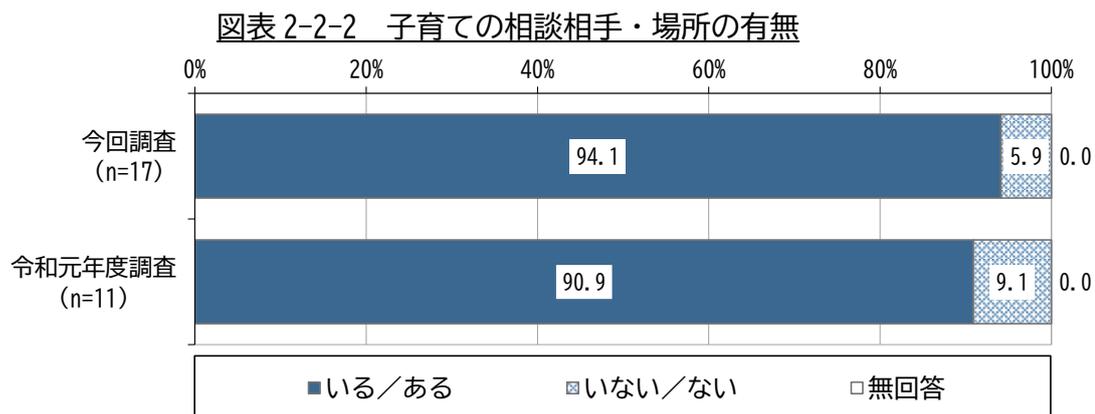


(2) 子育ての相談相手・場所の有無

問9 この調査票の対象となっているお子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(○は1つ)

子育ての相談相手・場所の有無については、「いる／ある」が94.1%、「いない／ない」が5.9%となっています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。



(3) 子育ての相談相手・場所

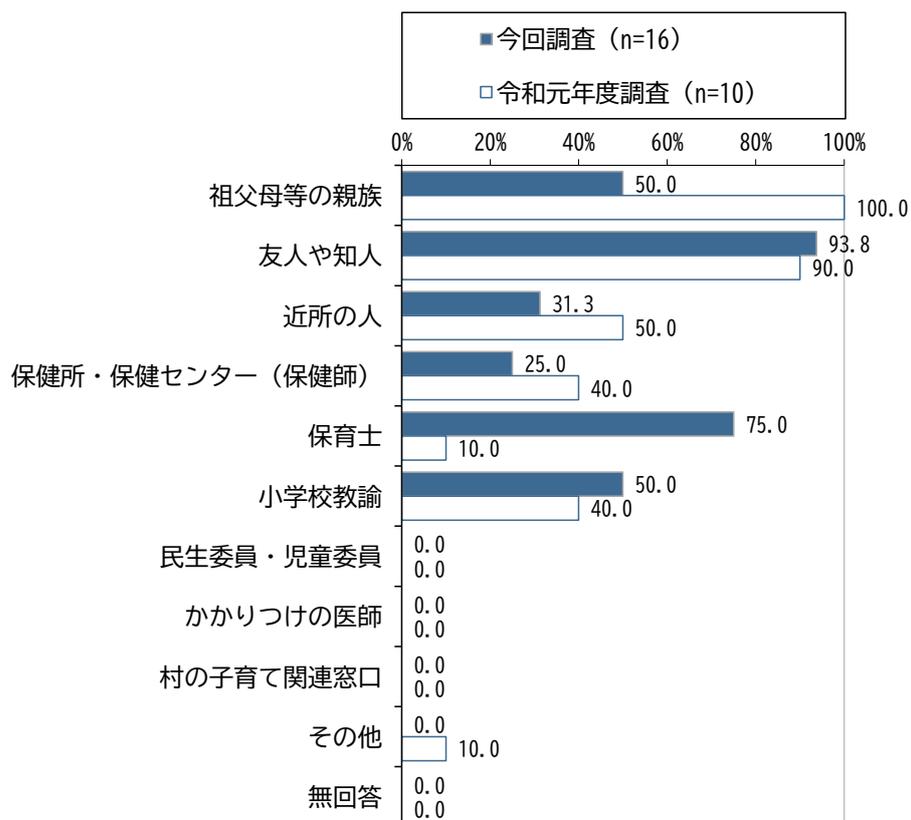
問9で「1. いる／ある」を選択した方にかがいます。

問10 気軽に相談できる人や場所などについて教えてください。

(あてはまる番号すべてに○)

子育ての相談相手・場所については、「友人や知人」が93.8%で最も高くなっています。令和元（2019）年度調査と比較すると、「保育士」（75.0%）では、令和元（2019）年度調査（10.0%）より65.0ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 2-2-3 子育ての相談相手・場所



※ 「保健所・保健センター（保健師）」の選択肢について、令和元（2019）年度調査では「ワースリビングかみきた（保健師・看護師）」、「村の子育て関連窓口」の選択肢について、令和元（2019）年度調査では「教育委員会・役場の担当窓口」となっています。

3 お子さんの母親・父親の就労状況について

(1) 母親・父親の就労状況

問 11 お子さんの保護者の就労状況について、「①現在の状況」と「②1年以内の希望」(実現見込みがある)をお答えください。(母親、父親それぞれ〇は1つ)

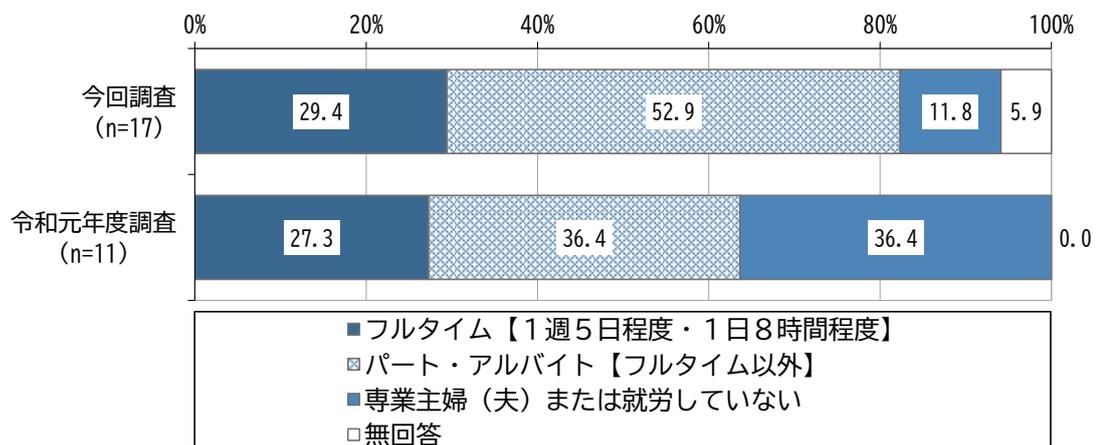
① 現在の状況

i) 母親の就労状況

現在の母親の就労状況については、「パート・アルバイト【フルタイム以外】」が52.9%で最も高くなっています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「パート・アルバイト【フルタイム以外】」(52.9%)では、令和元(2019)年度調査(36.4%)より16.5ポイント増加しています。

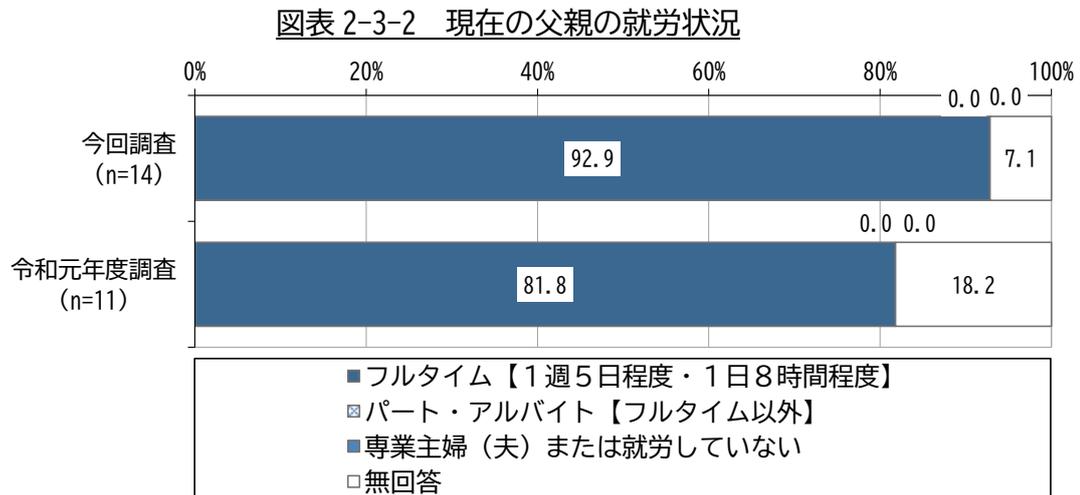
図表 2-3-1 現在の母親の就労状況



ii) 父親の就労状況

現在の父親の就労状況については、「フルタイム【1週5日程度・1日8時間程度】」が92.9%で最も高くなっています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、今回調査、令和元（2019）年度調査いずれも「フルタイム【1週5日程度・1日8時間程度】」の割合が最も高くなっています。



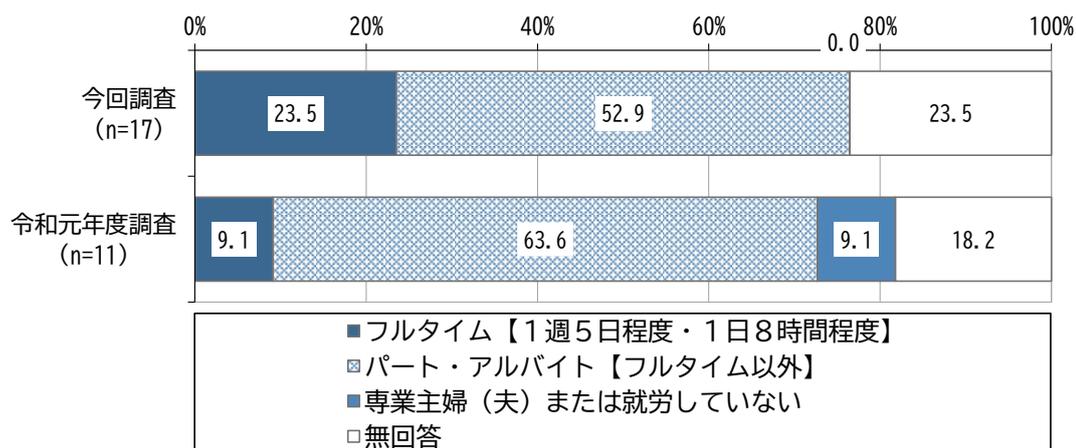
② 1年以内の希望

i) 母親の就労希望

母親の1年以内の希望については、「パート・アルバイト【フルタイム以外】」が52.9%で最も高くなっています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「フルタイム【1週5日程度・1日8時間程度】」（23.5%）では、令和元（2019）年度調査（9.1%）より14.4ポイント増加しています。

図表 2-3-3 母親の1年以内の希望

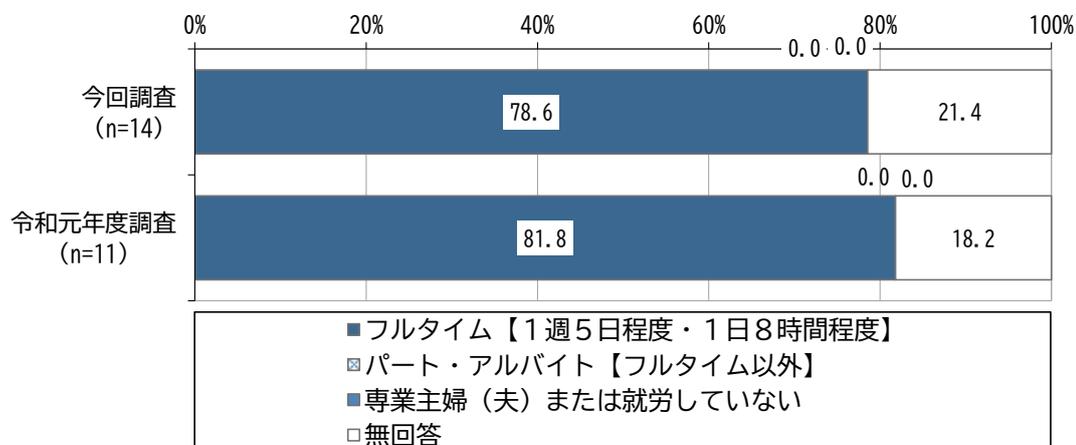


ii) 父親の就労希望

父親の1年以内の希望については、「フルタイム【1週5日程度・1日8時間程度】」が78.6%で最も高くなっています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、今回調査、令和元（2019）年度調査いずれも「フルタイム【1週5日程度・1日8時間程度】」の割合が最も高くなっています。

図表 2-3-4 父親の1年以内の希望



(2) 家を出る時間と帰宅時間

問 11 の「① 現在の状況」で「1. フルタイム」「2. パート・アルバイト」を選択した（現在働いていると答えた方）にうかがいます。

問 12 家を出る時刻と帰宅時刻を □ 内に数字でご記入ください。

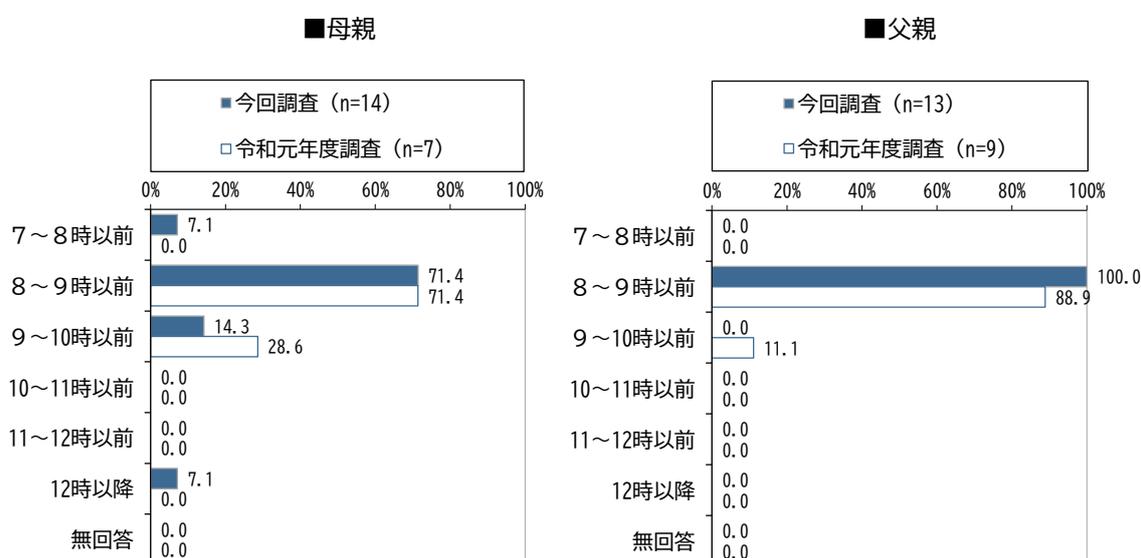
① 家を出る時間

母親が家を出る時間については、「8～9時以前」が71.4%で最も高くなっています。

一方、父親が家を出る時間については、「8～9時以前」が100.0%で最も高くなっています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、母親、父親両方について今回調査、令和元（2019）年度調査いずれも「8～9時以前」の割合が最も高くなっています。

図表 2-3-5 家を出る時間



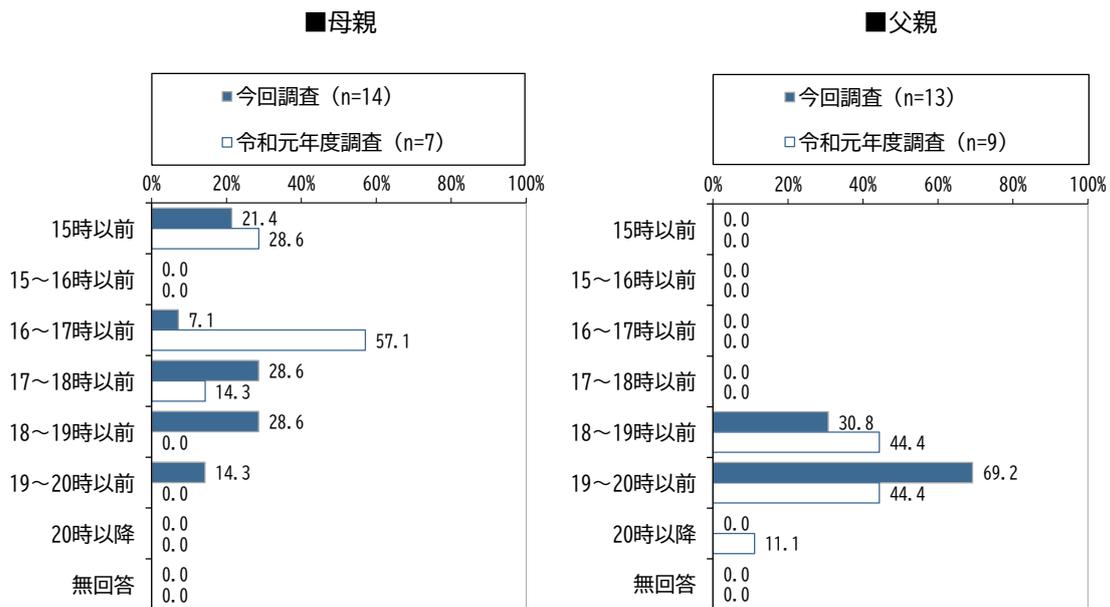
② 帰宅時間

母親の帰宅時間については、「17～18 時以前」、「18～19 時以前」がいずれも 28.6%で最も高くなっています。

一方、父親の帰宅時間については、「19～20 時以前」が 69.2%で最も高くなっています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、母親では『17 時以降』の割合が増加しており、父親では『19 時以降』の割合が増加しています。

図表 2-3-6 帰宅時間



(3) 将来的な就労希望

問 11 の「② 1年以内の希望」で「3. 専業主婦（夫）または就労していない」を選択した方がうかがいます。

問 13 1年よりも先、将来的な就労希望はありますか。（○は1つ）

該当する回答者はいませんでした。

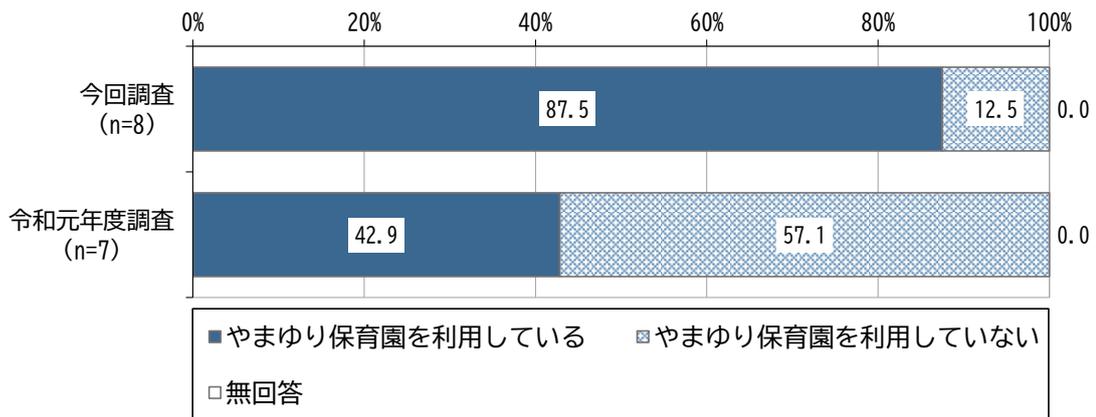
4 お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

(1) やまゆり保育園の利用状況

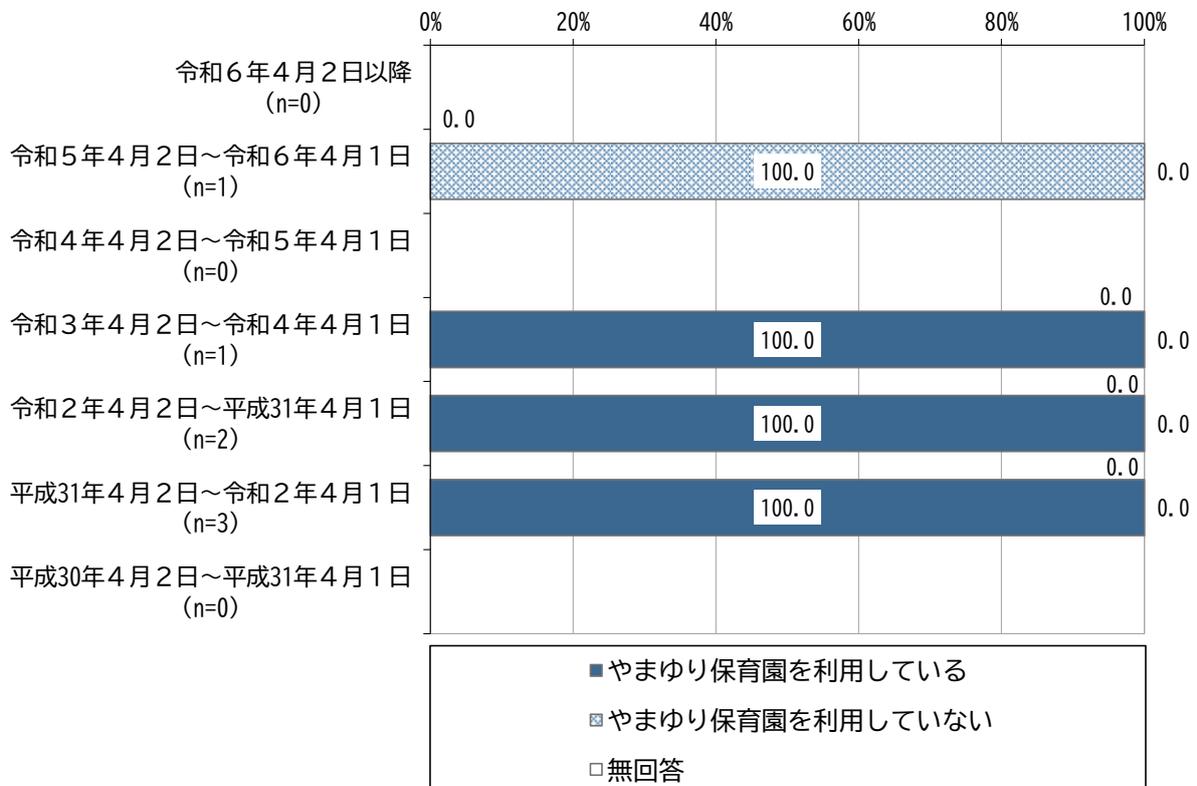
問 14 お子さんは現在「やまゆり保育園」を利用されていますか。(○は1つ)

やまゆり保育園の利用状況については、「やまゆり保育園を利用している」が87.5%、「やまゆり保育園を利用していない」が12.5%となっています。

図表 2-4-1 やまゆり保育園の利用状況



図表 2-4-2 やまゆり保育園の利用状況 子どもの生年月日別



(2) やまゆり保育園の利用状況と希望

問 14 で「1. やまゆり保育園を利用している」を選択した方にうかがいます。

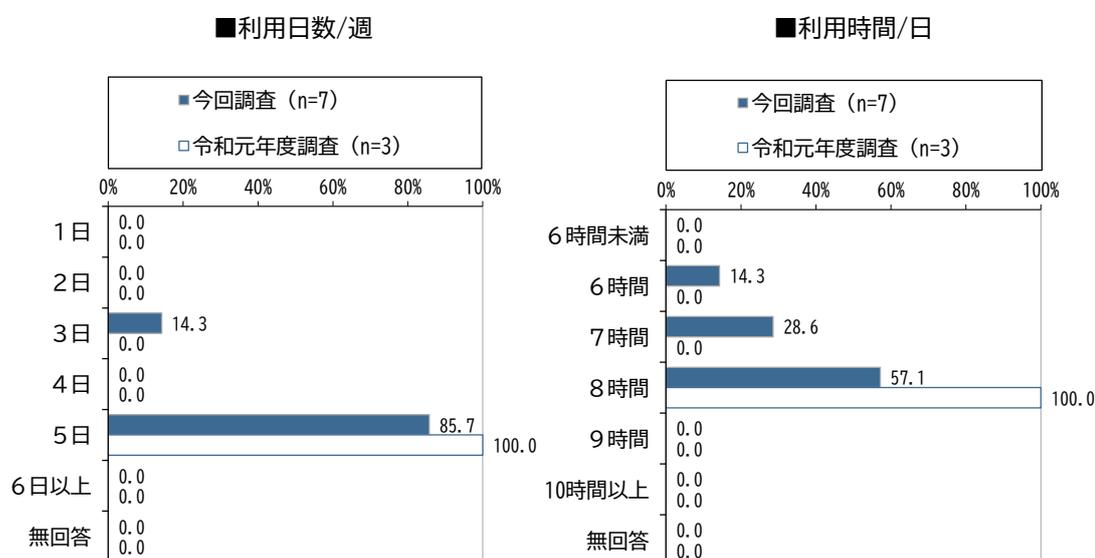
問 15 (1) やまゆり保育園について、現在の利用状況、今後の利用希望を □ 内に数字をご記ください。

① 現在の利用状況

i) 現在の利用日数・時間

現在の利用日数については、「5日」が85.7%で最も高く、利用時間については、「8時間」が57.1%で最も高くなっています。

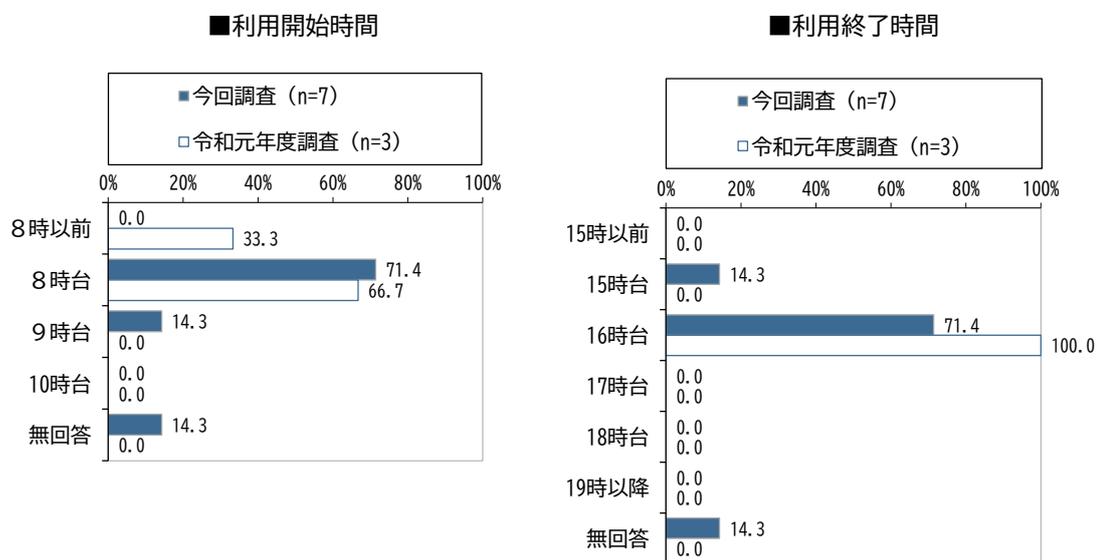
図表 2-4-3 現在の利用日数・時間



ii) 現在の利用の時間帯

現在の利用の時間帯について、利用開始時間は「8時台」が71.4%で最も高く、利用終了時間は「16時台」が71.4%で最も高くなっています。

図表 2-4-4 現在の利用の時間帯

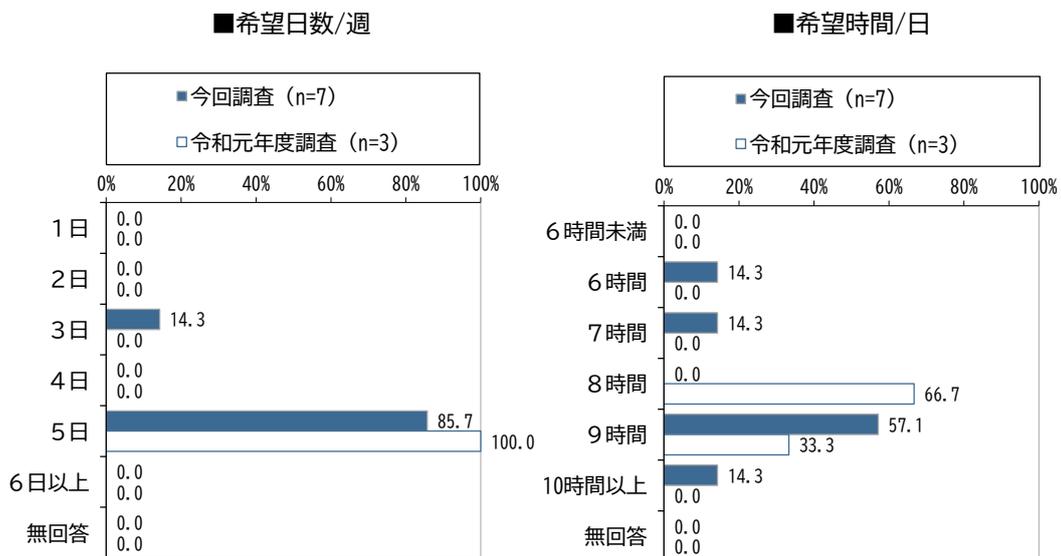


② 希望する利用時間帯等

i) 希望する利用日数・時間

希望する利用日数については、「5日」が85.7%で最も高く、利用時間については、「9時間」が57.1%で最も高くなっています。

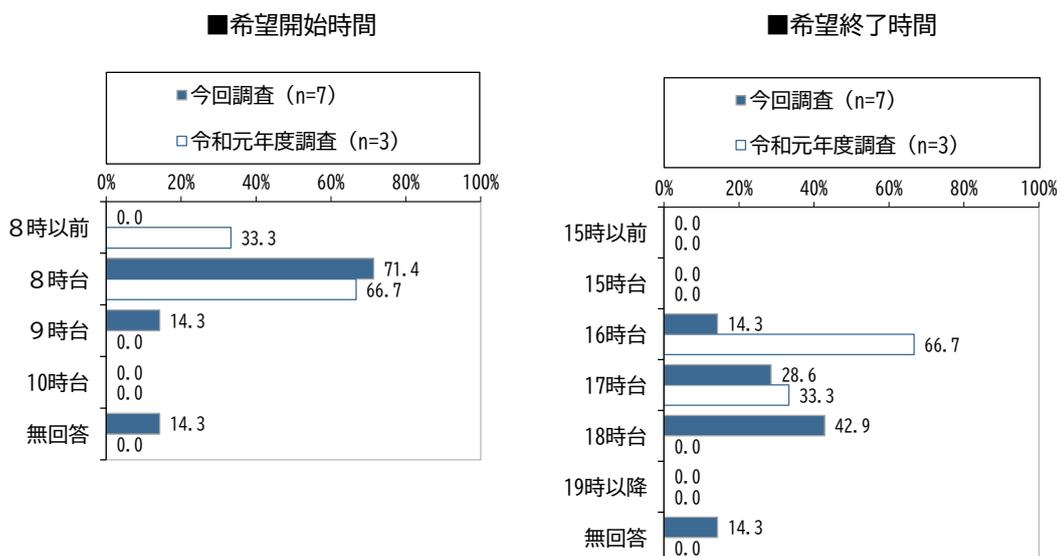
図表 2-4-5 希望する利用日数・時間



ii) 希望する利用の時間帯

現在の利用の時間帯について、利用開始時間は「8時台」が71.4%で最も高く、利用終了時間は「18時台」が42.9%で最も高くなっています。

図表 2-4-6 希望する利用の時間帯



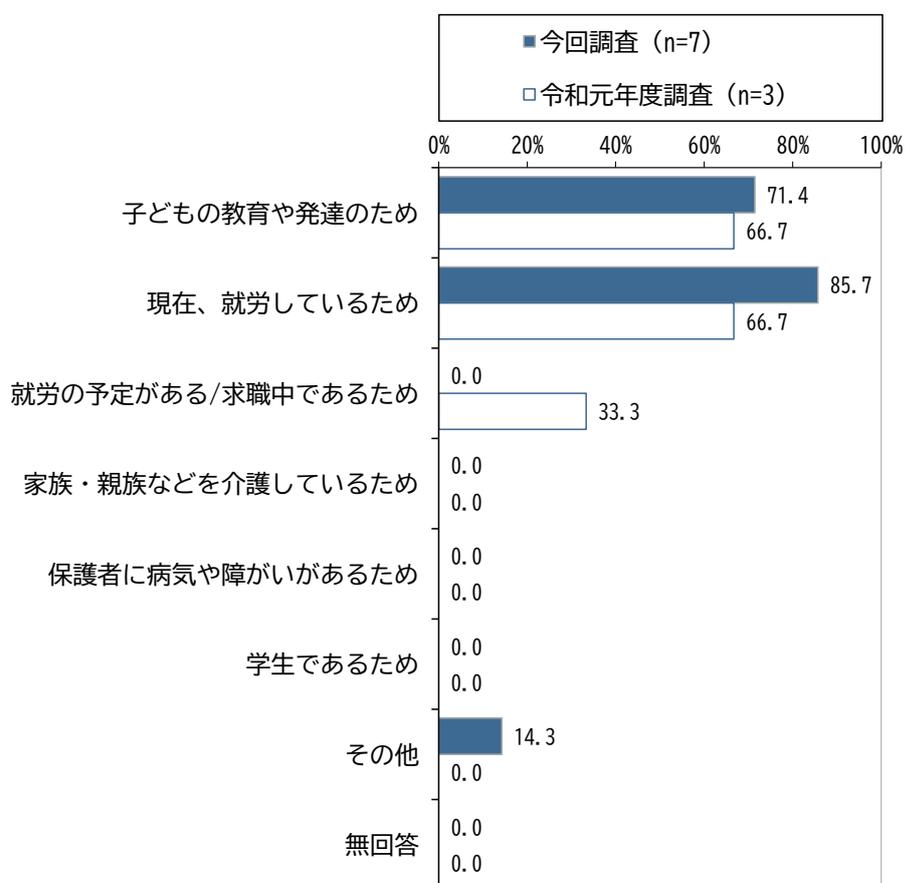
(3) 平日に定期的な教育・保育事業が必要な理由

問 15 (2) 平日、定期的に教育・保育事業が必要な理由は何ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

平日に定期的な教育・保育事業が必要な理由については、「現在、就労しているため」が 85.7%で最も高くなっています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「現在、就労しているため」(85.7%)では、令和元(2019)年度調査(66.7%)より 19.0 ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 2-4-7 平日に定期的な教育・保育事業が必要な理由



(4) やまゆり保育園を利用していない理由

問 13 で「2. やまゆり保育園を利用していない」を選択した方にうかがいます。
問 16 利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

やまゆり保育園を利用していない理由については(回答該当者数1名)、「保護者が自宅でみている」、「子どもがまだ小さいため」、「その他」との回答となっており、「子どもがまだ小さいため」の開始年齢については、「1歳くらいになったら利用しようと考えている」との回答となっています。

5 お子さんの土曜、日曜日・祝日の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

(1) 土曜、日曜日・祝日の「定期的」な教育・保育事業の利用希望

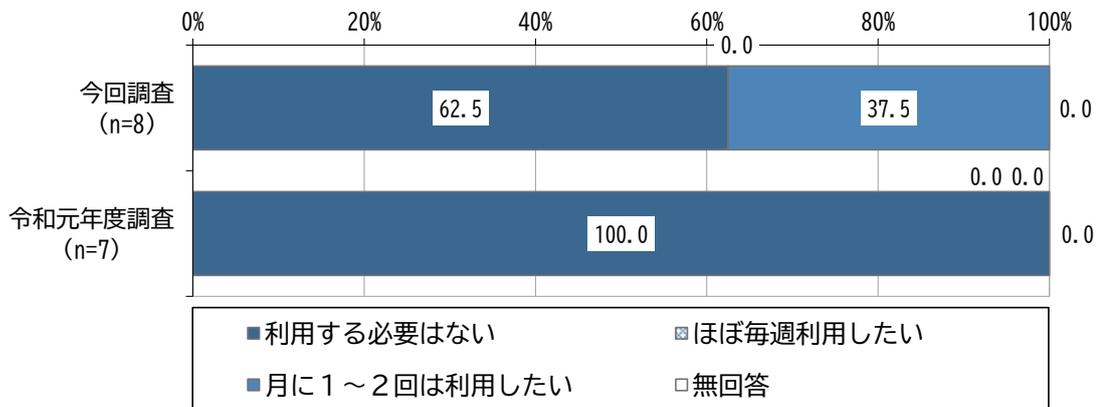
問 17 お子さんの教育・保育事業(保育園など)について、土曜日、日曜日・祝日の利用希望はありますか。(一時利用を除く)

① 土曜日

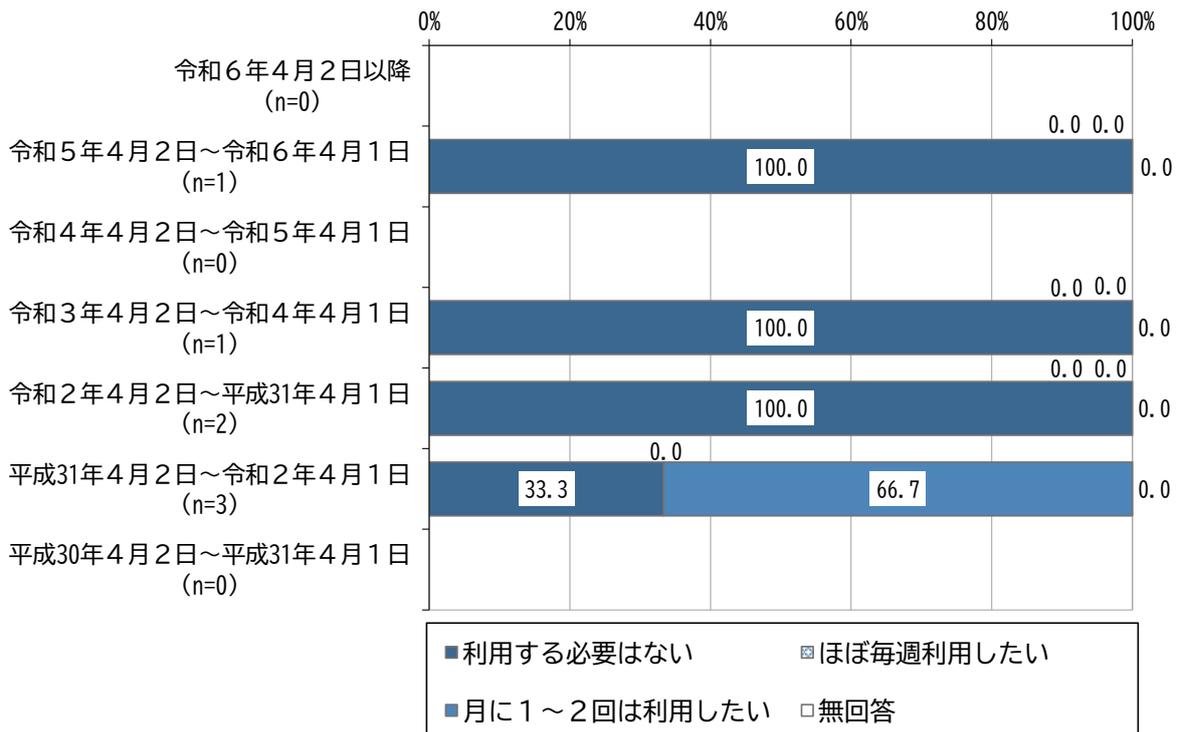
土曜日の「定期的」な教育・保育事業の利用希望については、「利用する必要はない」が62.5%で最も高くなっています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「月に1～2回は利用したい」(37.5%)では、令和元(2019)年度調査(0.0%)より37.5ポイント増加しています。

図表 2-5-1 土曜日の「定期的」な教育・保育事業の利用希望

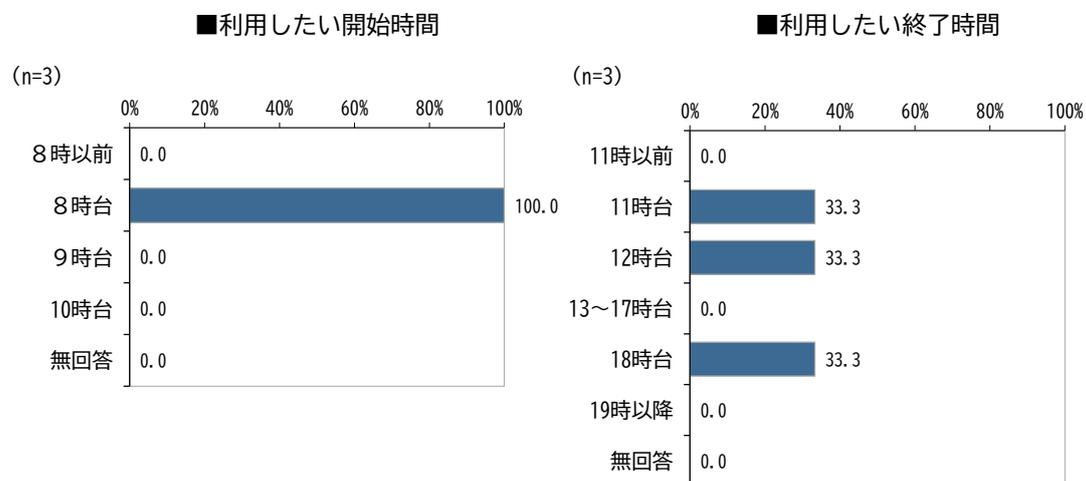


図表 2-5-2 土曜日の「定期的」な教育・保育事業の利用希望 子どもの生年月日別



利用したい時間帯について、開始時間は「8時台」が100.0%で最も高く、終了時間は「11時台」、「12時台」、「18時台」がいずれも33.3%となっています。

図表 2-5-3 利用したい時間帯

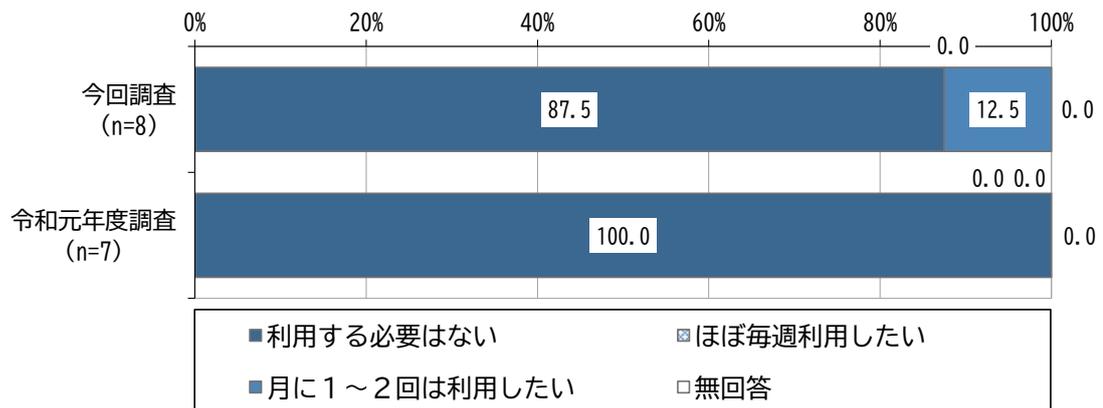


② 日曜日・祝日

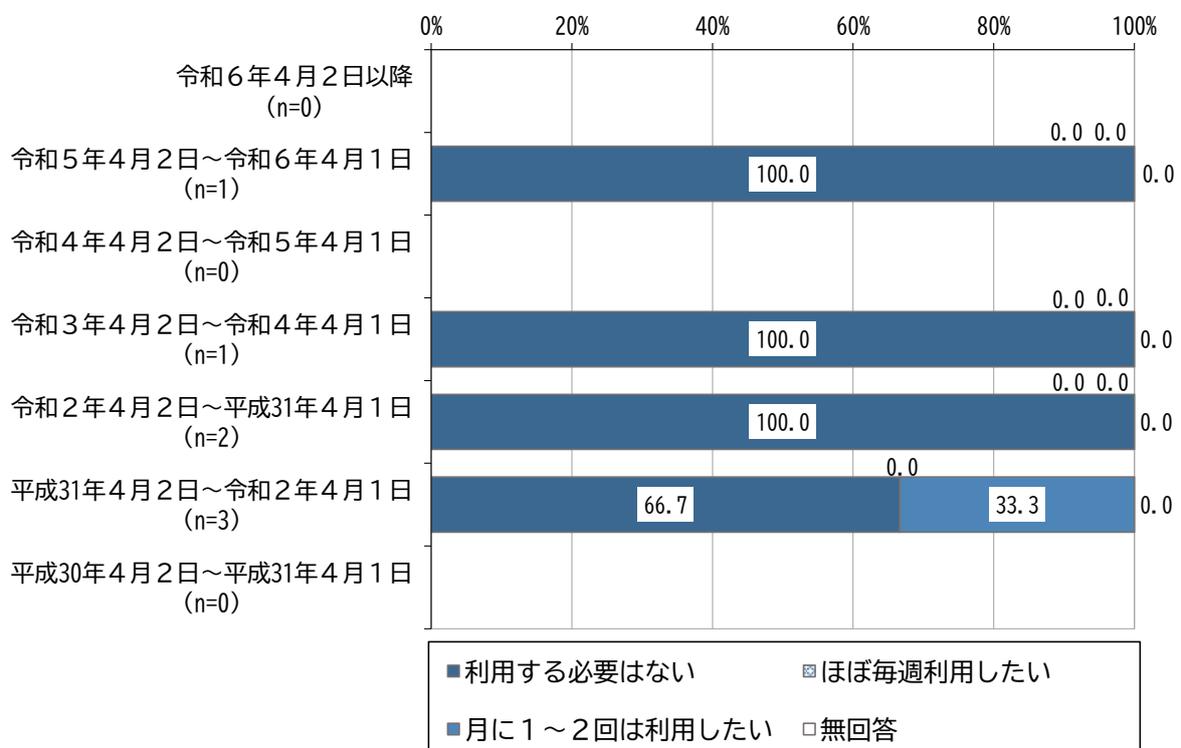
日曜日・祝日の「定期的」な教育・保育事業の利用希望については、「利用する必要はない」が87.5%で最も高くなっています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「月に1～2回は利用したい」（12.5%）では、令和元（2019）年度調査（0.0%）より12.5ポイント増加しています。

図表 2-5-4 日曜日・祝日の「定期的」な教育・保育事業の利用希望

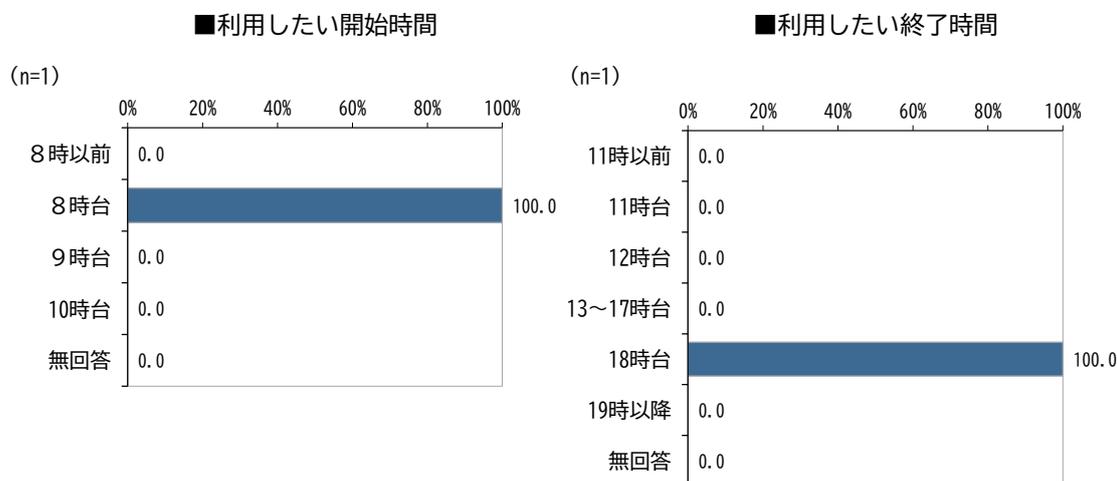


図表 2-5-5 日曜日・祝日の「定期的」な教育・保育事業の利用希望 子どもの生年月日別



利用したい時間帯について、開始時間は「8時台」が100.0%、終了時間は「18時台」が100.0%となっています。

図表 2-5-6 利用したい時間帯



(2) 土曜、日曜日・祝日の「定期的」な教育・保育事業の利用希望理由

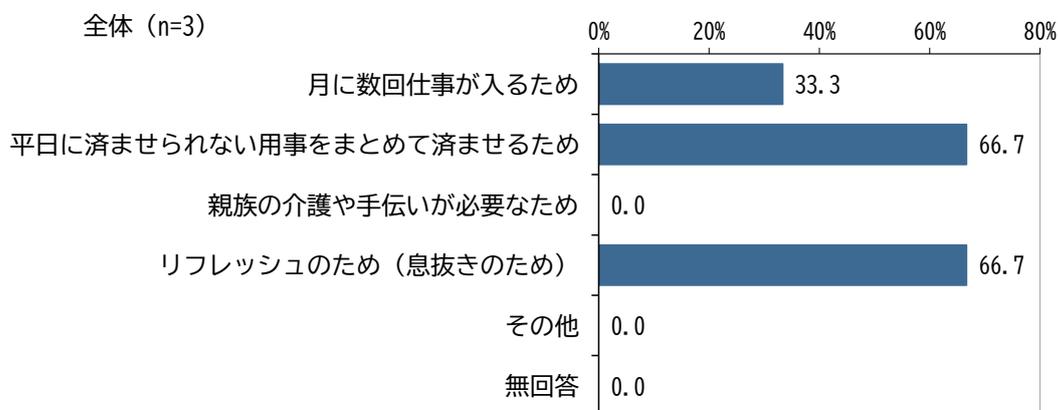
問 17 (1) または (2) で「3. 月に1~2回は利用したい」を選択した方にうかがいます。

問 18 毎週ではなく、月に1~2回利用したい理由は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

土曜、日曜日・祝日の「定期的」な教育・保育事業の利用希望理由については、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」、「リフレッシュのため(息抜きのため)」がいずれも66.7%で最も高くなっています。

図表 2-5-7 土曜、日曜日・祝日の「定期的」な教育・保育事業の利用希望理由



6 小学校就学後の放課後の過ごし方について

(1) 小学校就学後の放課後の過ごし方（就学前児童）

問 19 お子さんが小学校に入ったら、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(1)小学校1～3年生の間、(2)小学校4～6年生の間でそれぞれ希望する場所を【選択肢】から3つまで選び、週あたりの希望日数をお答えください。
(□ 内に数字を記入)

① 小学校1～3年生の間

小学校1～3年生の間に過ごさせたい場所については、「放課後児童クラブ」が87.5%で最も高くなっています。

図表 2-6-1 小学校1～3年生の間に過ごさせたい場所

単位：実数（件）、構成比（％）

全体(n=8)	自宅		知人・祖父母宅や友人宅		塾・習い事（ピアノ教室、スポーツクラブなど）		放課後支援		放課後児童クラブ		とちの木センター		その他（公園など）	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
合計	2	25.0	0	0.0	1	12.5	3	37.5	7	87.5	1	12.5	3	37.5
希望日数/週	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	0	0.0	0	0.0	1	100.0	2	66.7	0	0.0	1	100.0	1	33.3
2日	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	28.6	0	0.0	1	33.3
3日	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	28.6	0	0.0	0	0.0
4日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	14.3	0	0.0	1	33.3
5日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	33.3	1	14.3	0	0.0	0	0.0
6日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	14.3	0	0.0	0	0.0
7日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

② 小学校4～6年生の間

小学校4～6年生の間に過ごさせたい場所については、「放課後児童クラブ」が87.5%で最も高くなっています。

図表 2-6-2 小学校4～6年生の間に過ごさせたい場所

単位：実数（件）、構成比（%）

全体(n=8)	自宅		知人・祖父母宅や友人宅		習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、塾など）		放課後支援		放課後児童クラブ		とちの木センター		その他（公園など）	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
合計	4	50.0	0	0.0	1	12.5	3	37.5	7	87.5	0	0.0	2	25.0
希望日数/週	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	1	25.0	0	0.0	1	100.0	2	66.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2日	2	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	42.9	0	0.0	1	50.0
3日	1	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	14.3	0	0.0	0	0.0
4日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	14.3	0	0.0	1	50.0
5日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	33.3	1	14.3	0	0.0	0	0.0
6日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	14.3	0	0.0	0	0.0
7日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

(2) 放課後児童クラブの利用希望（就学前児童）

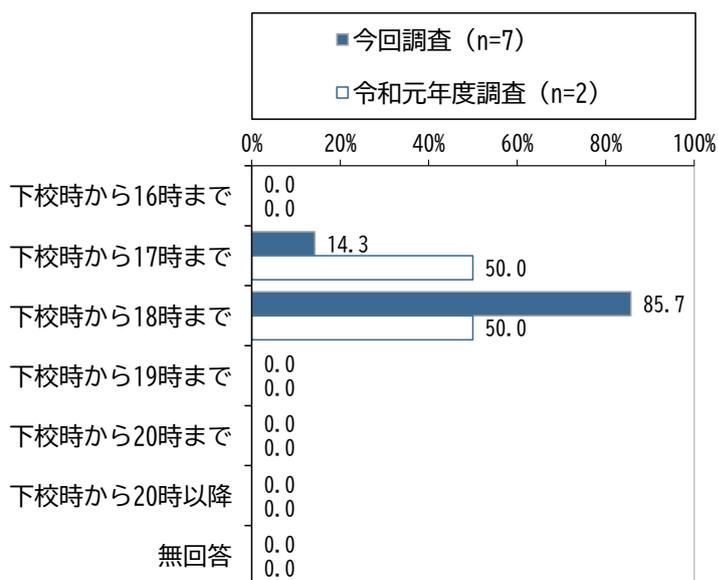
問 19 の (1) または (2) で「5. 放課後児童クラブ」を選択した方にかがいます。

問 20 (1) 利用を希望する時間について、お答えください。

① 「小学校1～3年生の間」で「5. 放課後児童クラブ」を選択した方

小学校1～3年生の間の放課後児童クラブの利用希望時間については、「下校時から18時まで」が85.7%で最も高くなっています。

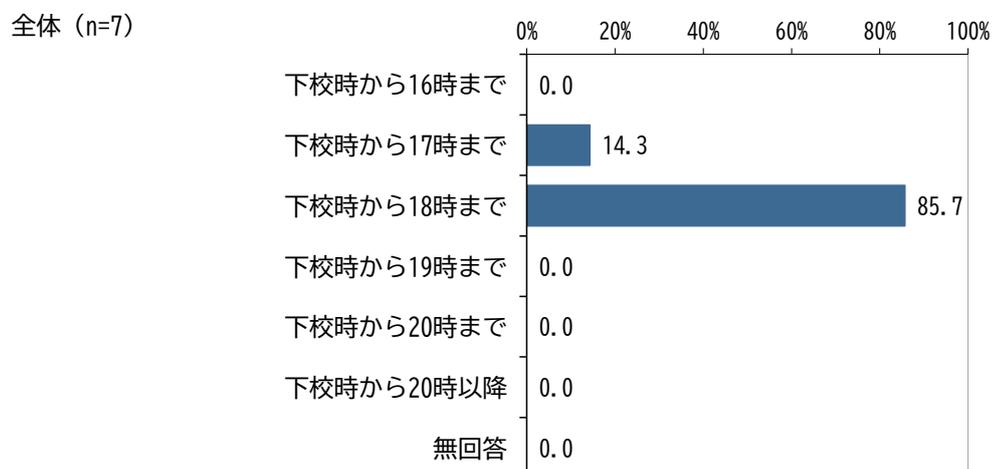
図表 2-6-3 小学校1～3年生の間の放課後児童クラブの利用希望時間



② 「小学校4～6年生の間」で「5. 放課後児童クラブ」を選択した方

小学校4～6年生の間の放課後児童クラブの利用希望時間については、「下校時から18時まで」が85.7%で最も高くなっています。

図表 2-6-4 小学校4～6年生の間の放課後児童クラブの利用希望時間



(3) 土曜日、日曜日・祝日、長期の休みの放課後児童クラブの利用希望（就学前児童）

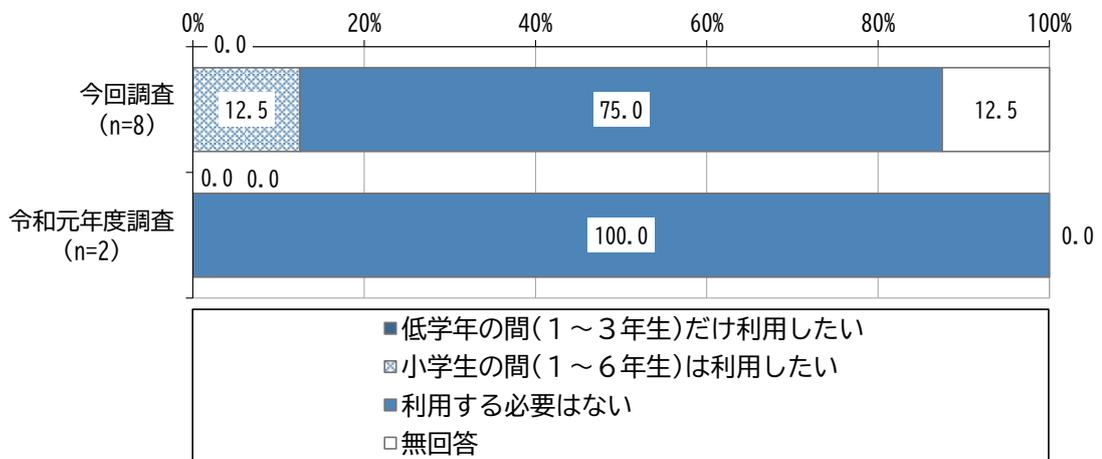
問 20 (2) 土曜日、日曜日・祝日、長期の休み(春・夏・冬休み)について、それぞれの期間における放課後児童クラブの利用希望をお答えください。

① 土曜日

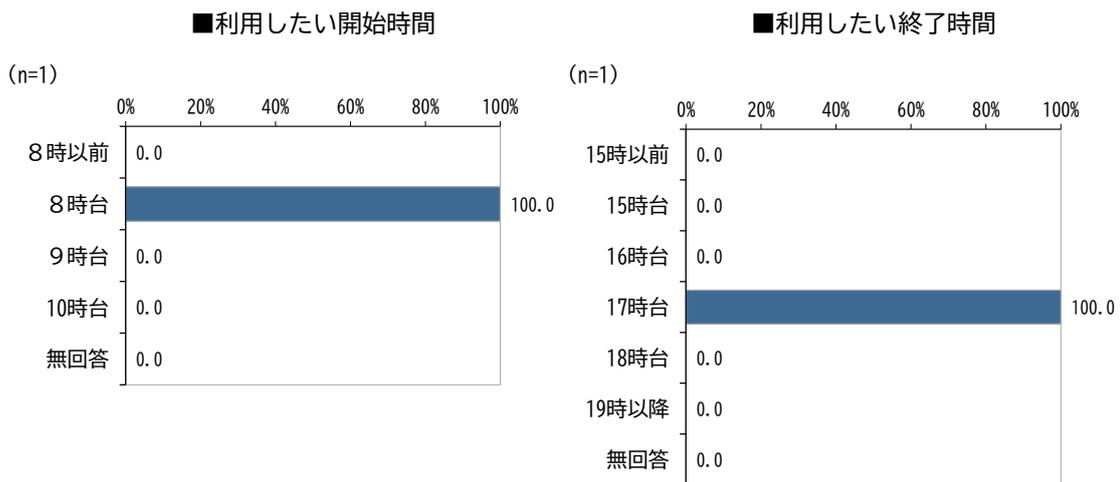
土曜日の放課後児童クラブの利用希望については、「利用する必要はない」が75.0%で最も高くなっています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「小学生の間（1～6年生）は利用したい」（12.5%）では、令和元（2019）年度調査（0.0%）より12.5ポイント増加しています。

図表 2-6-5 土曜日の放課後児童クラブの利用希望



図表 2-6-6 土曜日の放課後児童クラブの利用したい時間帯

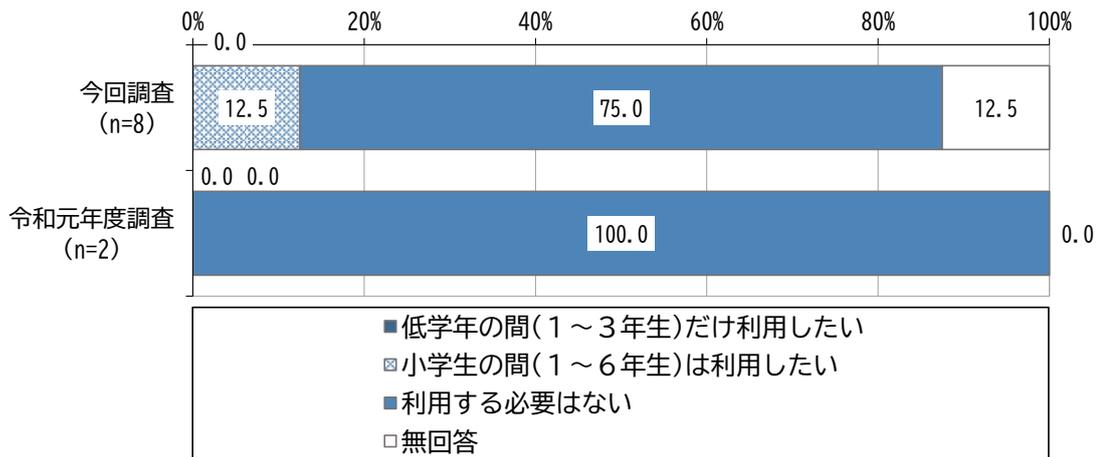


② 日曜日・祝日

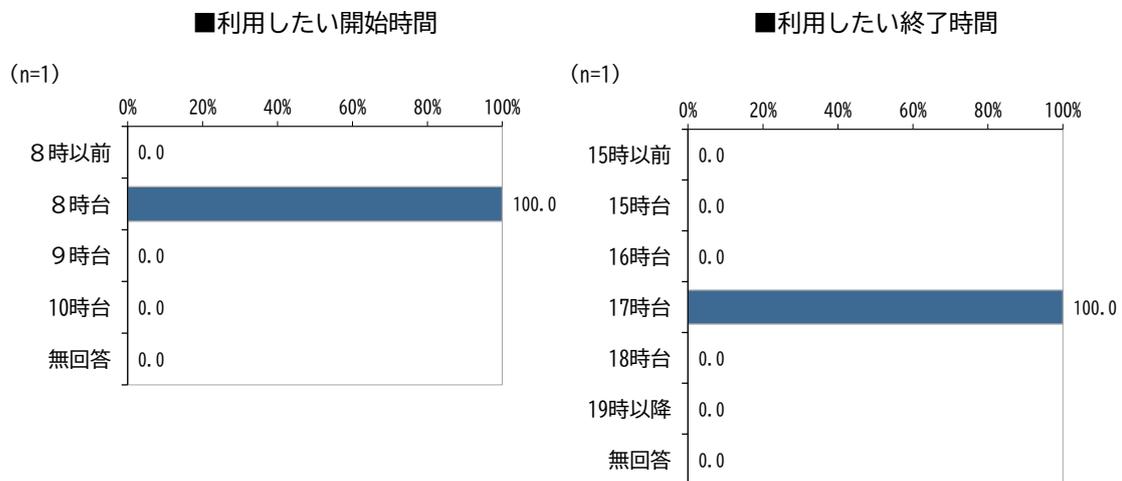
日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望については、「利用する必要はない」が75.0%で最も高くなっています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「小学生の間（1～6年生）は利用したい」（12.5%）では、令和元（2019）年度調査（0.0%）より12.5ポイント増加しています。

図表 2-6-7 日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望



図表 2-6-8 日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用したい時間帯

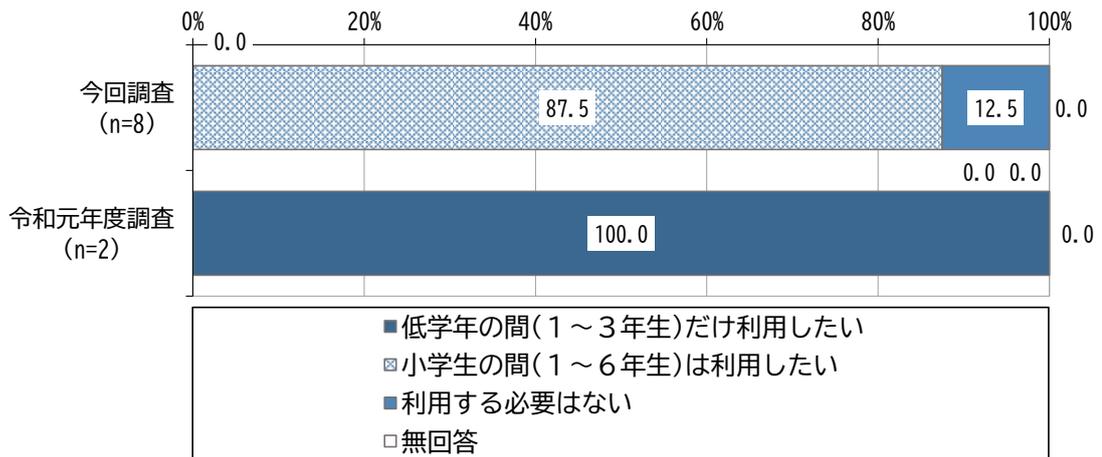


③ 長期の休み（春・夏・冬休み）

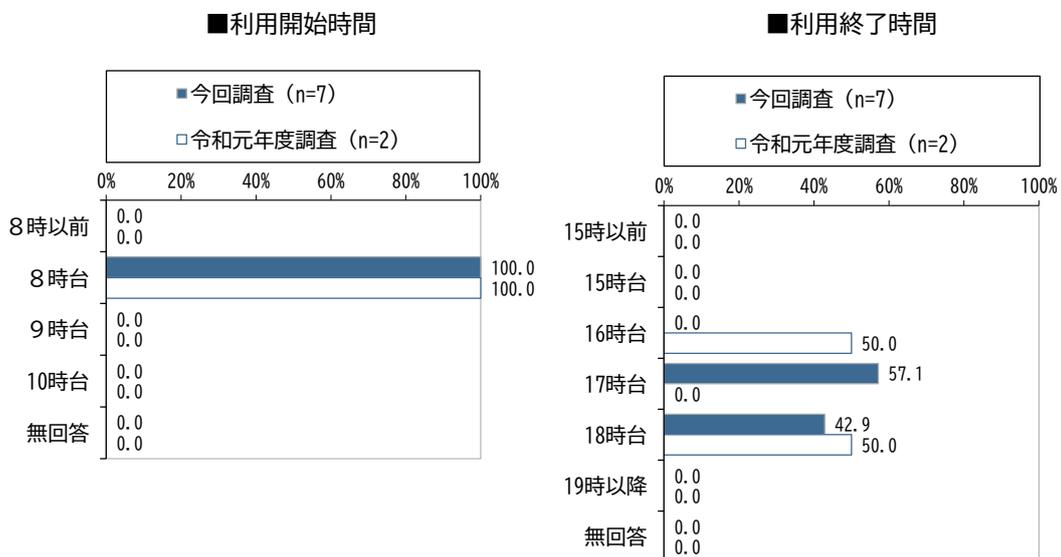
長期の休み（春・夏・冬休み）の放課後児童クラブの利用希望については、「小学生の間（1～6年生）は利用したい」が87.5%で最も高くなっています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「小学生の間（1～6年生）は利用したい」（87.5%）では、令和元（2019）年度調査（87.5%）より12.5ポイント増加しています。

図表 2-6-9 長期の休み（春・夏・冬休み）の放課後児童クラブの利用希望



図表 2-6-10 長期の休み（春・夏・冬休み）の放課後児童クラブの利用したい時間帯



7 お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

(1) 子どもの放課後の過ごし方（就学児童）

問 21 お子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。(1)現在の場所と、(2)今後の希望を【選択肢】から3つまで選び、週あたりの日数をお答えください。
(□ 内に数字を記入)

① 現在の場所

子どもが現在放課後に過ごしている場所については、「自宅」が87.5%で最も高くなっています。

図表 2-7-1 子どもが現在放課後に過ごしている場所

単位：実数（件）、構成比（%）

全体(n=8)	自宅		祖父母宅や友人・知人宅		習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、塾など）		放課後支援		放課後児童クラブ		とちの木センター		その他（公園など）	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
合計	7	87.5	0	0.0	1	12.5	5	62.5	3	37.5	0	0.0	0	0.0
希望日数/週	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	2	28.6	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	80.0	1	33.3	0	0.0	0	0.0
3日	5	71.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0	2	66.7	0	0.0	0	0.0
5日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

② 今後の希望

子どもに今後放課後に過ごして欲しい場所については、「自宅」が87.5%で最も高くなっています。

図表 2-7-2 子どもに今後放課後に過ごして欲しい場所

単位：実数（件）、構成比（%）

全体(n=8)	自宅		知人・祖父母宅や友人宅		習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、塾など）		放課後支援		放課後児童クラブ		とちの木センター		その他（公園など）	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
合計	7	87.5	0	0.0	1	12.5	4	50.0	6	75.0	0	0.0	0	0.0
希望日数/週	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	2	28.6	0	0.0	1	100.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2日	1	14.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	66.7	0	0.0	0	0.0
3日	3	42.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	50.0	1	16.7	0	0.0	0	0.0
5日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
無回答	1	14.3	0	0.0	0	0.0	1	25.0	1	16.7	0	0.0	0	0.0

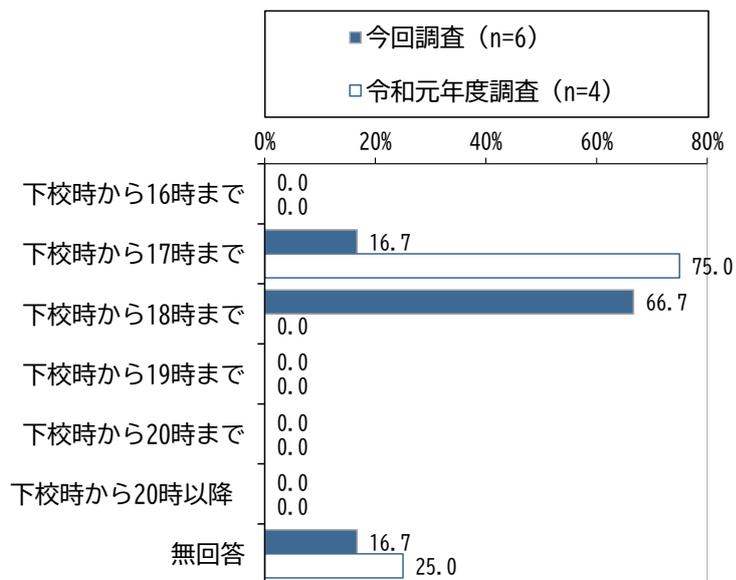
(2) 平日の放課後児童クラブの利用希望（就学児童）

問 21 の (2) で「5. 放課後児童クラブ」を選択した方にうかがいます。

問 22 (1) 平日の利用希望時間について、お答えください。(○は1つ)

平日の放課後児童クラブの利用希望については、「下校時から18時まで」が66.7%で最も高くなっています。

図表 2-7-3 平日の放課後児童クラブの利用希望



(3) 土曜日、日曜日・祝日、長期の休みの放課後児童クラブの利用希望（就学児童）

問 21 の (2) で「5. 放課後児童クラブ」を選択した方にうかがいます。

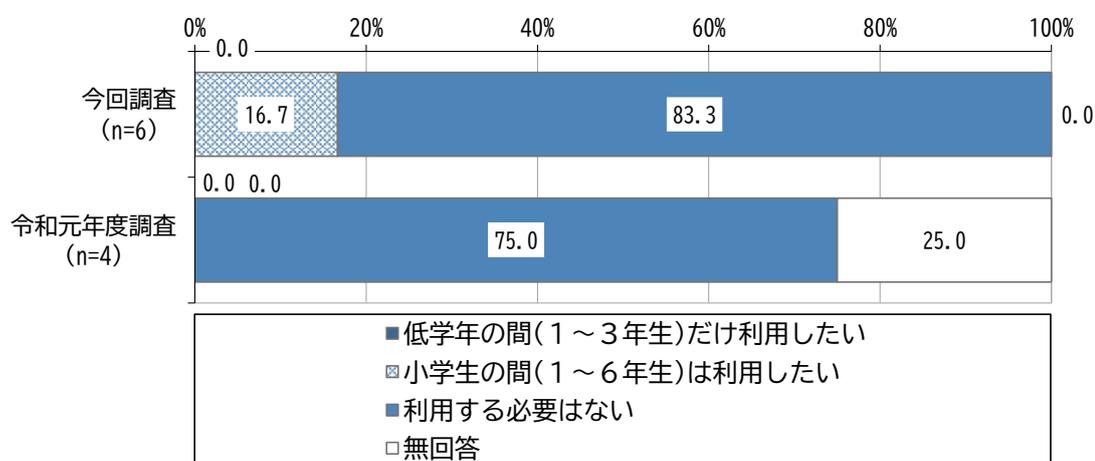
問 22 (2) 土曜日、日曜日・祝日、長期の休み(春・夏・冬休み)について、それぞれの期間における放課後児童クラブの利用希望をお答えください。

① 土曜日

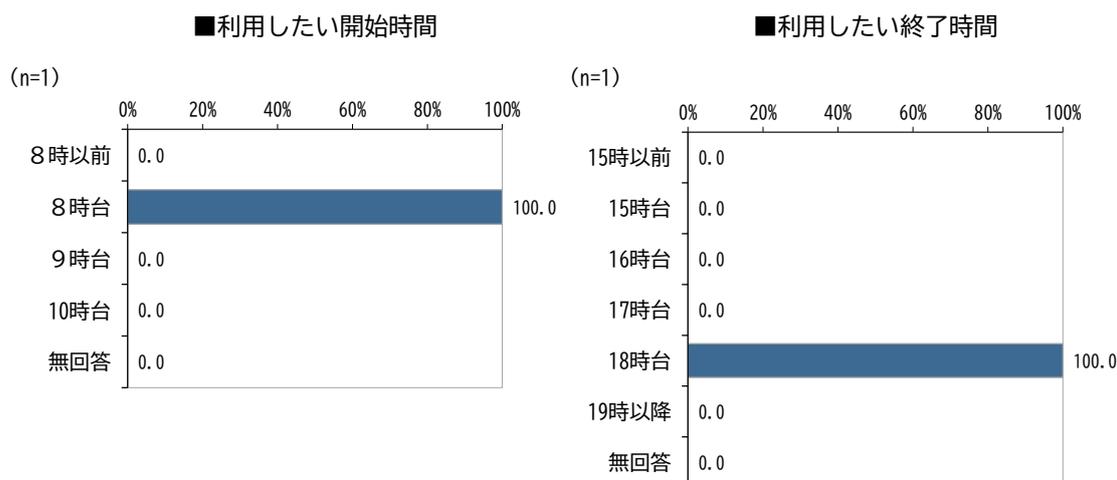
土曜日の放課後児童クラブの利用希望については、「利用する必要はない」が 83.3%で最も高くなっています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「小学生の間（1～6年生）は利用したい」（16.7%）では、令和元（2019）年度調査（0.0%）より 16.7 ポイント増加しています。

図表 2-7-4 土曜日の放課後児童クラブの利用希望



図表 2-7-5 土曜日の放課後児童クラブの利用したい時間帯

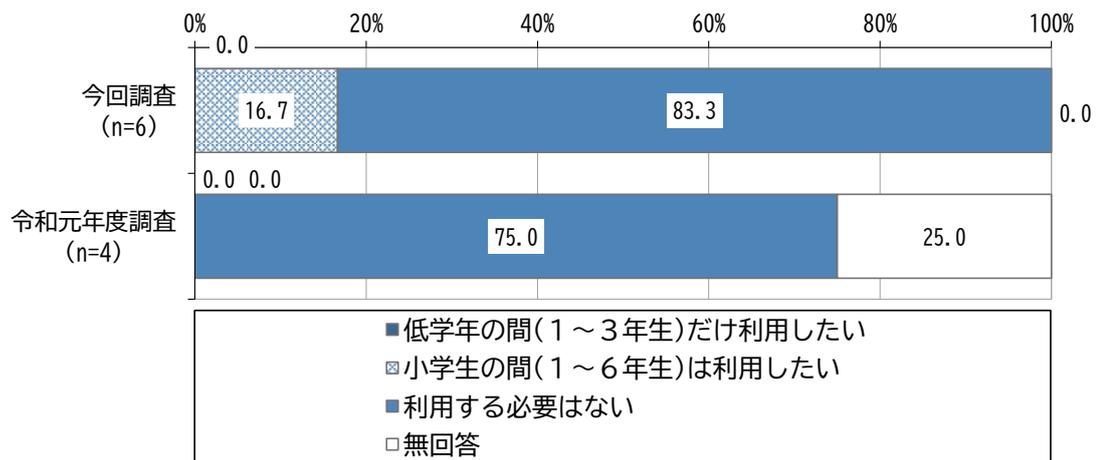


② 日曜日・祝日

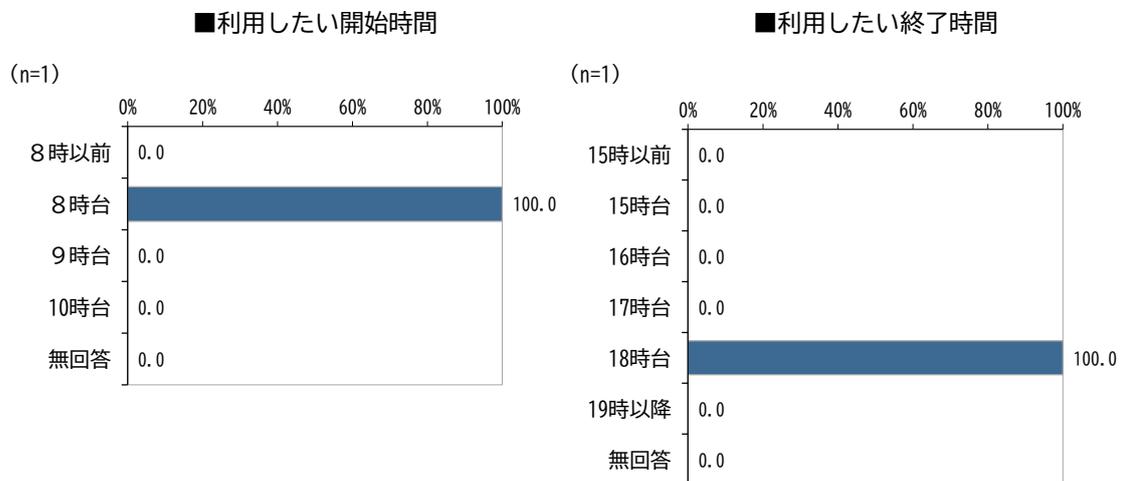
日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望については、「利用する必要はない」が83.3%で最も高くなっています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「小学生の間（1～6年生）は利用したい」（16.7%）では、令和元（2019）年度調査（0.0%）より16.7ポイント増加しています。

図表 2-7-6 日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望



図表 2-7-7 日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用したい時間帯

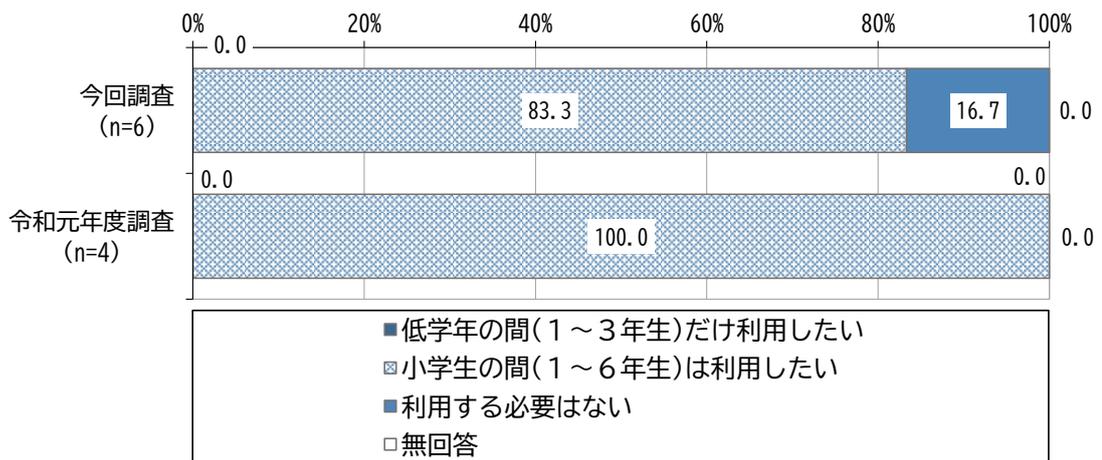


③ 長期の休み（春・夏・冬休み）

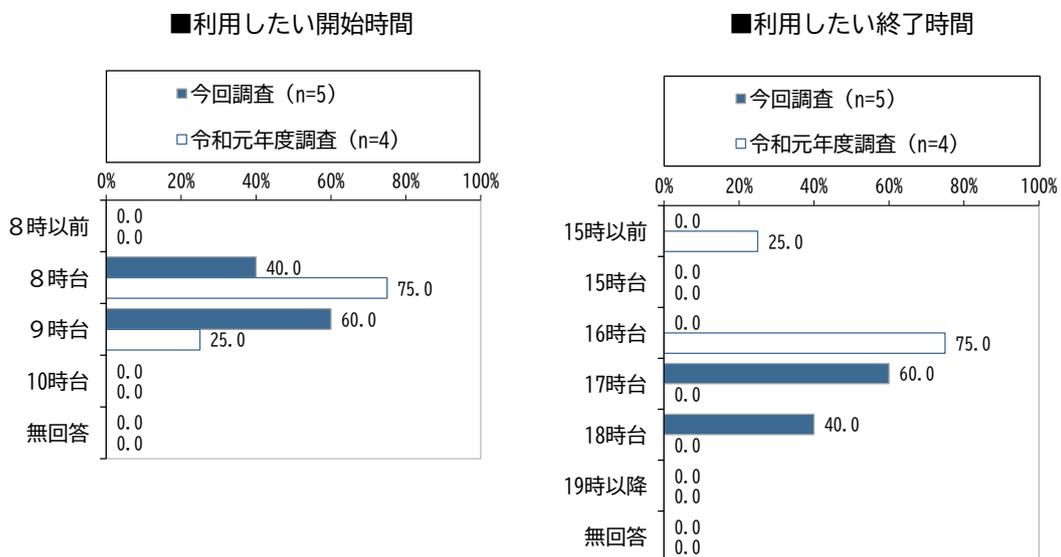
長期の休み（春・夏・冬休み）の放課後児童クラブの利用希望については、「小学生の間（1～6年生）は利用したい」が83.3%で最も高くなっています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「利用する必要はない」（16.7%）では、令和元（2019）年度調査（0.0%）より16.7ポイント増加しています。

図表 2-7-8 長期の休み（春・夏・冬休み）の放課後児童クラブの利用希望



図表 2-7-9 長期の休み（春・夏・冬休み）の放課後児童クラブの利用したい時間帯

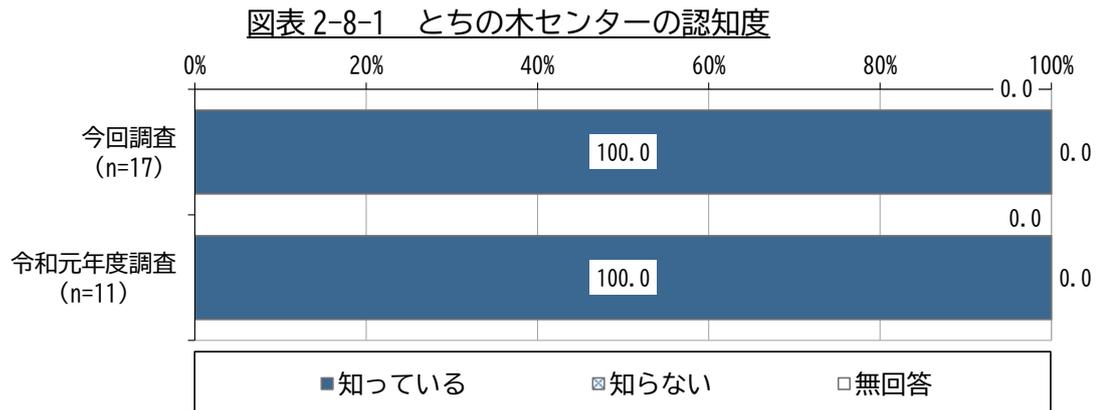


8 とちの木センターについて

(1) とちの木センターの認知度

問 23 (1) あなたは「とちの木センター」を知っていますか。(○は1つ)

とちの木センターの認知度については、「知っている」が100.0%となっています。
令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。



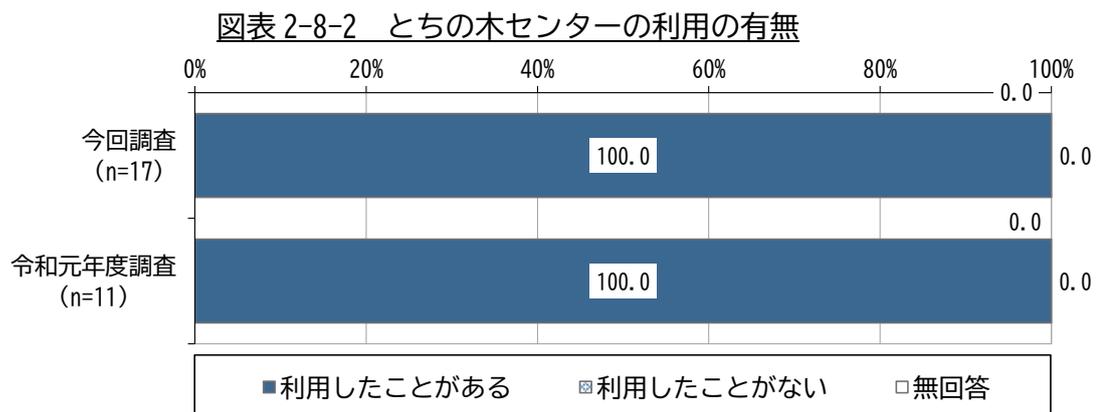
(2) とちの木センターの利用の有無

問 23 (1) で「1. 知っている」を選択した方にうかがいます。

問 23 (2) あなたは「とちの木センター」を利用したことがありますか。(○は1つ)

とちの木センターの利用の有無については、「利用したことがある」が100.0%で最も高くなっています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。



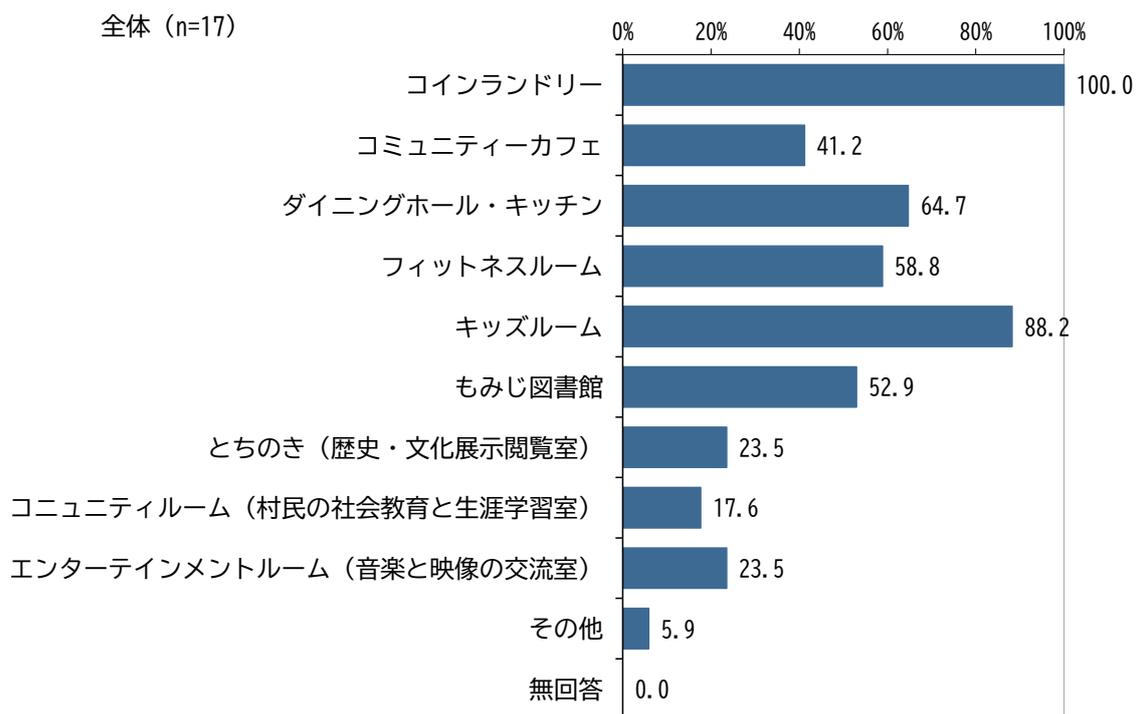
(3) とちの木センターで利用した施設・整備

問 23 (2) で「1. 利用したことがある」を選択した方にうかがいます。

問 23 (3) あなたは「とちの木センター」のどの様な施設や整備を利用しましたか。
(あてはまる番号すべてに○)

とちの木センターで利用した施設・整備については、「コインランドリー」が 100.0%で最も高くなっています。

図表 2-8-3 とちの木センターで利用した施設・整備



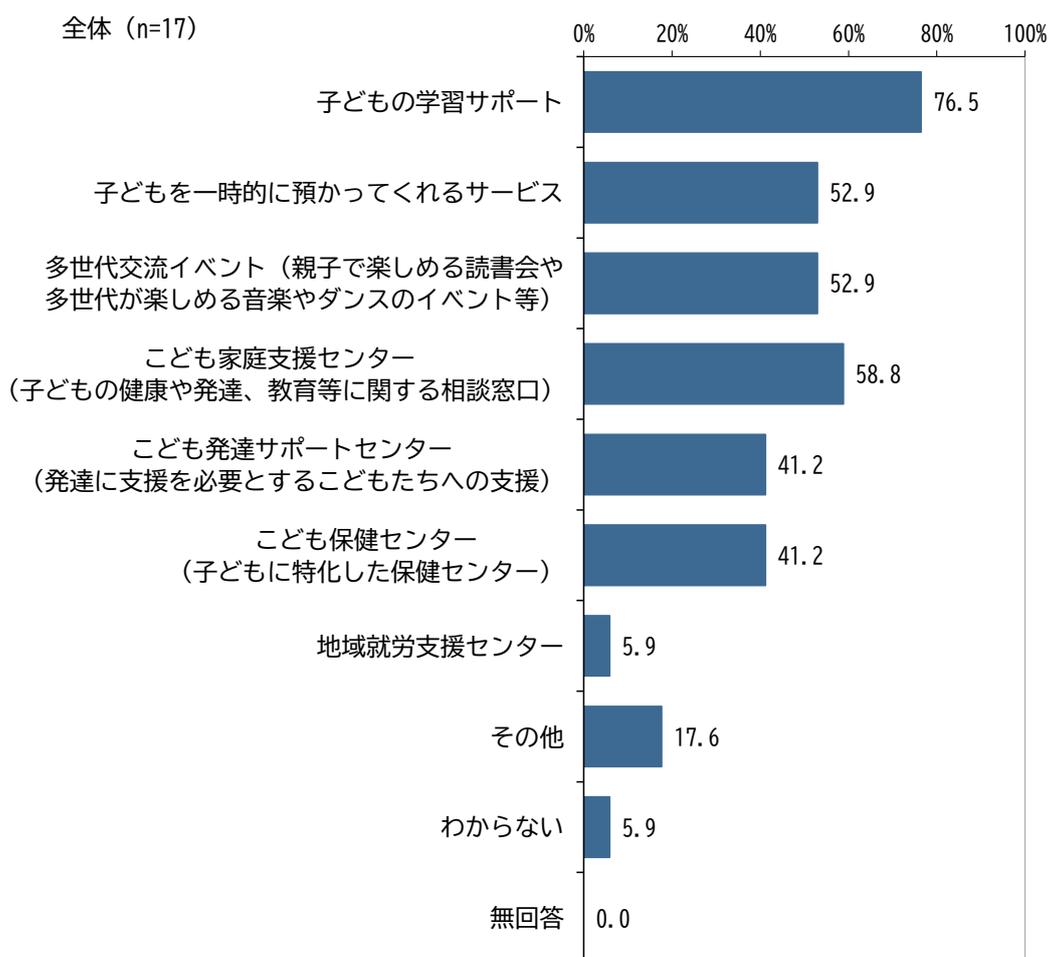
※ その他の内容…「外の遊具」

(4) とちの木センターで利用したい施設・整備

問 23 (4) 現在、「とちの木センター」には上記の施設や整備がありますが、今後、どのような施設や整備、サービスがあれば利用したいですか。
(あてはまる番号すべてに○)

とちの木センターで利用したい施設・整備については、「子どもの学習サポート」が76.5%で最も高くなっています。

図表 2-8-4 とちの木センターで利用したい施設・整備



※ その他の内容…「料理教室」、「子ども用習い事」、「スポーツイベント、機具のアップデート」

9 育児休業などの職場と子育ての両立支援制度について

(1) 育児休業の取得の有無

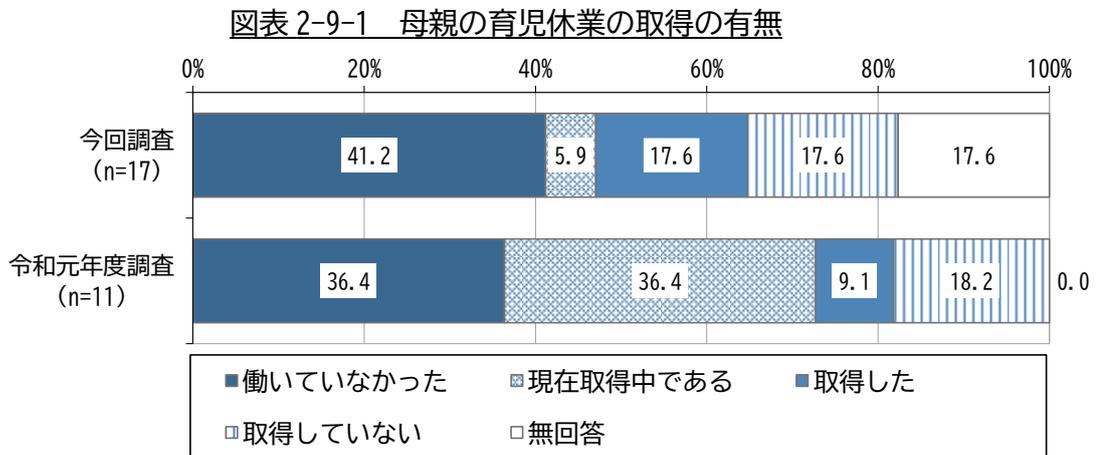
問 24 (1) この調査票の対象となっているお子さんが生まれた時(その後)、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(母親、父親それぞれ〇は1つ)

① 母親

i) 育児休業の取得の有無

母親の育児休業の取得の有無については、「働いていなかった」が41.2%で最も高くなっています。

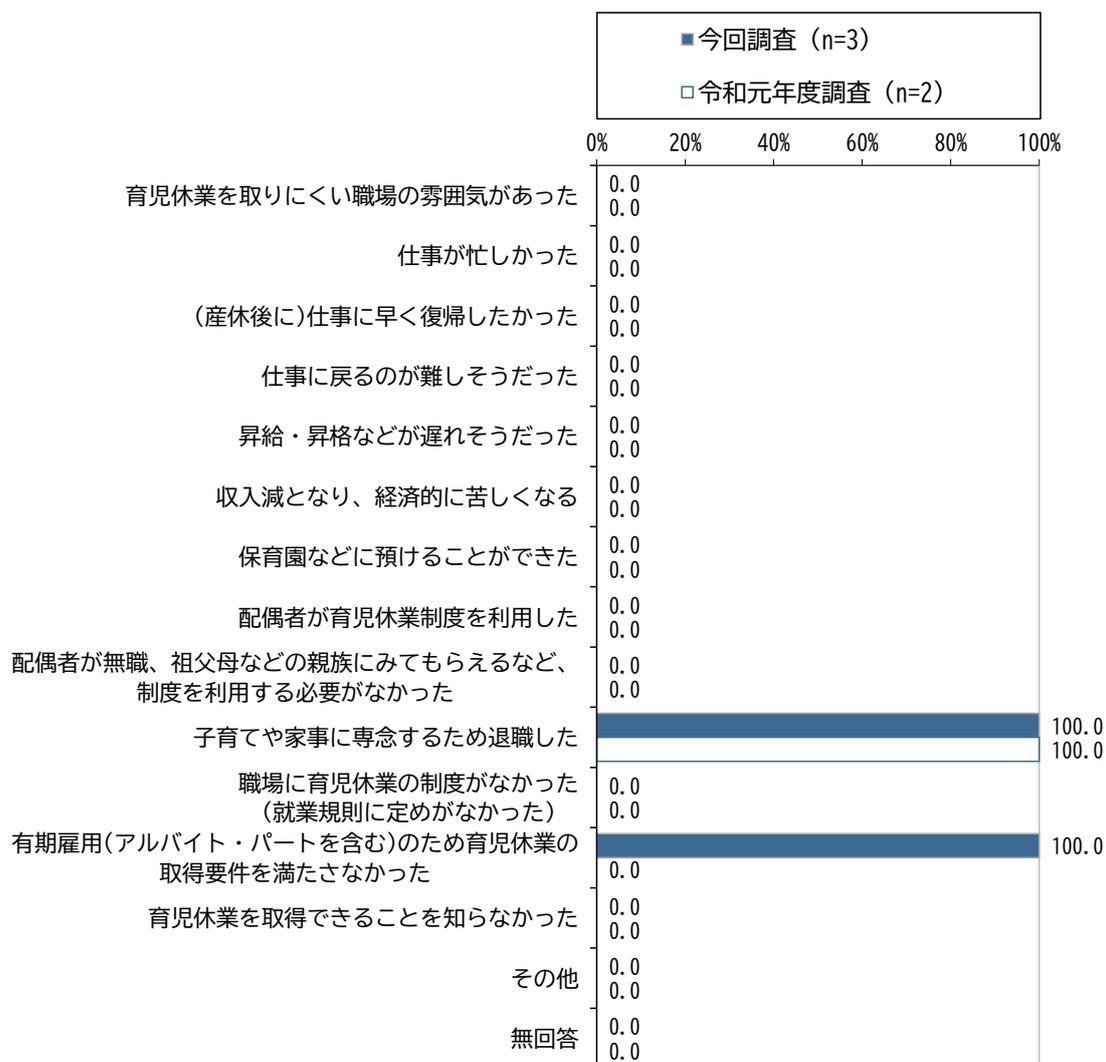
令和元(2019)年度調査と比較すると、「取得していない」では、大きな差はみられません。



ii) 取得していない理由

母親の育児休業を取得していない理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」、「有期雇用(アルバイト・パートを含む)のため育児休業の取得要件を満たさなかった」がいずれも 100.0%で最も高くなっています。

図表 2-9-2 母親の育児休業を取得していない理由

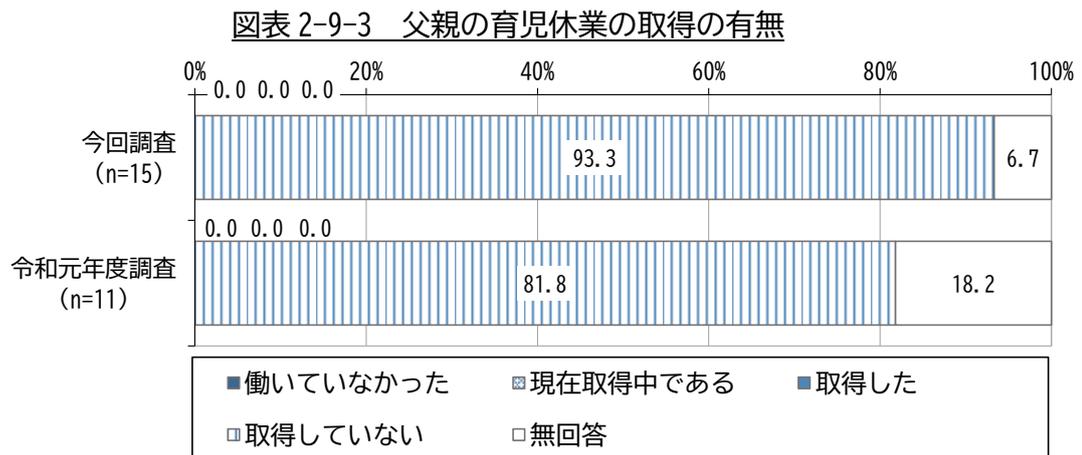


② 父親

i) 育児休業の取得の有無

父親の育児休業の取得の有無については、「取得していない」が93.3%で最も高くなっています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、今回調査、令和元（2019）年度調査いずれも「取得していない」の割合が最も高くなっています。

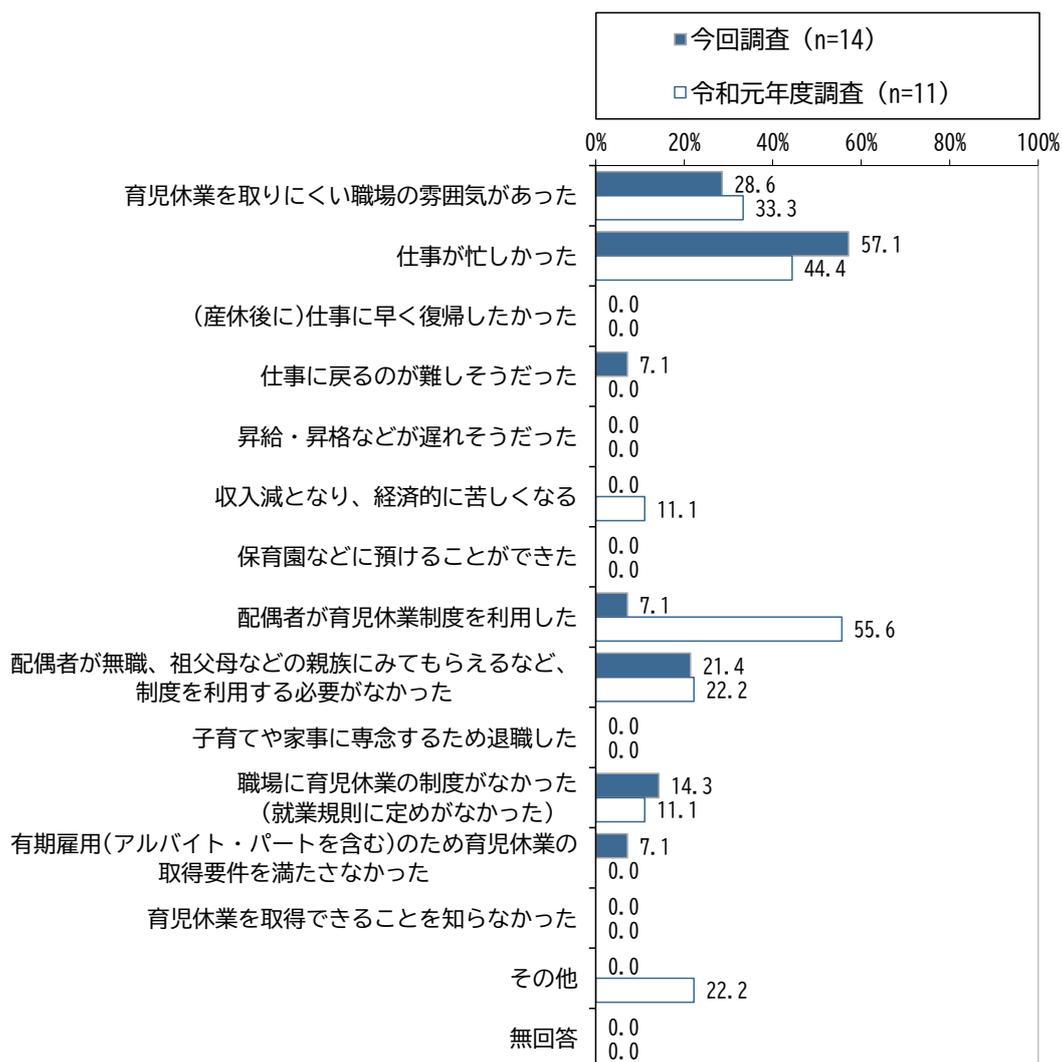


ii) 取得していない理由

父親の育児休業を取得していない理由については、「仕事が忙しかった」が57.1%で最も高くなっています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「配偶者が育児休業制度を利用した」（7.1%）では、令和元（2019）年度調査（55.6%）より48.5ポイント減少し、最も減少した項目となっています。

図表 2-9-4 父親の育児休業を取得していない理由



(2) 育児休業からの復帰時期

問 24 の (1) で育児休業を「3. 取得した」を選択した方にかがいます。

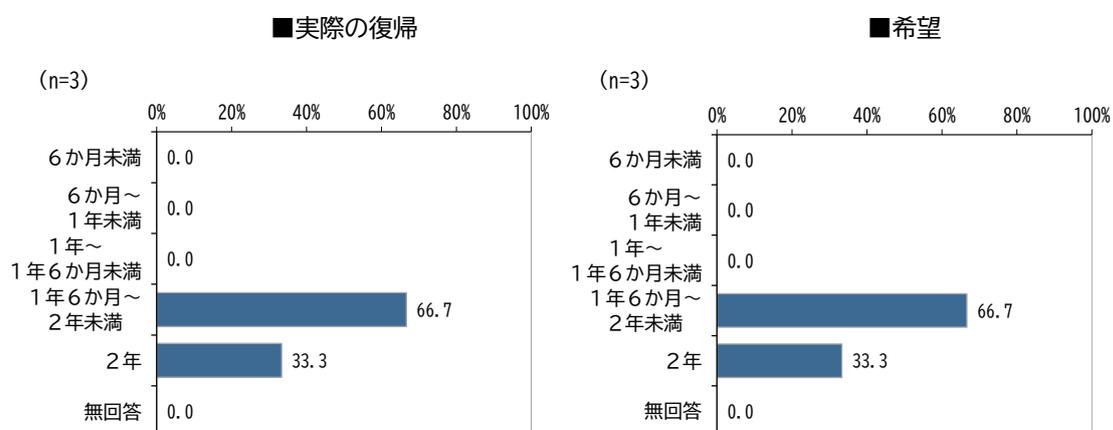
問 24 (2) 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、「希望」はどうでしたか。□ 内に数字でご記入ください。

① 母親

i) 母親の育児休業からの実際の復帰時期と希望

母親の育児休業からの実際の復帰時期と希望については、いずれも「1年6か月～2年未満」が66.7%で最も高くなっています。

図表 2-9-5 母親の育児休業からの実際の復帰時期と希望



② 父親

i) 父親の育児休業からの実際の復帰時期と希望

父親の育児休業からの実際の復帰時期について、該当する回答者はいませんでした。

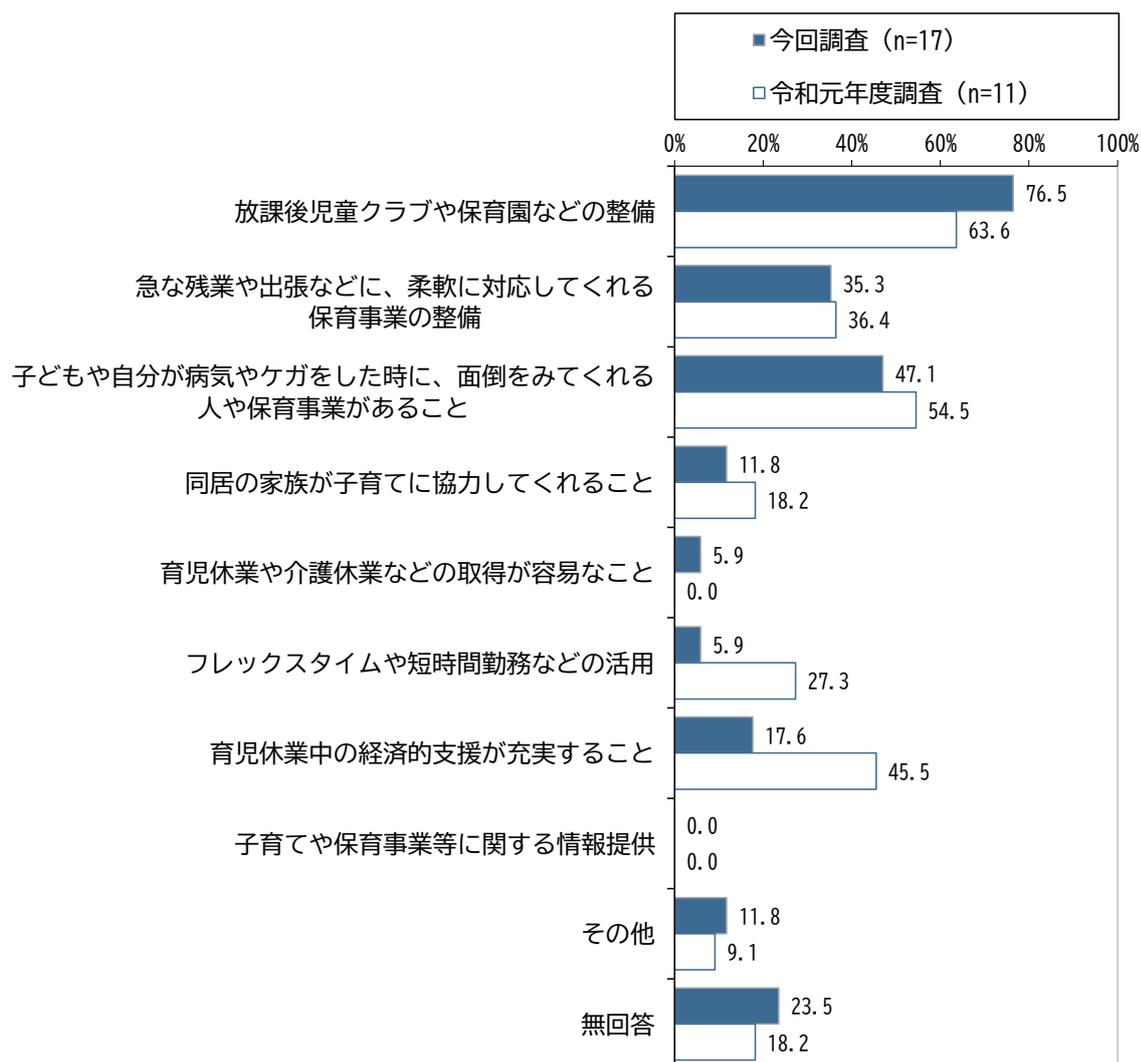
(3) 仕事と子育てを両立する上で必要なこと

問 25 仕事と子育てを両立する上で必要だと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

仕事と子育てを両立する上で必要なことについては、「放課後児童クラブや保育園などの整備」が76.5%で最も高くなっています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「放課後児童クラブや保育園などの整備」(76.5%)では、令和元(2019)年度調査(63.6%)より12.9ポイント増加しています。

図表 2-9-6 仕事と子育てを両立する上で必要なこと



10 子ども・子育て支援全般について

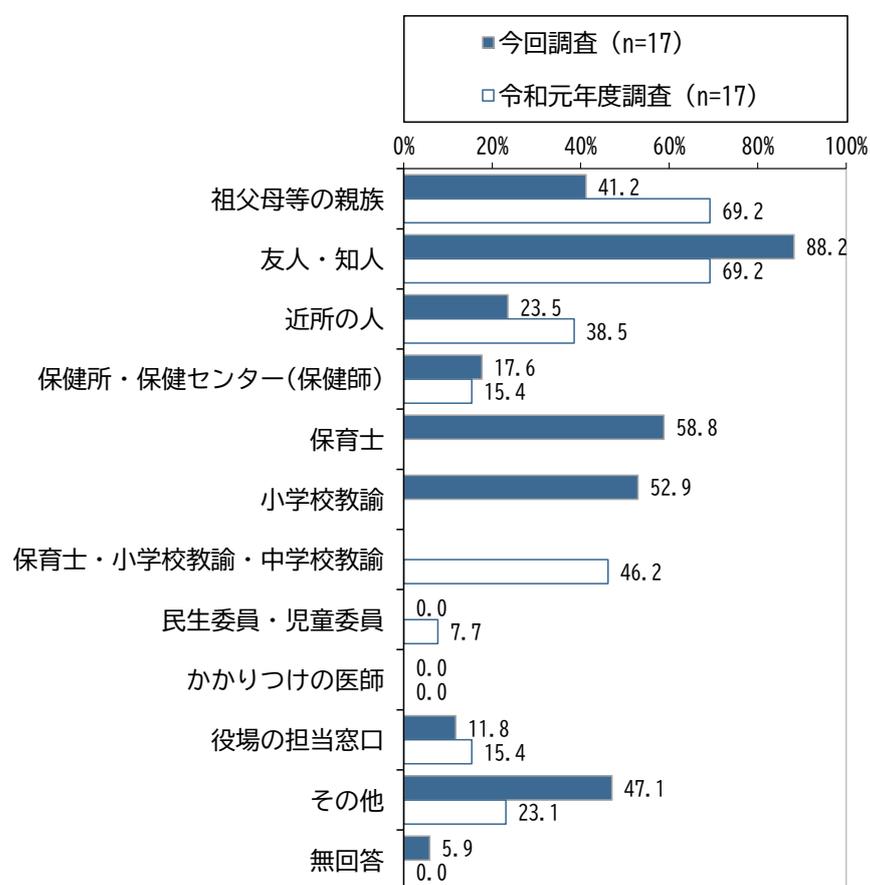
(1) 子育てをする上での情報源

問26 お子さんの子育て(教育を含む)をする上で、主に誰(どこ)から情報を得ていますか。
(あてはまる番号すべてに○)

子育てをする上での情報源については、「友人・知人」が88.2%で最も高くなっています。

令和元(2019)年度調査と比較できる項目で比較すると、「祖父母等の親族」(41.2%)では、令和元(2019)年度調査(69.2%)より28.0ポイント減少しています。

図表2-10-1 子育てをする上での情報源



※ 「保健所・保健センター(保健師)」の選択肢について、令和元(2019)年度調査では「ワースリビングかみきた(保健師・看護師)」、「役場の担当窓口」の選択肢について、令和元(2019)年度調査では「教育委員会・役場の担当窓口」「保育士」、「小学校教諭」は今回調査からの選択肢、「保育士・小学校教諭・中学校教諭」は令和元(2019)年度調査のみの選択肢となっています。

※ その他の内容…「SNS・インターネット」(8件)

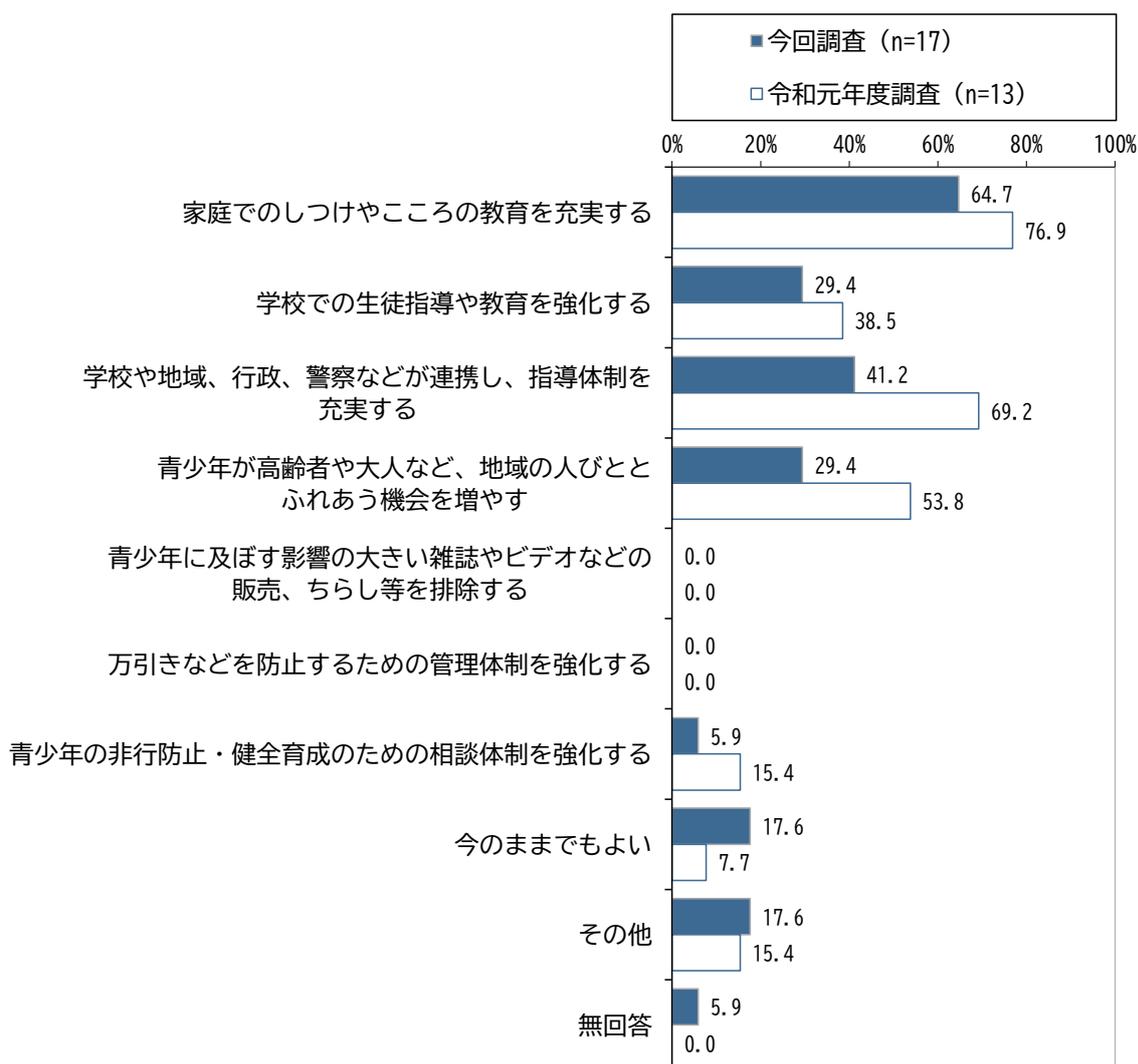
(2) 子どもの健全育成や非行防止のために力を入れるべきこと

問 27 子どもの健全育成や非行防止のために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇は3つまで)

子どもの健全育成や非行防止のために力を入れるべきことについては、「家庭でのしつけやこころの教育を充実する」が64.7%で最も高くなっています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「今のままでもよい」(17.6%)では、令和元(2019)年度調査(7.7%)より9.9ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 2-10-2 子どもの健全育成や非行防止のために力を入れるべきこと

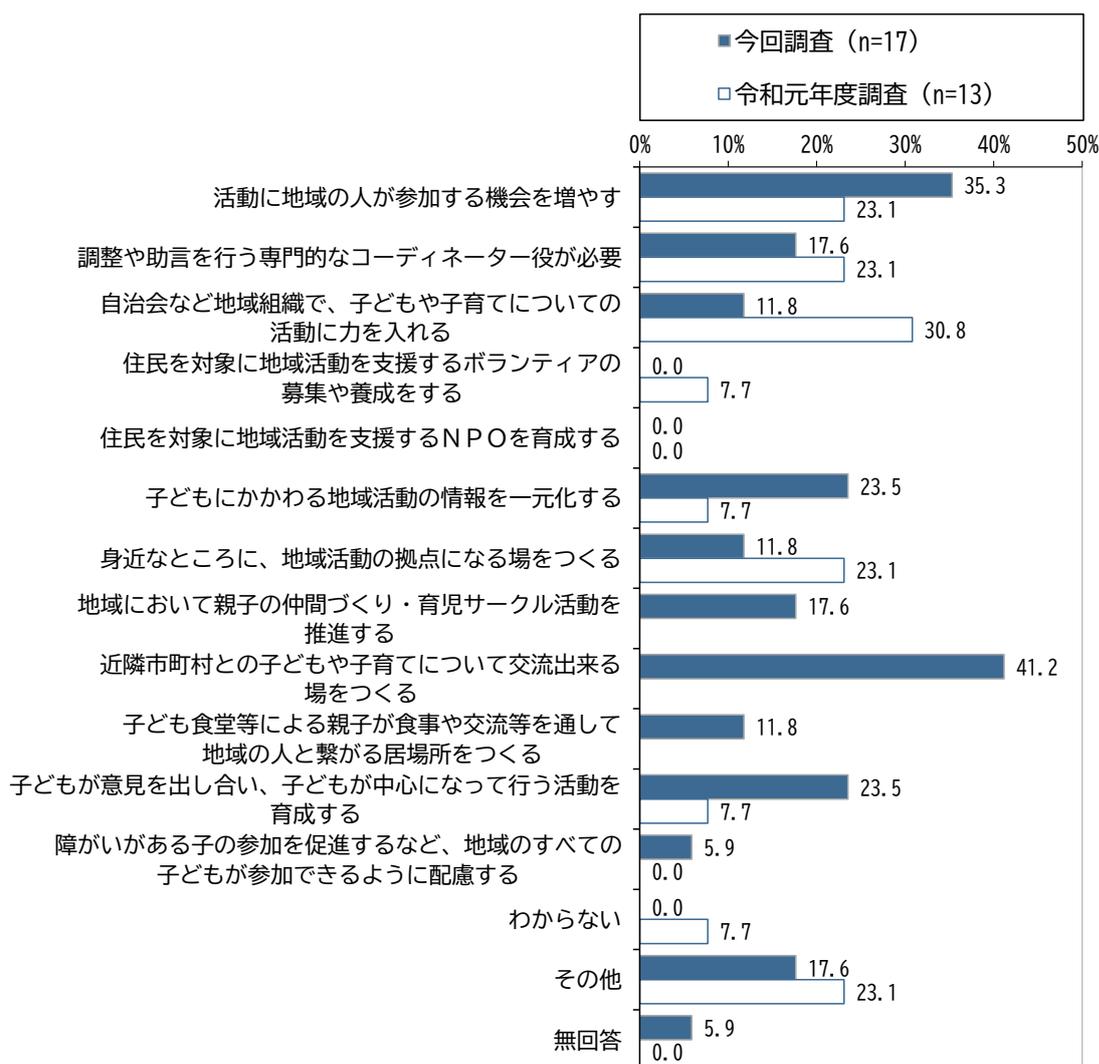


(3) 地域の子どもたちとの交流や活動を活発にするために必要な事

問 28 あなたは、地域の子どもたちとの交流や活動をさらに活発にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

地域の子どもたちとの交流や活動を活発にするために必要な事については、「近隣市町村との子どもや子育てについて交流出来る場をつくる」が41.2%で最も高くなっています。

図表 2-10-3 地域の子どもたちとの交流や活動を活発にするために必要な事



※ 「地域において親子の仲間づくり・育児サークル活動を推進する」、「近隣市町村との子どもや子育てについて交流出来る場をつくる」、「子ども食堂等による親子が食事や交流等を通して地域の人と繋がる居場所をつくる」は今回調査からの選択肢となっています。

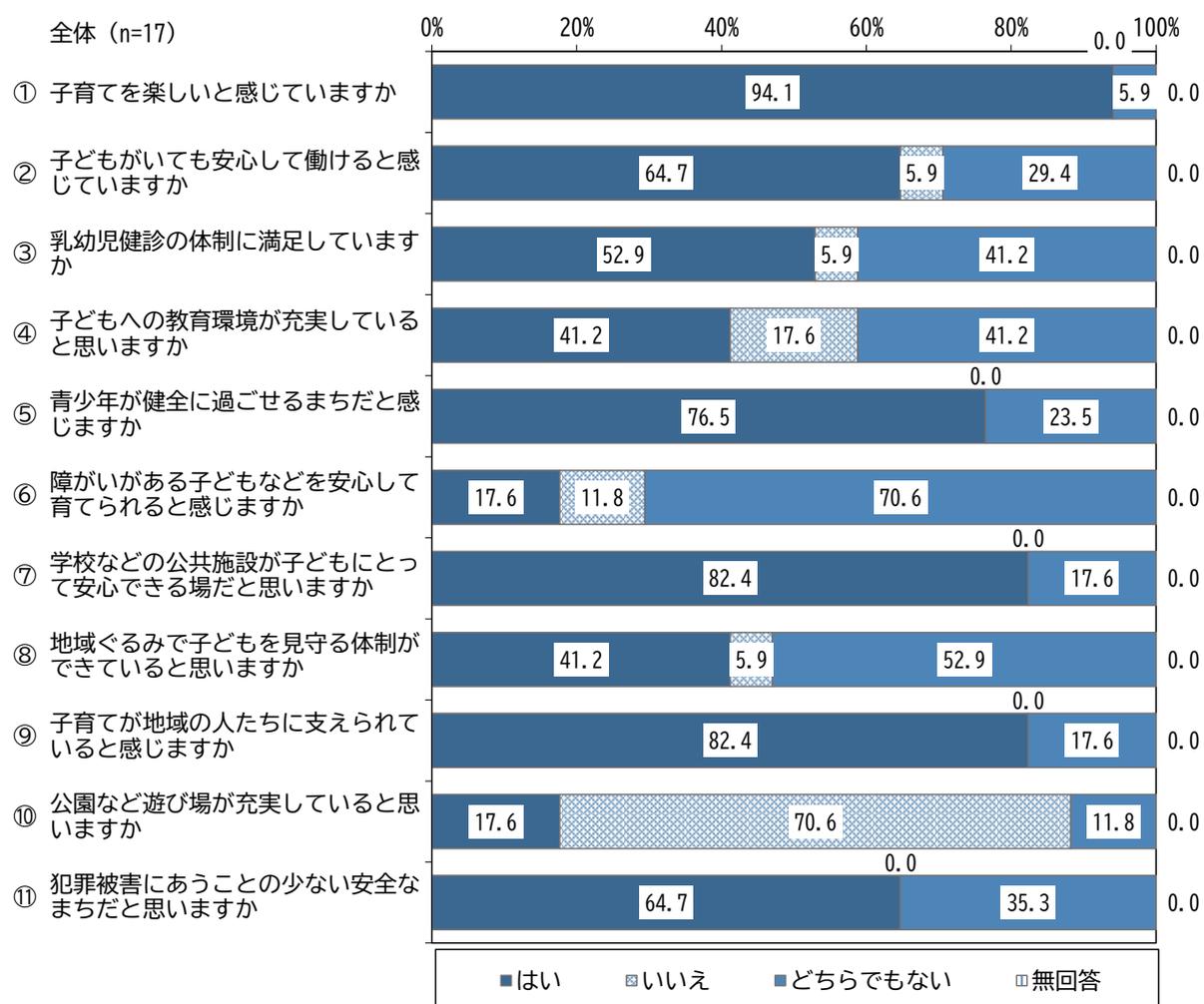
(4) 上北山村の子育て施策等の評価

問 29 あなたは、上北山村の子育て施策等に関する以下の項目を、どのように感じますか。
(それぞれ〇は1つ)

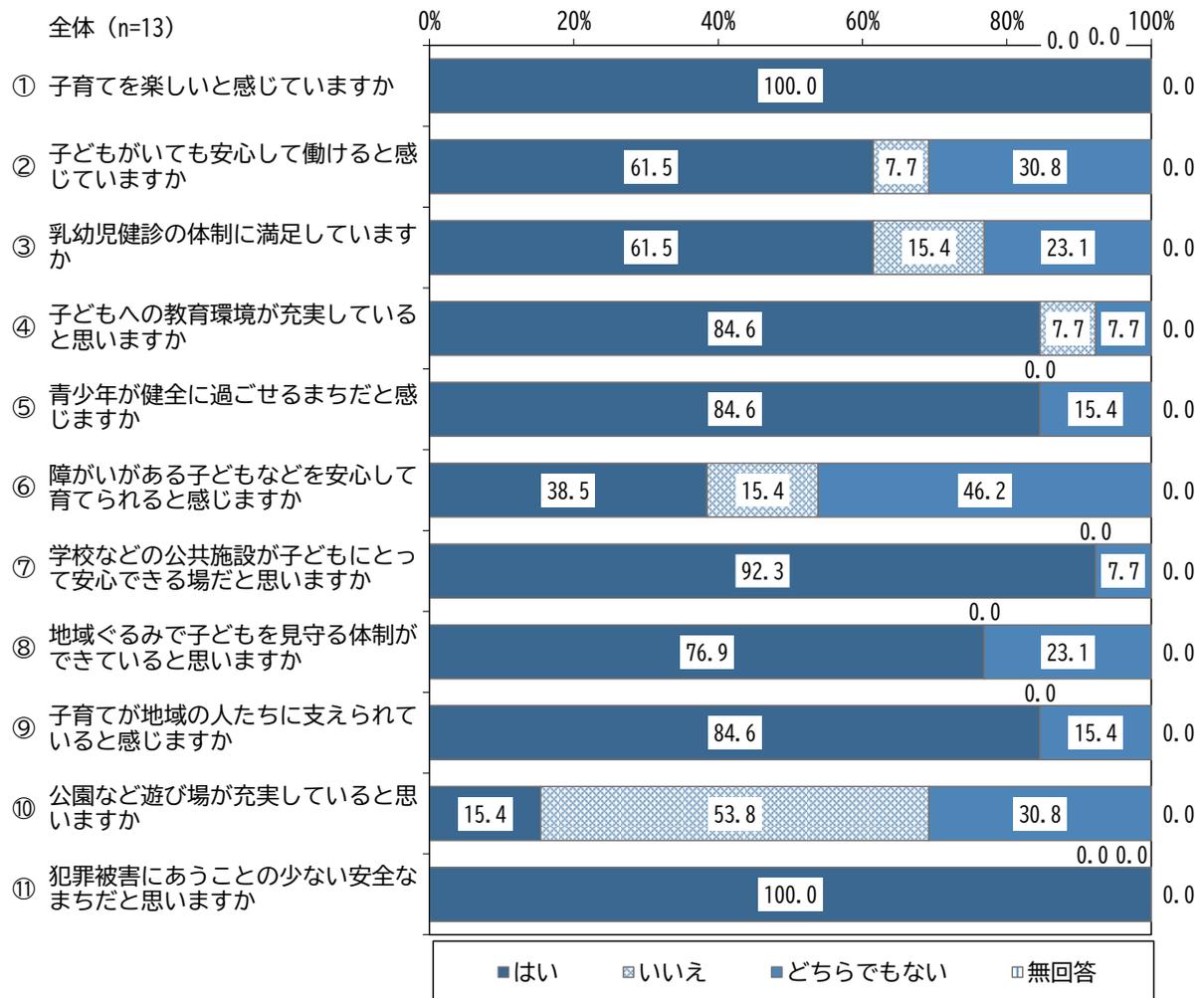
上北山村の子育て施策等の評価について、「はい」では、「① 子育てを楽しんでいると感じていますか」が94.1%で最も高く、「いいえ」では、「⑩ 公園など遊び場が充実していると感じていますか」が70.6%で最も高くなっています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「はい」では、「② 子どもがいても安心して働けると感じていますか」、「⑩ 公園など遊び場が充実していると感じていますか」を除く全ての項目で減少しており、「いいえ」では、「⑩ 公園など遊び場が充実していると感じていますか」（70.6%）が、令和元（2019）年度調査（53.8%）より16.8ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 2-10-4 上北山村の子育て施策等の評価



図表 2-10-5 上北山村の子育て施策等の評価 令和元（2019）年度調査

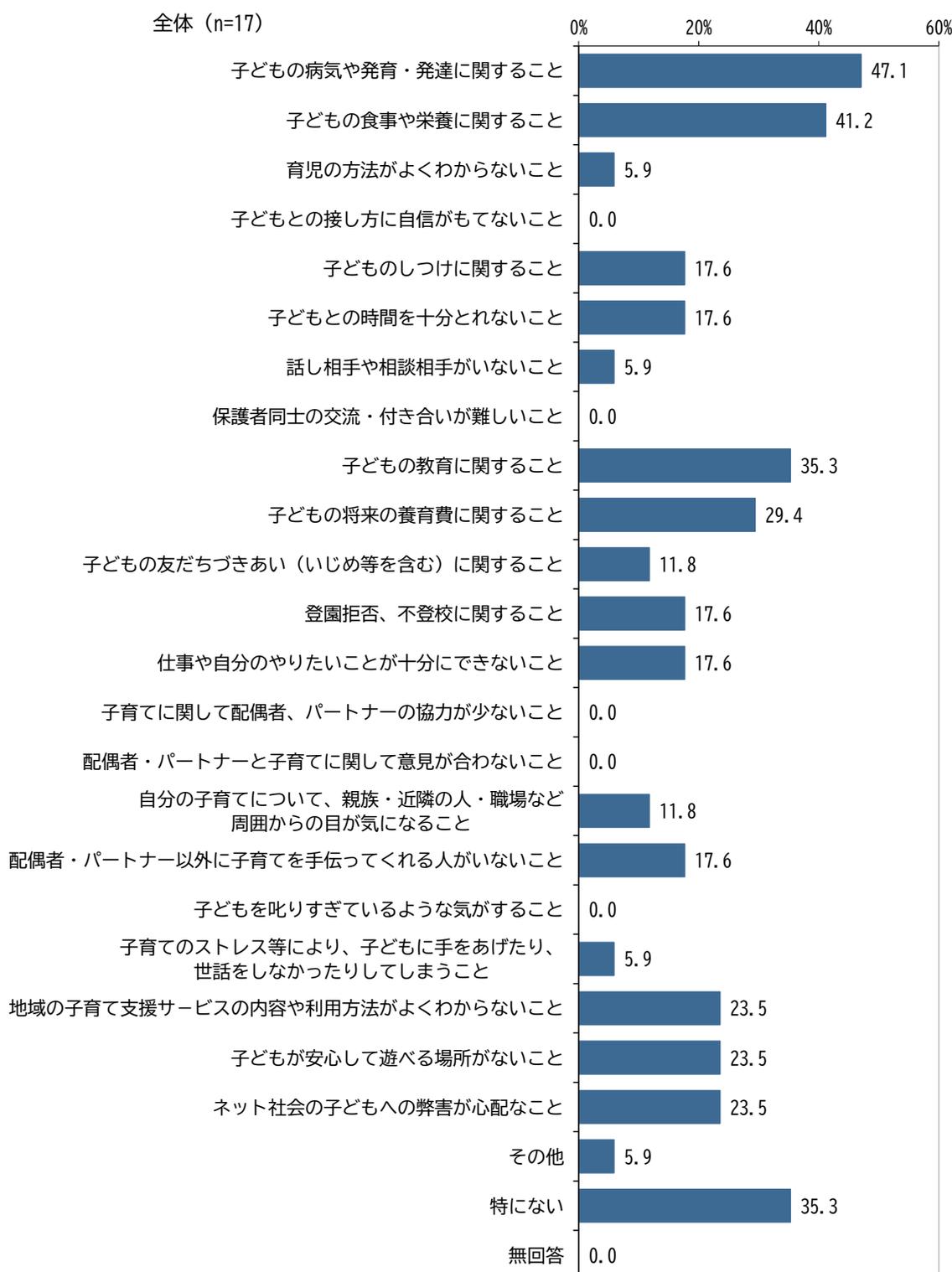


(5) 子育てに関して悩んでいること

問 30 子育てに関して、日常的に悩んでいること、不安に感じることに、または気になることはどのようなことですか。（あてはまる番号すべてに○）

子育てに関して悩んでいることについては、「子どもの病気や発育・発達に関すること」が47.1%で最も高くなっています。

図表 2-10-6 子育てに関して悩んでいること

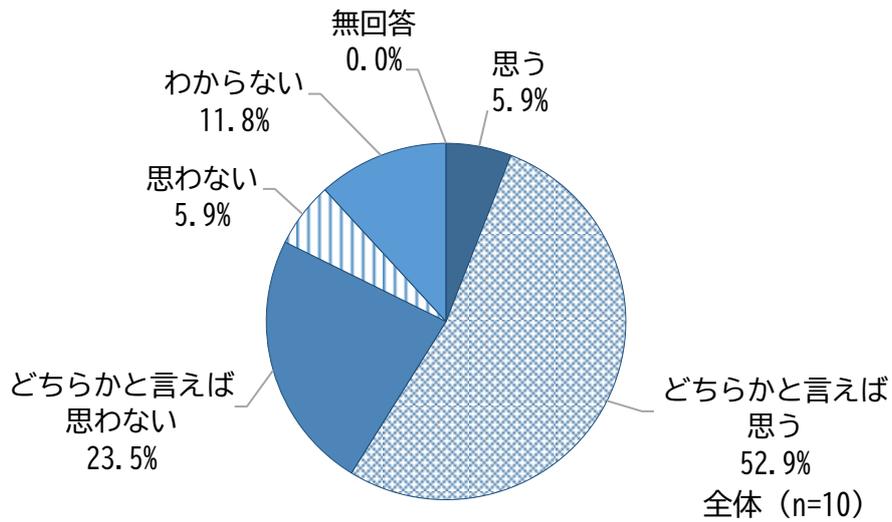


(6) 上北山村が子育てしやすい村だと思うか

問31 あなたは、上北山村が子育てしやすい村だと思いますか。(○は1つ)

上北山村が子育てしやすい村だと思うかについては、「どちらかと言えば思う」が52.9%で最も高くなっています。

図表 2-10-7 上北山村が子育てしやすい村だと思うか

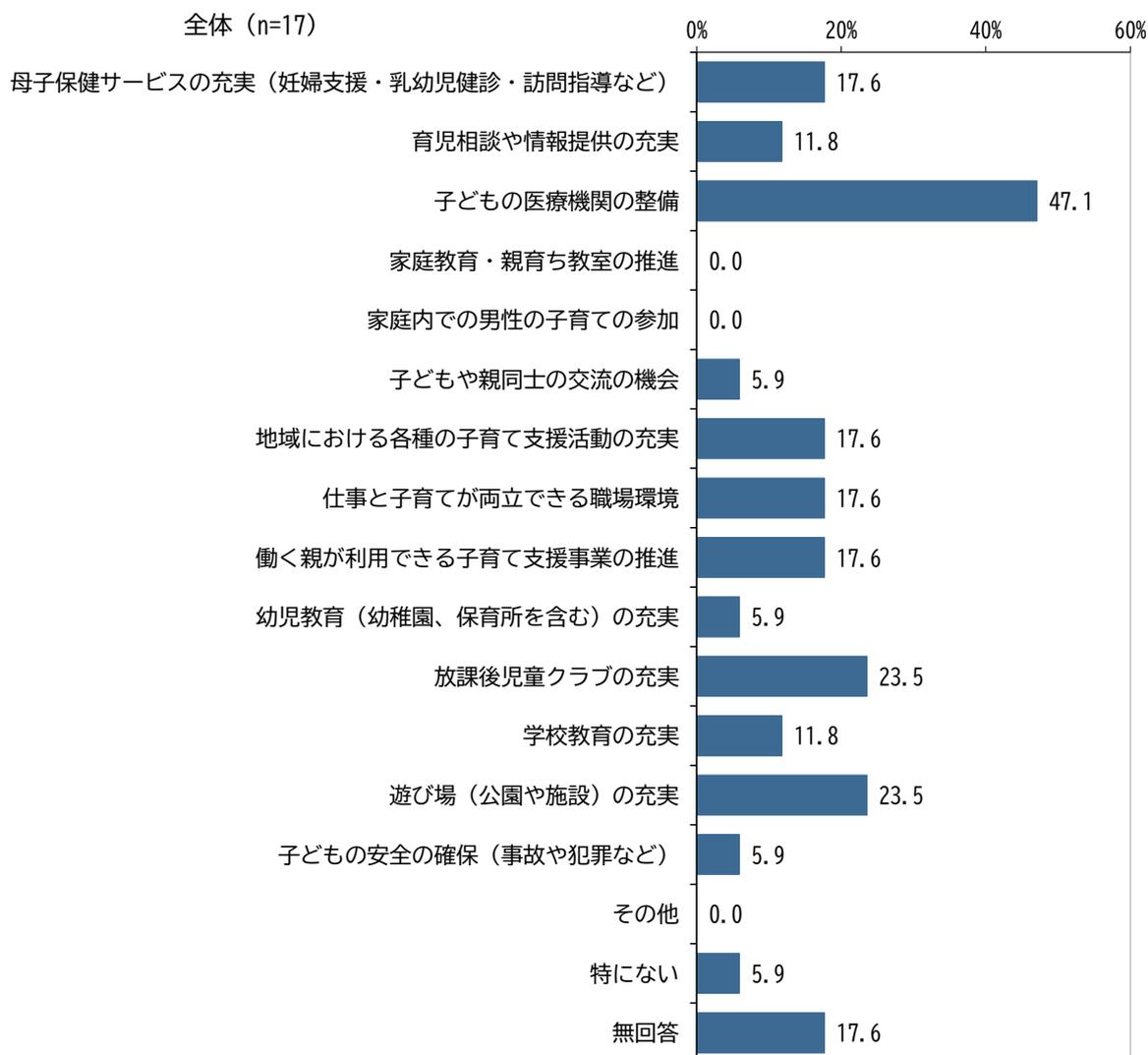


(7) 上北山村が子育てしやすい村になるために必要なこと

問 32 上北山村が、今よりもっと子育てしやすい村となるためにはどのようなことが重要だと思いますか。(〇は3つまで)

上北山村が子育てしやすい村になるために必要なことについては、「子どもの医療機関の整備」が47.1%で最も高くなっています。

図表 2-10-8 上北山村が子育てしやすい村になるために必要なこと



(8) 自由意見

問 33 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

子育ての環境や支援に関する自由記述は、以下の通りとなっています。

図表 2-10-9 自由意見

自由意見
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園においてまず延長保育の整備が出来ていない。16 時までには迎えに行かないといけないため、仕事を 2 時間休まなければならない。現在、学童と合同で延長保育のようなことをしてくれているが、これは一時的な対策であり、全く解決していないので早急に保育士を募集する必要がある。隣村の下北山村、川上村は 18 時まで延長保育があるなど非常に充実している。そうすると、隣村へ引っ越しする家族も出てきかねない。 あと、夏休み、冬休み、春休み、半日保育が 1 週間続く等、保育園なのに休みがかなり多い。休んでばかりで仕事もままならないし、職場にも迷惑がかかる。共働きじゃないと保育園はあずからないとうたっているのに保護者のことを全く考えていない。昔は祖父母や親族等がいてあずかってくれたのであろうが、今は夫婦とも移住者で共働き世帯が増えてきており、頼る人もいないため非常に保育園児を育てにくい環境である。たとえば子どもが生まれたら 100 万円もらえる施策をしたとしても、育てにくければ移住者など増えるはずもない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今はよく、産後ケアホテルなどのサービスがあったり、補助がでたりするという情報があるので、上北山村に施設をつくるのは難しいと思うので、どこかの市と提携するなどのサービスがあったら良いと思いました。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事をしながら子育てをする。 ・ 働きながら子育てのしやすい環境を ・ 食事作りが大変なので、村内で気軽に手作りのおかず惣ざいが購入できるととてもありがたいです。 ・ 休日に遊べる場所が少ないと感じます。 ・ 雨の日遊べる室内あそび場がない ・ トイレがない(西原×健民グラウンド○桜平×とちの木○白川×) ・ 図書館がほしい ・ 育児サークル(お母さん達がコミュニケーションをとる機会)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事を始めるまで、小さい子を連れて子育てするのにまわりで一緒にコミュニケーション交流を取る場が少なく、人も少ない為孤立しがちだった。悩みを相談するのに勇気がある。交流したいけど、知らない人と接するのが難しく感じたり、人と会うのがしんどく思う時期があり、産後うつなどなりやすい、なっていることに気付かない。助けを求めたくてもどうしたら良いか？小さい子を連れて行く、出掛ける負担有り、村外へ出るのが負担でも村外で孤立しがち。子どもが病気になった時が大変に感じます。しんどい小さい子を連れて大きな病院へ行ってくださいと言われて大変(薬がない、専門ではないから、etc.)月 1 回半年に 1 回でも子供向け医療について、充実してほしい。

自由意見

- ・子育て中の母親が集まって、コミュニケーションをとれる機会が少なく感じる。
- ・平日

・保育に関して今の保育士の先生方は皆さんとても一生懸命していただいています。先生方の健康や心のよゆうが直接子どもたちに伝わるお仕事だと思います。なので保育園がお休みの日は先生方も自由にゆっくり自分の好きな時間、好きな行動をとれるよう、配慮してあげてほしいと思います。休みの日はしっかり各自が休めるよう、これが重要だと考えます。例えば保育園がお休みの日はイベントの参加を自由参加にするなど。月～金まで子どもと楽しく笑顔で一緒にいてもらえる事が保護者は何よりもありがたいのです。先生方がご無理のないよう、平日、ゆったりとした気持ちで仕事に行けるように、どうぞよろしくお願いします。

・教育に関しては「子どもの最善の利益」「非認知能力」「地域全体の価値観の創出」をしっかり考えてほしい。子育てに関しては「安全な遊び場」「医療」「健やかな成長のための取り組み」を各大人が「我が子」「我が孫」の事と思って考えて欲しい。「面倒」「責任転嫁」「管轄が違う」などの隔たりを無くして子育て教育共に皆で取り組んでもらいたい。実際に今村でおこっている問題について、声が聞こえてくると思います。それらを一一つに真摯に向き合って解決して欲しい。

・子どもは今小学校へ通っています。子育ての環境に関して、というと子どもが一番長い時間を過ごす小学校での環境に言及する必要があると思います。保護者として学校へ望むことと学校の管理職の方々の考えに隔たりがあると感じる事が多々あります。担任してくださる先生方は毎日子どもと同じ時間を過ごしているので、保護者の望む考えを理解しいつも協力して子育てを担っていると感じます。ところが、管理職の先生方となると急に子どもの意図、保護者の意図が全く伝わっていない、伝わっていてもご理解いただけない、行動もしない、協力もしない、という姿勢を見せられる時があります。これでは子どもと毎日毎時間一緒にいてくださる担任の先生、教科担当の先生は大変お辛い気持ちになります。担任や担当の先生方の気持ちは直接、目の前にいる子どもに伝わります。これが子どもの精神に良いわけがありません。子育ての環境に一番悪影響を与えるのは、一番いる時間の長い学校の雰囲気です。学校の管理職の方はこの重要な点を見落としてはいいのでしょうか。保護者は何より、子どもと毎時一緒にいる先生方の笑顔が必要です。

第3章 こどもの意識と生活に関する調査

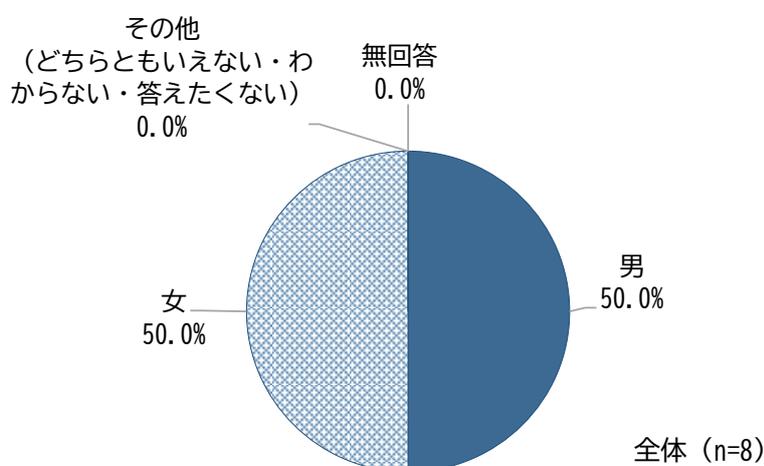
1 回答者自身のことについて

(1) 性別

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

性別については、「男」が50.0%、「女」が50.0%となっています。

図表 3-1-1 性別

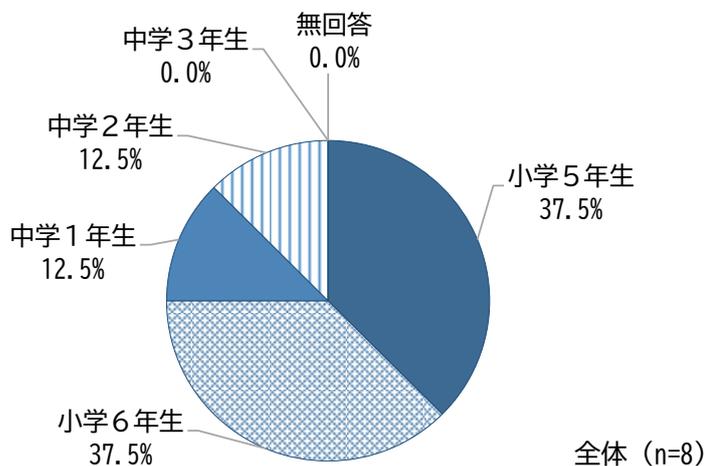


(2) 学年

問2 あなたの学年についてお答えください。(○は1つ)

学年については、「小学5年生」、「小学6年生」がいずれも37.5%で最も高くなっています。

図表 3-1-2 学年

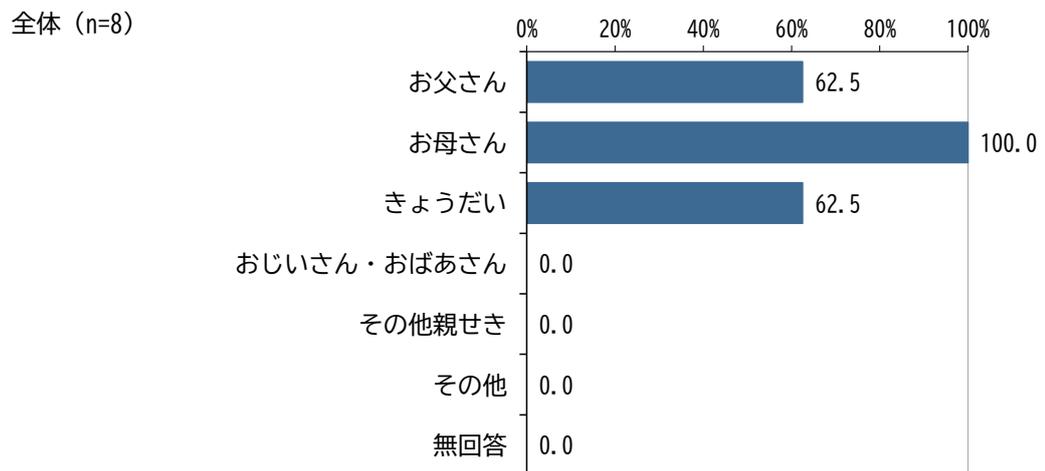


(3) 同居家族

問3 現在、あなたがいっしょに住んでいる人をすべて選んでください。
(あてはまる番号すべてに○)

同居家族については、「お母さん」が100.0%で最も高くなっています。

図表 3-1-3 同居家族



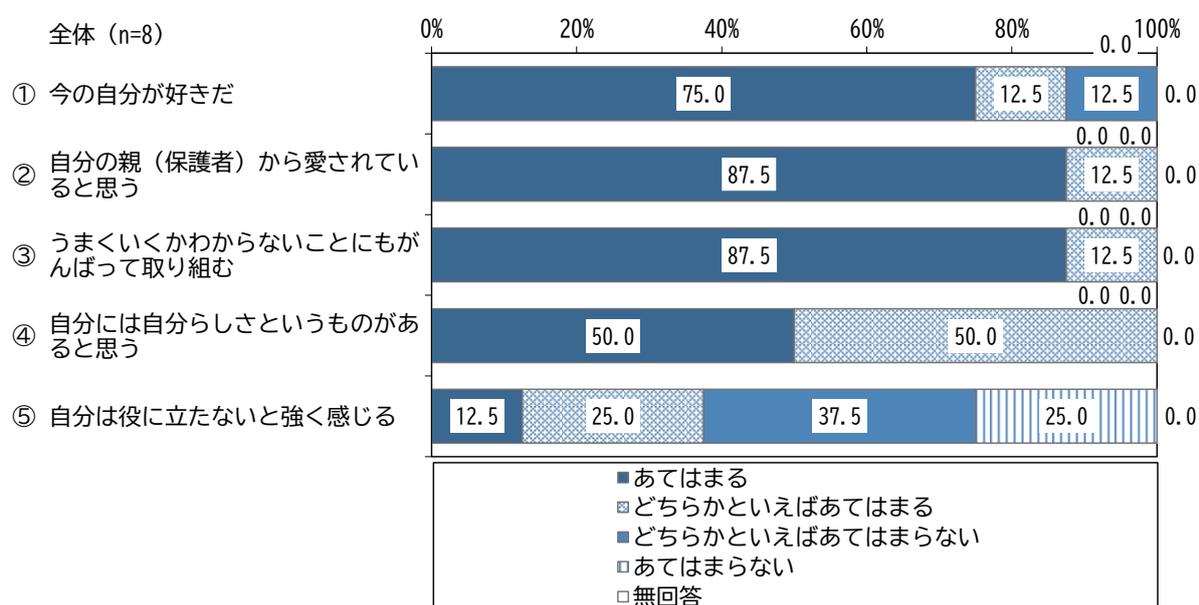
(4) 回答者の状況

問4 あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。
(それぞれ○は1つ)

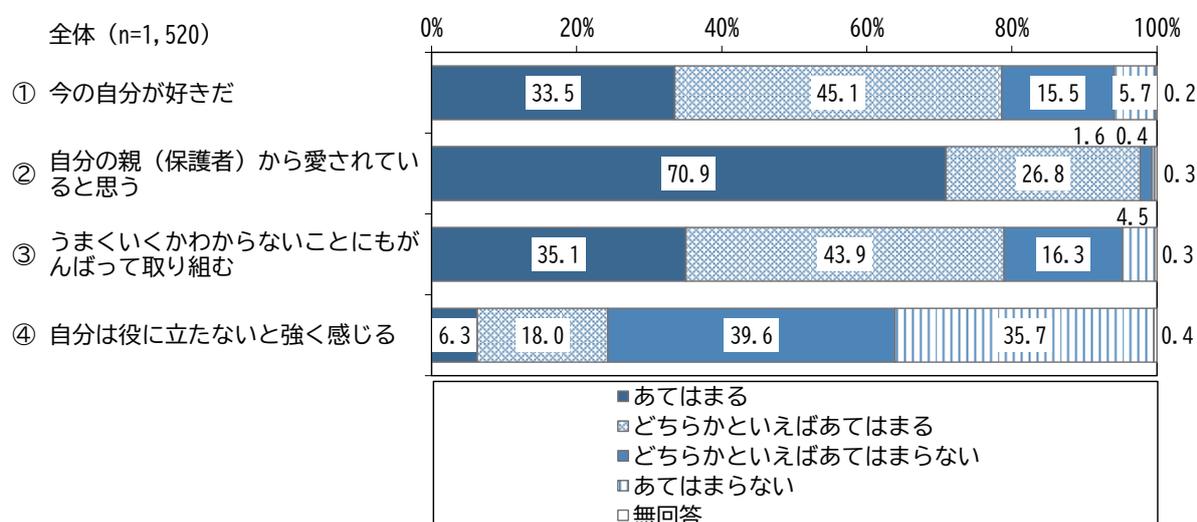
回答者の状況について、「あてはまる」では、「② 自分の親（保護者）から愛されていると思う」、「③ うまくいくかわからないことにもがんばって取り組む」がいずれも 87.5%で最も高くなっています。

国が実施した調査と比較できる項目で比較すると、全ての項目で「あてはまる」の割合が国が実施した調査より高くなっています。

図表 3-1-4 回答者の状況



図表 3-1-5 回答者の状況 令和4（2022）年度国調査

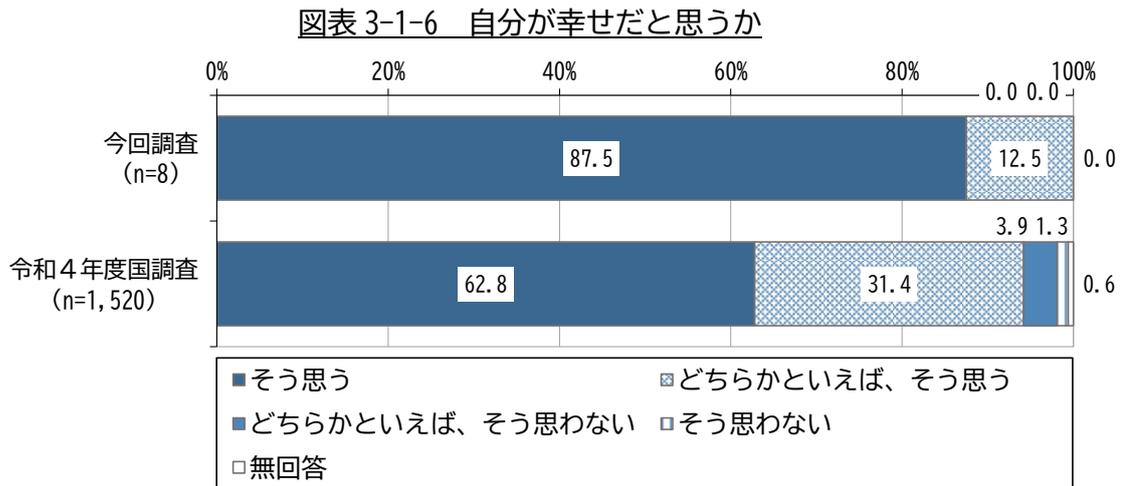


(5) 自分が幸せだと思うか

問5 あなたは、今、自分が幸せだと思いますか。あなたの実感をお答えください。
(○は1つ)

自分が幸せだと思うかについては、「そう思う」が87.5%で最も高くなっています。

国が実施した調査と比較すると、「そう思う」(87.5%)では、国が実施した調査(62.8%)より24.7ポイント高くなっています。



2 ふだんの生活について

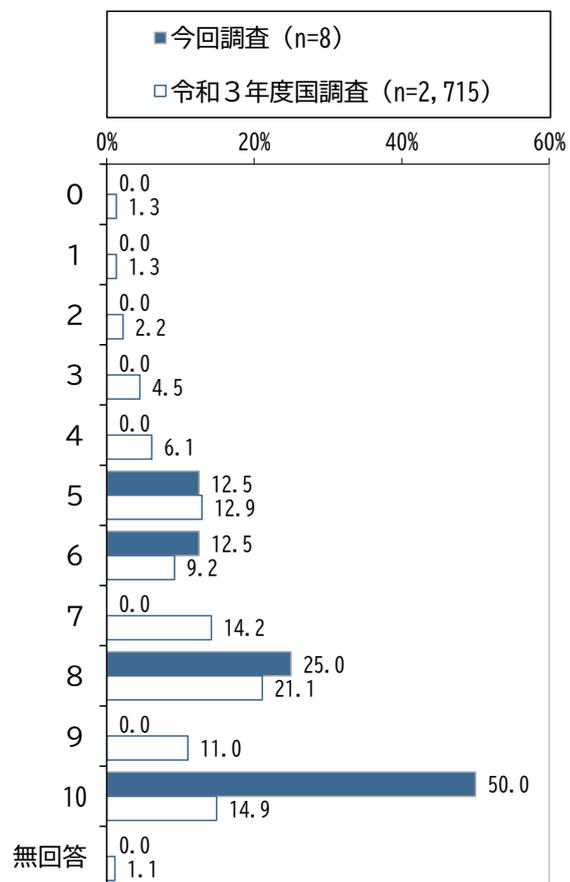
(1) 生活の満足度

問6 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。（○は1つ）

生活の満足度については、「10」が50.0%で最も高くなっています。

国が実施した調査と比較すると、「10」（50.0%）では、国が実施した調査（14.9%）より35.1ポイント高くなっています。

図表 3-2-1 生活の満足度



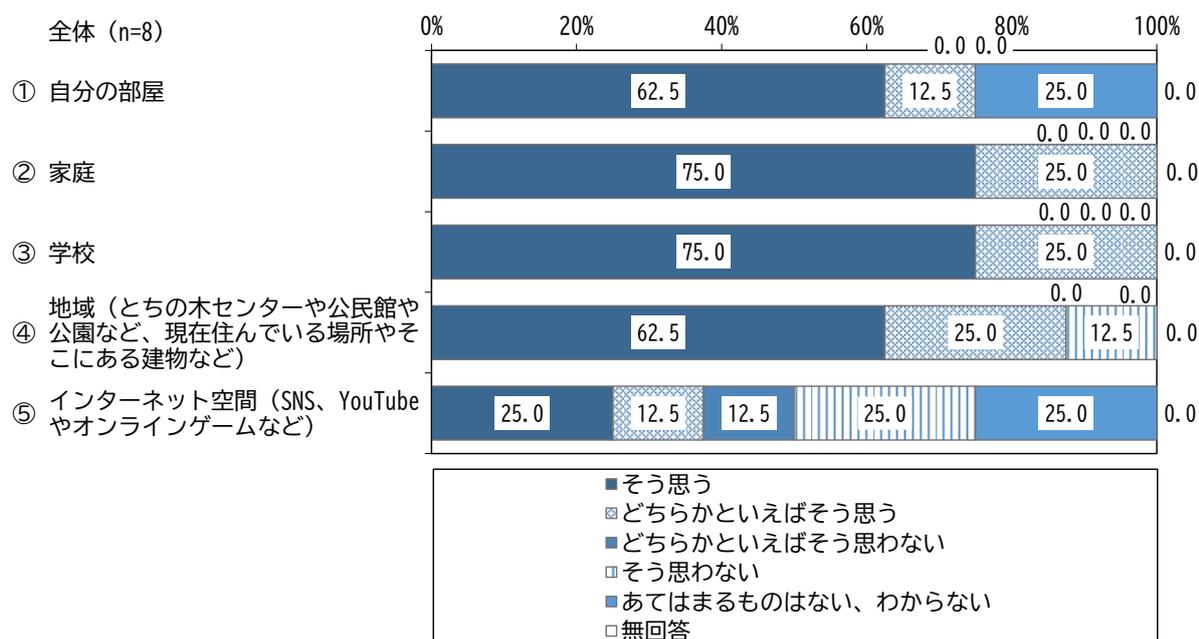
(2) 居場所になっているか

問7 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）になっていますか。（それぞれ○は1つ）

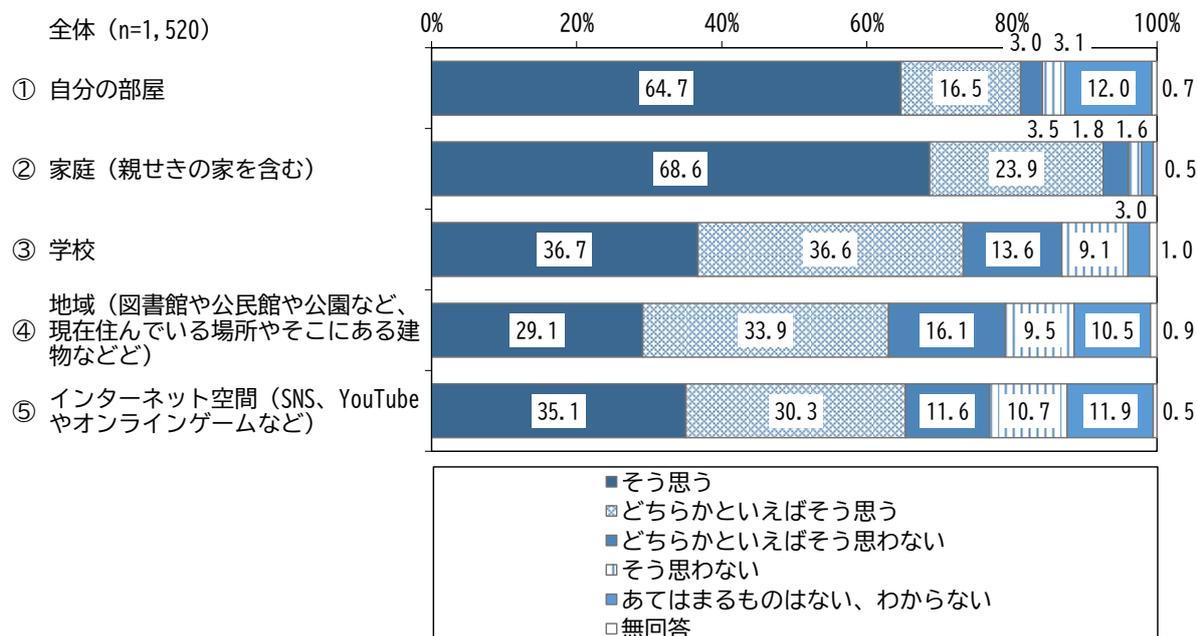
居場所になっているかについて、「そう思う」では、「② 家庭」、「③ 学校」がいずれも75.0%で最も高くなっています。

国が実施した調査と比較すると、「③ 学校」について「そう思う」（75.0%）では、国が実施した調査（36.7%）より38.3ポイント高くなっています。

図表 3-2-2 居場所になっているか



図表 3-2-3 居場所になっているか 令和4（2022）年度国調査



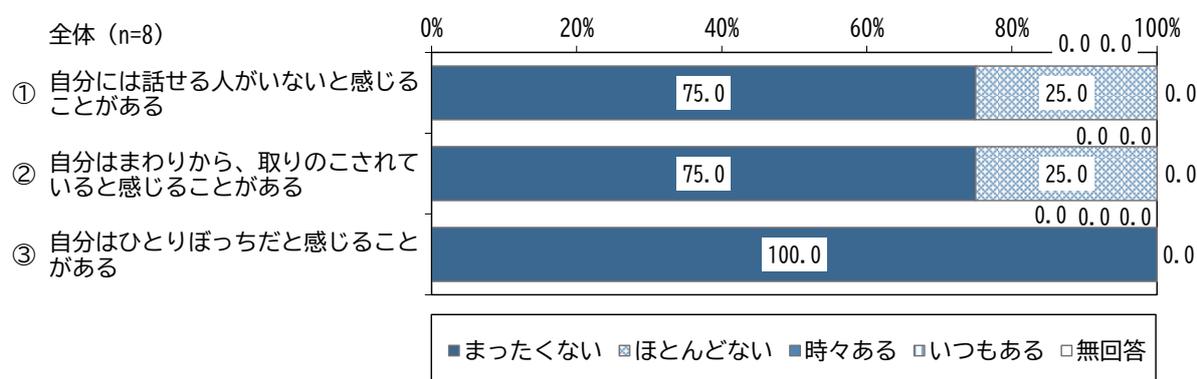
(3) 周囲とのつながりの状況

問8 以下の①～③の項目について、あなたはどれくらいよく感じていますか。
(それぞれ○は1つ)

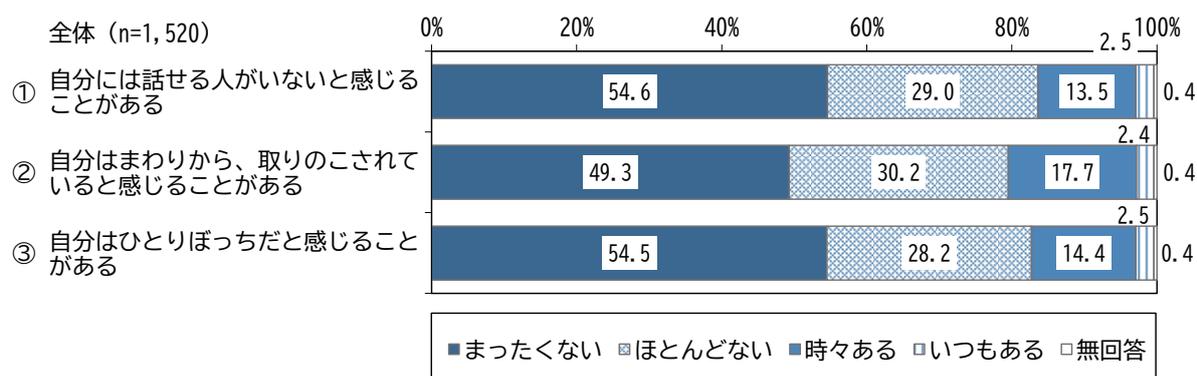
周囲とのつながりの状況について、「まったくない」では、「③ 自分はひとりぼっちだと感じることがある」が100.0%で最も高くなっています。

国が実施した調査と比較すると、全ての項目で「まったくない」の割合が国が実施した調査より高くなっています。

図表 3-2-4 周囲とのつながりの状況



図表 3-2-5 周囲とのつながりの状況 令和4（2022）年度国調査

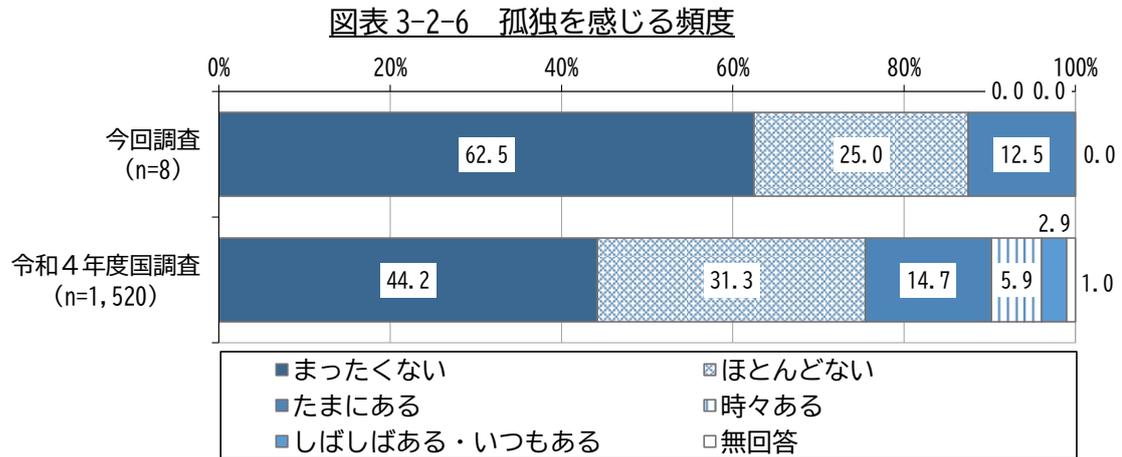


(4) 孤独を感じる頻度

問9 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。(○は1つ)

孤独を感じる頻度については、「まったくない」が62.5%で最も高くなっています。

国が実施した調査と比較すると、「まったくない」(62.5%)では、国が実施した調査(44.2%)より18.3ポイント高くなっています。

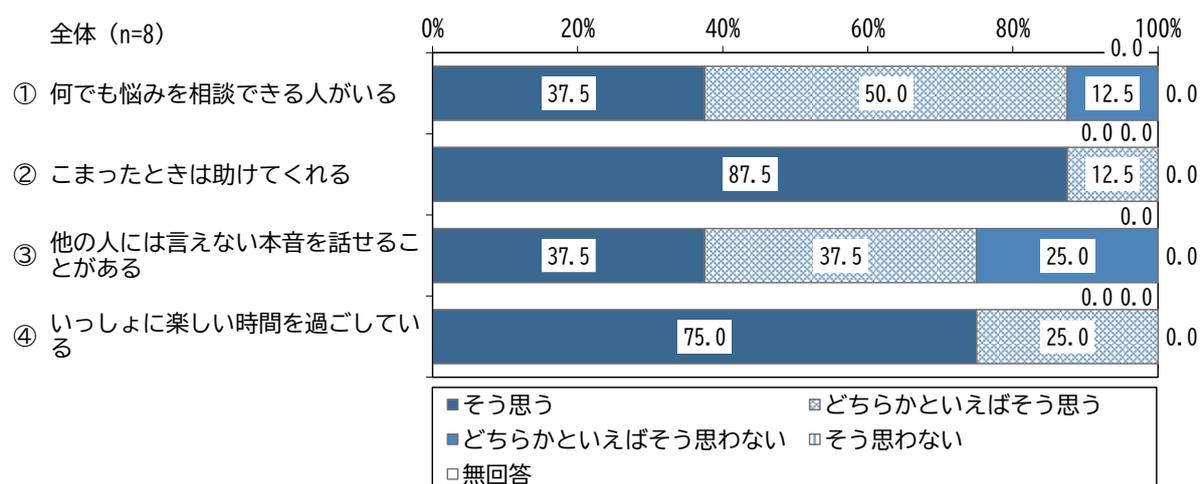


(5) 家族との関わりの状況

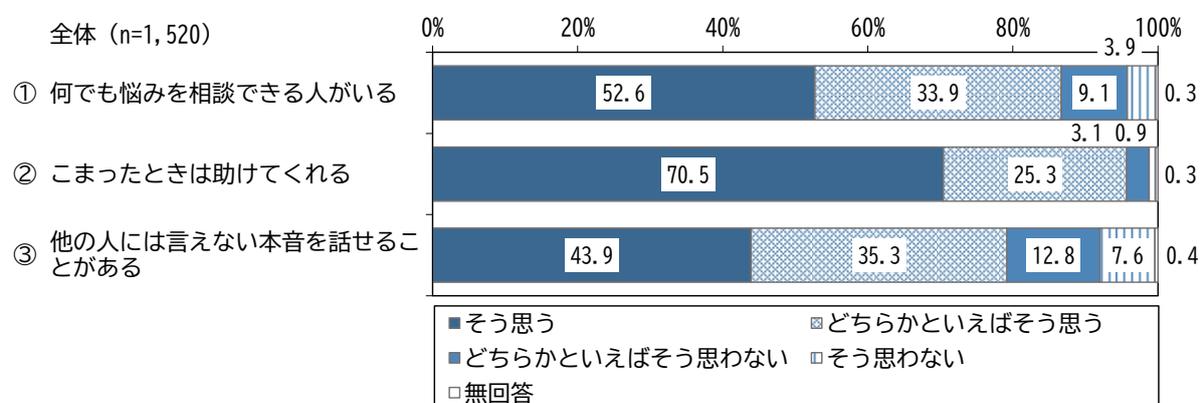
問10 家族とあなたのかかわりは、どのようなものですか。（それぞれ○は1つ）

家族との関わりの状況について、「そう思う」では、「④ いっしょに楽しい時間を過ごしている」が75.0%で最も高くなっています。

図表 3-2-7 家族との関わりの状況



図表 3-2-8 家族や親せきとの関わりの状況 令和4（2022）年度国調査



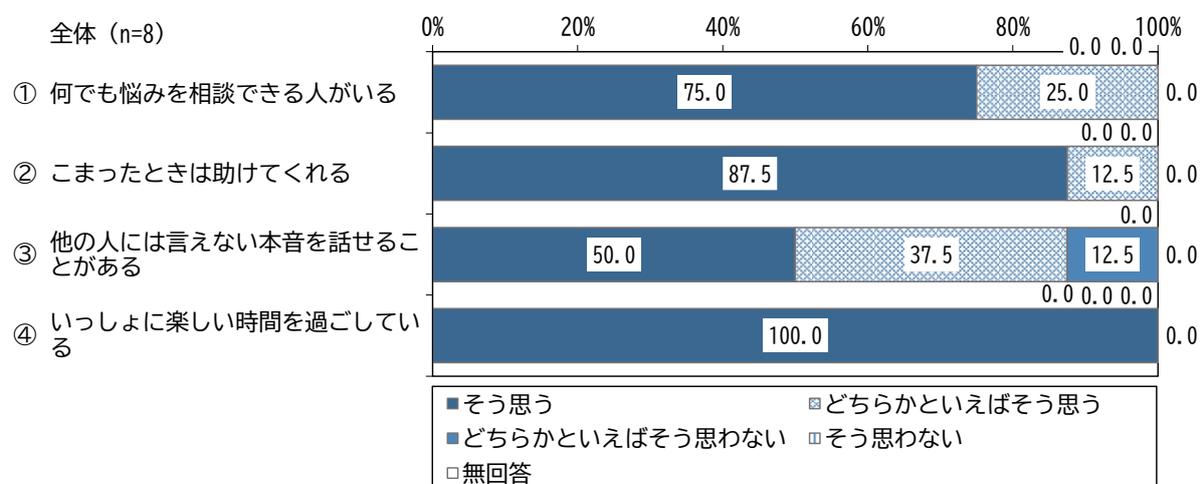
(6) 学校で出会った友だちとの関わりの状況

問11 学校で出会った友だち（現在通っている学校やこれまでに通っていた学校の友だちなど）と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。（それぞれ○は1つ）

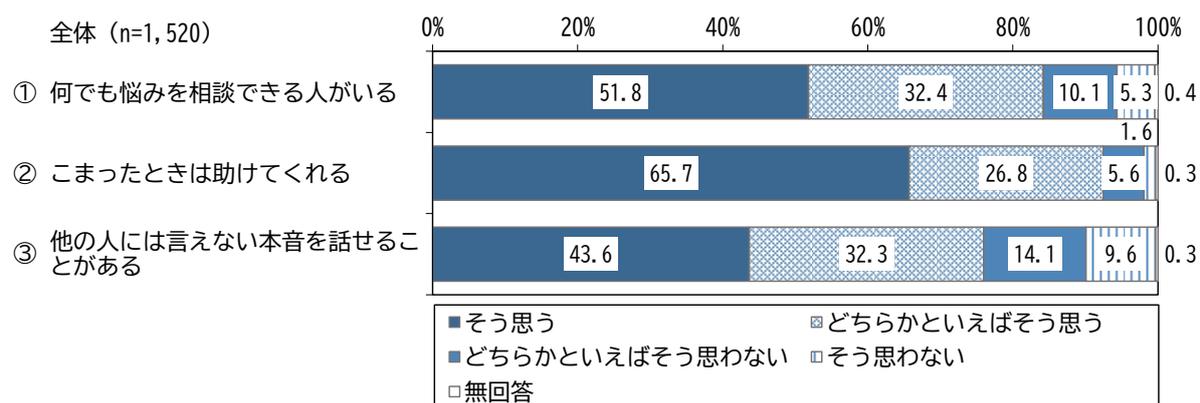
学校で出会った友だちとの関わりの状況について、「そう思う」では、「④ いっしょに楽しい時間を過ごしている」が100.0%で最も高くなっています。

国が実施した調査と比較できる項目で比較すると、全ての項目で「そう思う」の割合が国が実施した調査より高くなっています。

図表 3-2-9 学校で出会った友だちとの関わりの状況



図表 3-2-10 学校で出会った友だちとの関わりの状況 令和4（2022）年度国調査



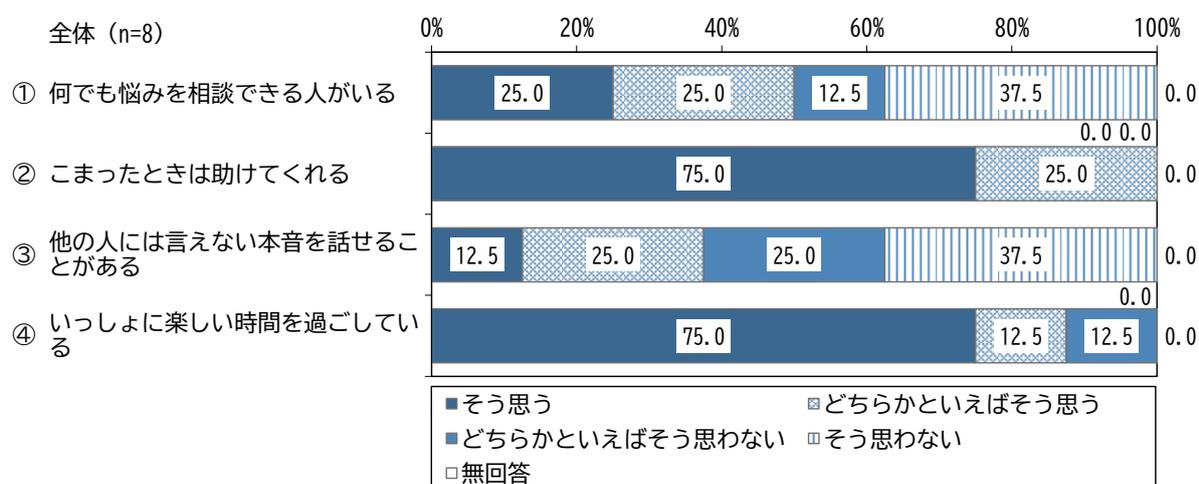
(7) 地域の人との関わりの状況

問12 地域の人（近所の人など）と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。
（それぞれ○は1つ）

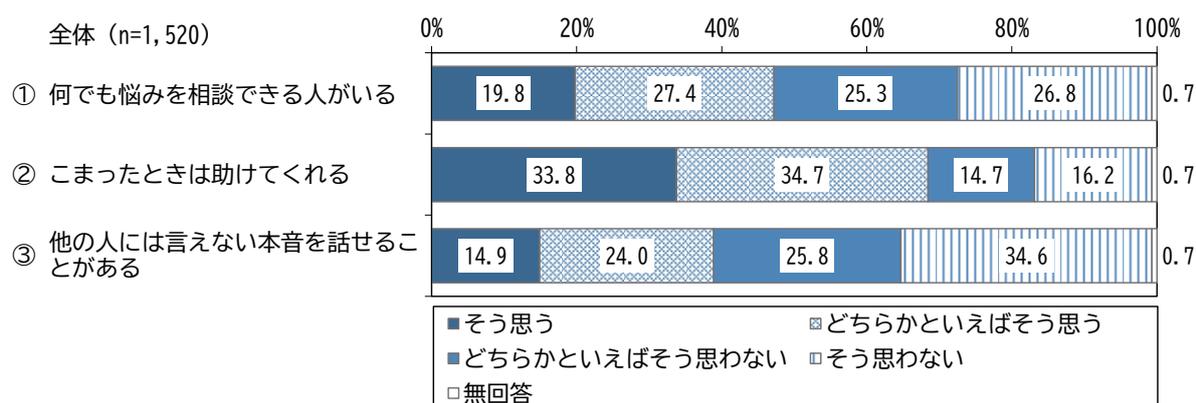
地域の人との関わりの状況について、「そう思う」では、「② こまったときは助けてくれる」が75.0%で最も高くなっています。

国が実施した調査と比較できる項目で比較すると「① 何でも悩みを相談できる人がいる」、「② こまったときは助けてくれる」で「あてはまる」の割合が国が実施した調査より高くなっています。

図表 3-2-11 地域の人との関わりの状況



図表 3-2-12 地域の人との関わりの状況 令和4（2022）年度国調査



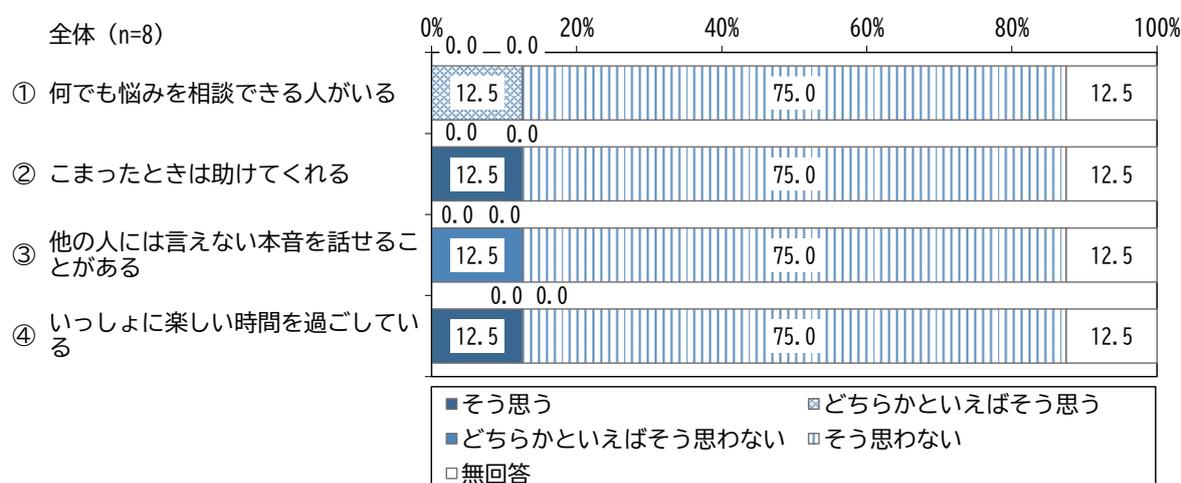
(8) インターネット上の人との関わりの状況

問13 インターネット上における人やグループ（実際には会ったことがなかったり、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合いの人やグループ）と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。
（それぞれ○は1つ）

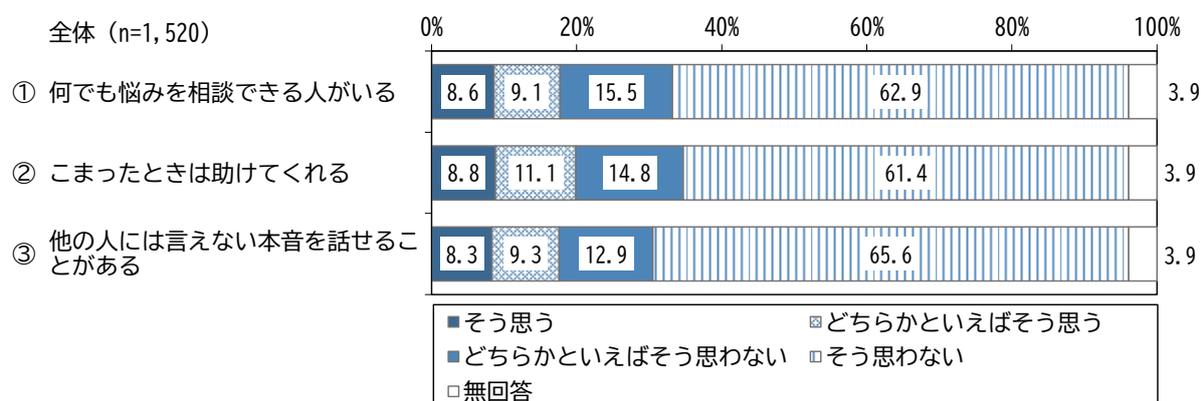
インターネット上の人との関わりの状況については、全ての項目で「そう思わない」の割合が最も高くなっています。

国が実施した調査と比較できる項目で比較すると、全ての項目で「そう思わない」の割合が国が実施した調査より高くなっています。

図表 3-2-13 インターネット上の人との関わりの状況



図表 3-2-14 インターネット上の人との関わりの状況 令和4（2022）年度国調査



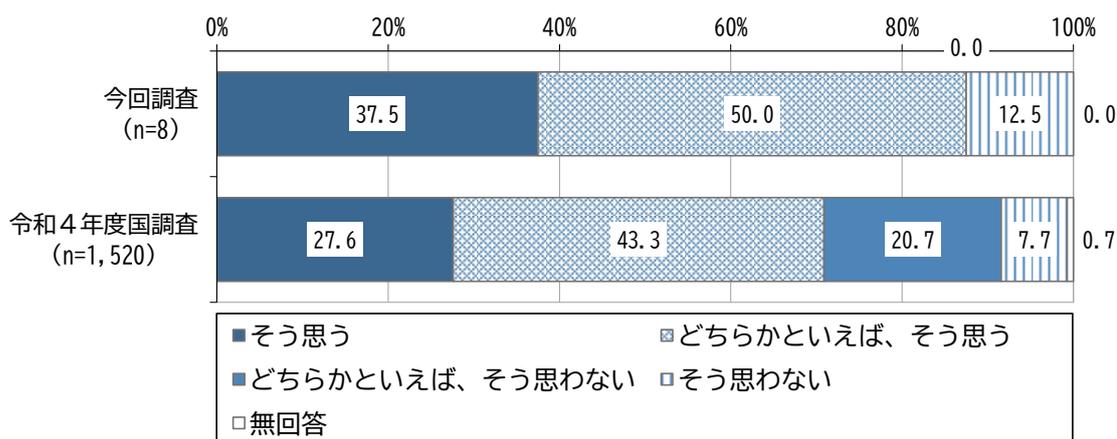
(9) 誰とでも親しくなれるか

問14 あなたは、だれとでもすぐに仲良くなれる方ですか。(○は1つ)

誰とでも親しくなれるかについては、「どちらかといえば、そう思う」が50.0%で最も高くなっています。

国が実施した調査と比較すると、「そう思う」(37.5%)では、国が実施した調査(27.6%)より9.9ポイント高くなっています。

図表 3-2-15 誰とでも親しくなれるか



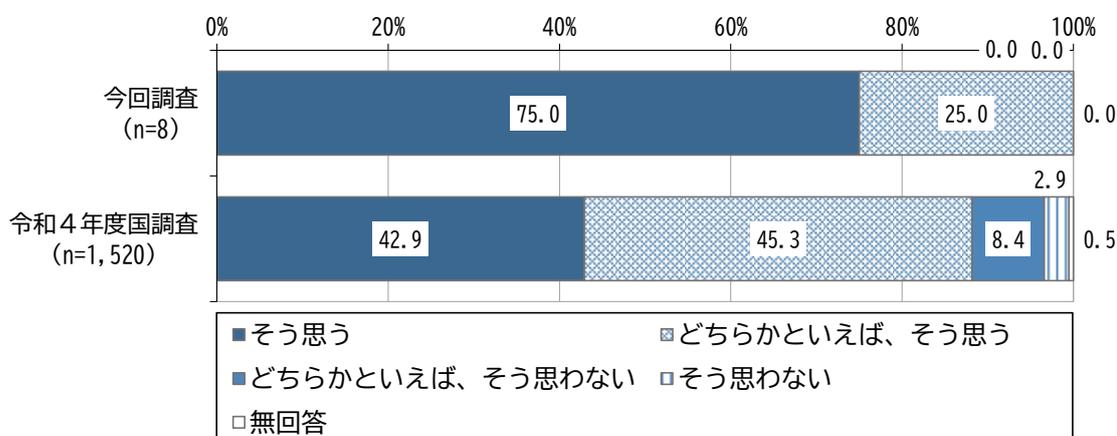
(10) 社会のために役立ちたいか

問15 あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。(○は1つ)

社会のために役立ちたいかについては、「そう思う」が75.0%で最も高くなっています。

国が実施した調査と比較すると、「そう思う」(75.0%)では、国が実施した調査(42.9%)より32.1ポイント高くなっています。

図表 3-2-16 社会のために役立ちたいか



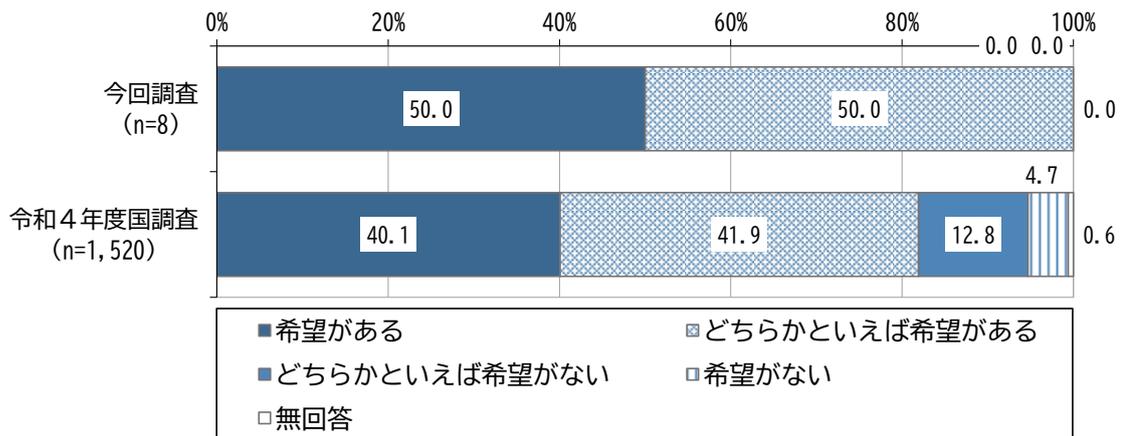
(11) 自分の将来に明るい希望を持っているか

問16 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。(○は1つ)

自分の将来に明るい希望を持っているかについては、「希望がある」、「どちらかといえば希望がある」がいずれも50.0%で最も高くなっています。

国が実施した調査と比較すると、「希望がある」(50.0%)では、国が実施した調査(40.1%)より9.9ポイント高くなっています。

図表 3-2-17 自分の将来に明るい希望を持っているか



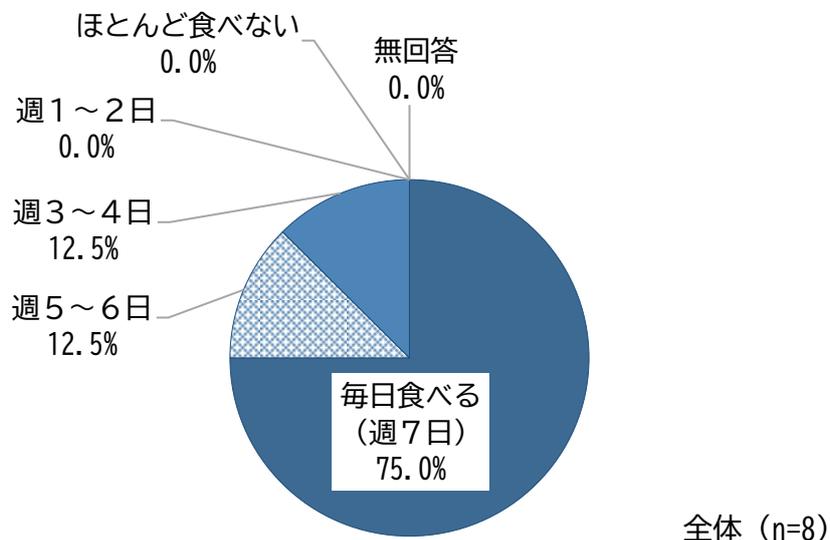
(12) 朝食・夕食の摂取頻度

問17 あなたは、週にどのくらいごはんを食べていますか。(それぞれに○は1つ)

① 朝食

朝食の摂取頻度については、「毎日食べる(週7日)」が75.0%で最も高くなっています。

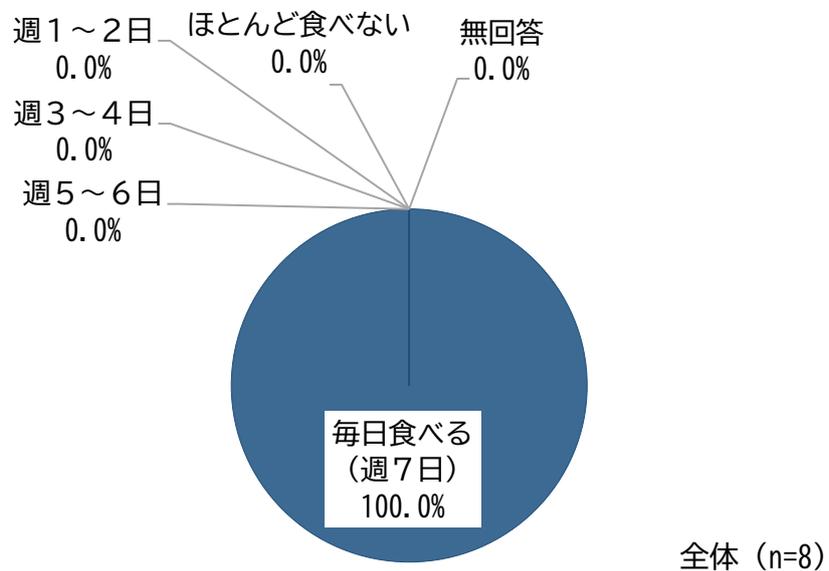
図表 3-2-18 朝食の摂取頻度



② 夕食

夕食の摂取頻度については、「毎日食べる（週7日）」が100.0%で最も高くなっています。

図表 3-2-19 夕食の摂取頻度

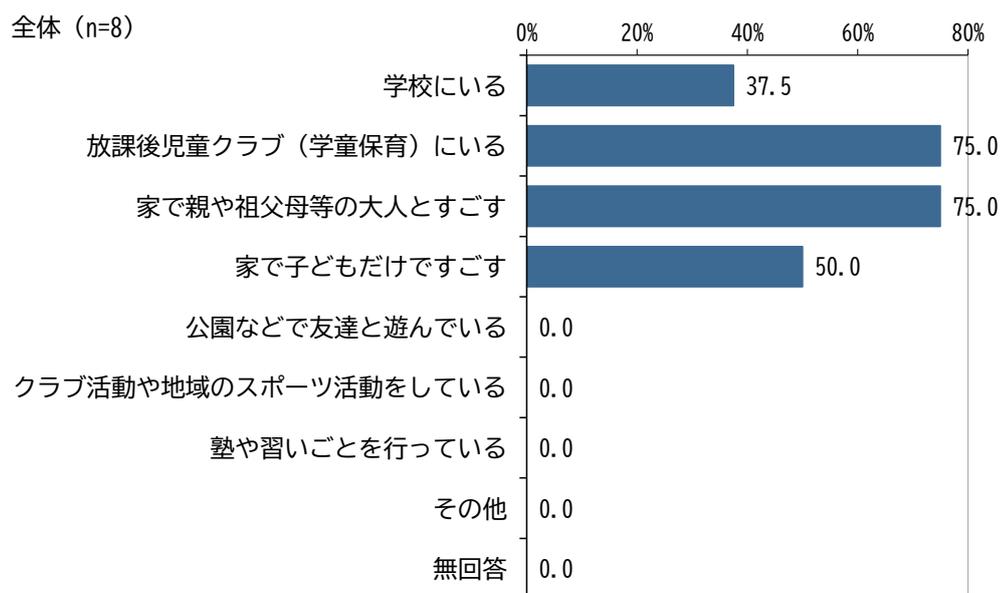


(13) 平日の放課後の過ごし方

問 18 あなたは、平日（月曜日から金曜日）の放課後をいつもどのようにすごしていますか。（あてはまる番号すべてに○）

平日の放課後の過ごし方については、「放課後児童クラブ（学童保育）にいる」、「家で親や祖父母等の大人とすごす」がいずれも 75.0%で最も高くなっています。

図表 3-2-20 平日の放課後の過ごし方



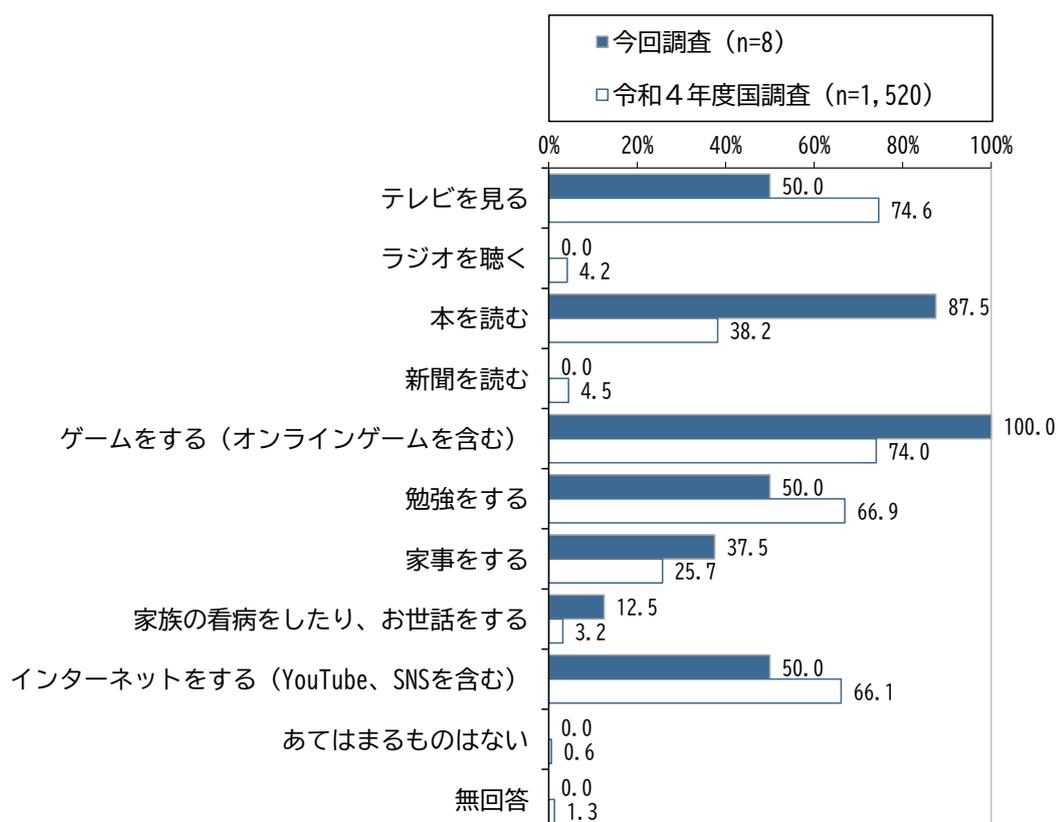
(14) 自宅での過ごし方

問19 ふだん家（暮らしている場所）にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。よくしていることをすべて選んでください。（あてはまる番号すべてに○）

自宅での過ごし方については、「ゲームをする（オンラインゲームを含む）」が100.0%で最も高くなっています。

国が実施した調査と比較すると、「本を読む」（87.5%）では、国が実施した調査（38.2%）より49.3ポイント高くなっています。

図表3-2-21 自宅での過ごし方



3 相談先について

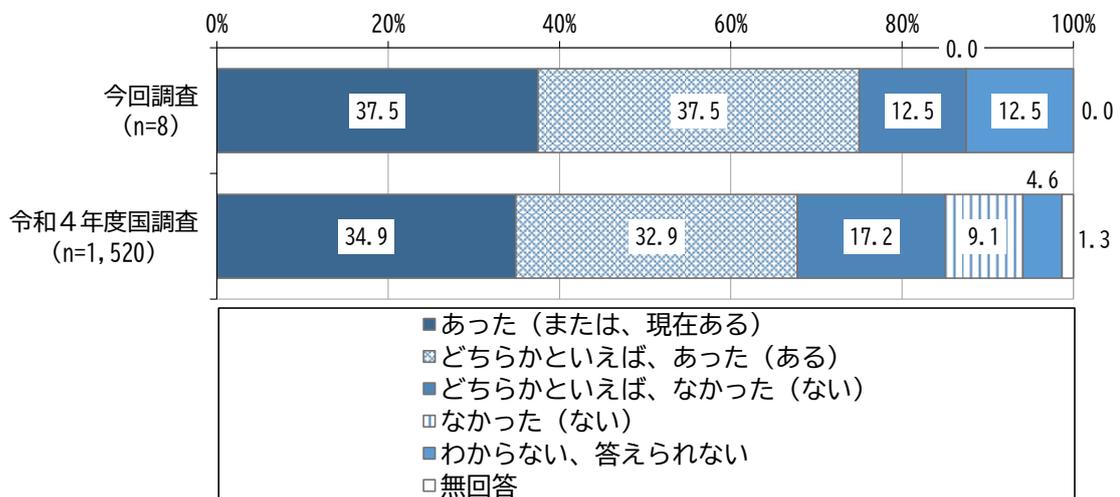
(1) 落ち込んだ経験の有無

問20 あなたは今までに、ものごとがうまくいかず落ち込んだ経験があったと思いますか。または、現在、ありますか。最もあてはまるものを選んでください。(○は1つ)

落ち込んだ経験の有無については、「あった(または、現在ある)」、「どちらかといえば、あった(ある)」がいずれも37.5%で最も高くなっています。

国が実施した調査と比較すると、『あった/ある』(「あった(または、現在ある)」と「どちらかといえば、あった(ある)」の合計)(75.0%)では、国が実施した調査(67.8%)より7.2ポイント高くなっています。

図表 3-3-1 落ち込んだ経験の有無



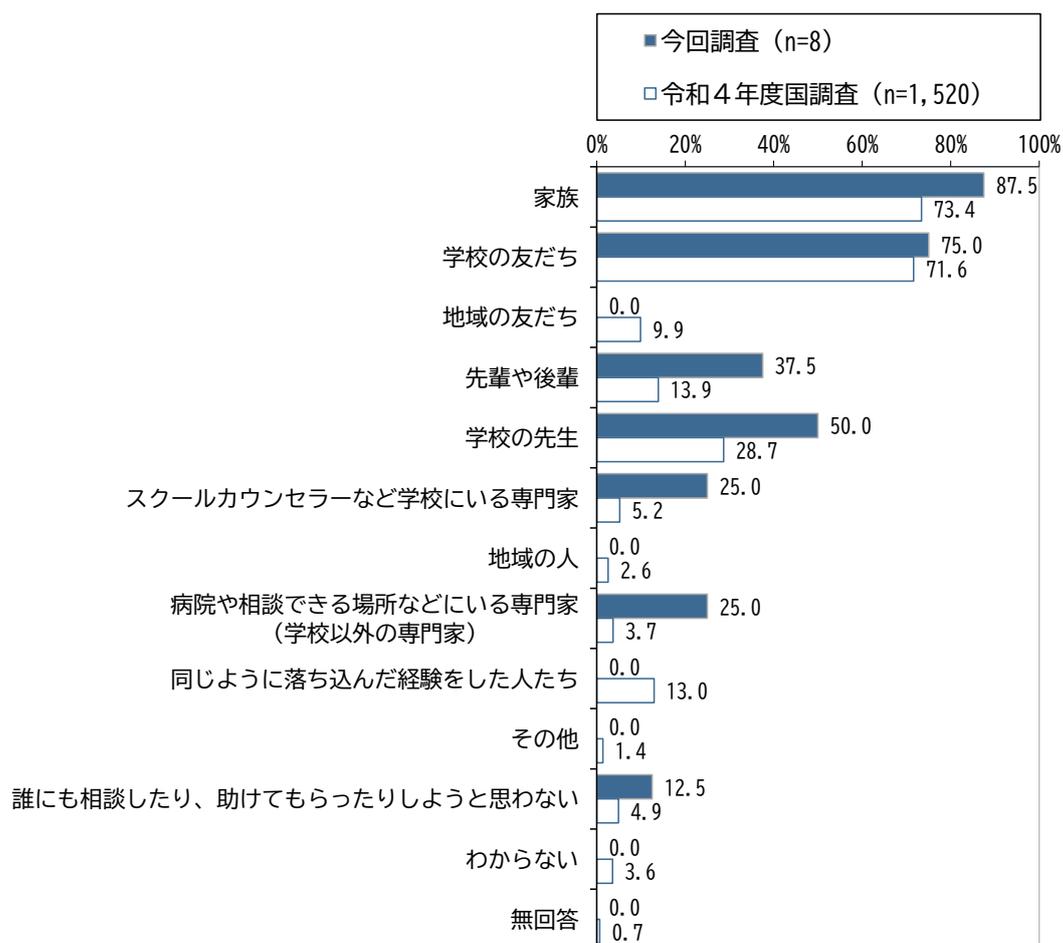
(2) 相談しやすい相談先

問21 あなたが、ものごとがうまくいかず落ち込んだときに、どういった人なら、相談したり、助けてもらったりしやすいと感じますか。(あてはまる番号すべてに○)

相談しやすい相談先については、「家族」が87.5%で最も高くなっています。

国が実施した調査と比較すると、「先輩や後輩」(37.5%)では、国が実施した調査(13.9%)より23.6ポイント高くなっています。

図表3-3-2 相談しやすい相談先

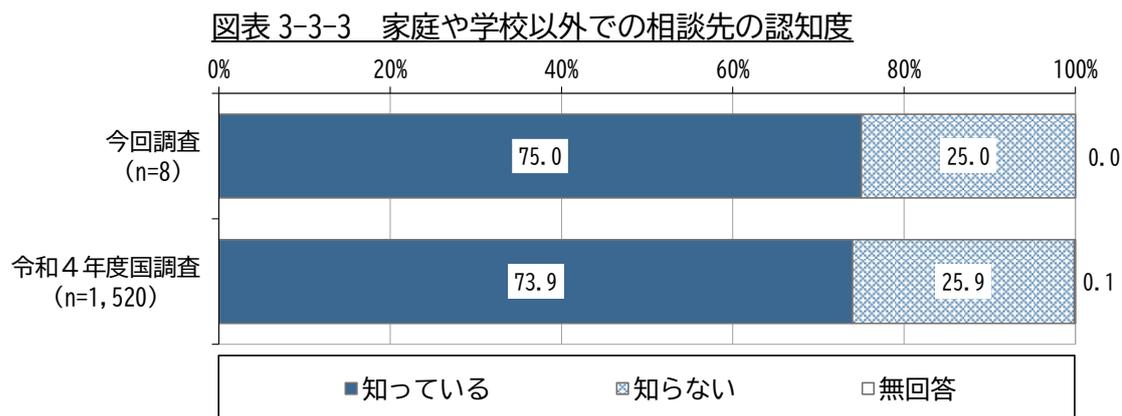


(3) 家庭や学校以外での相談先の認知度

問 22 あなたは、家庭や学校以外で、悩みやこまりごとなどを相談できる場所があることを知っていますか。(○は1つ)

家庭や学校以外での相談先の認知度については、「知っている」が75.0%、「知らない」が25.0%となっています。

国が実施した調査と比較すると、大きな差はみられません。



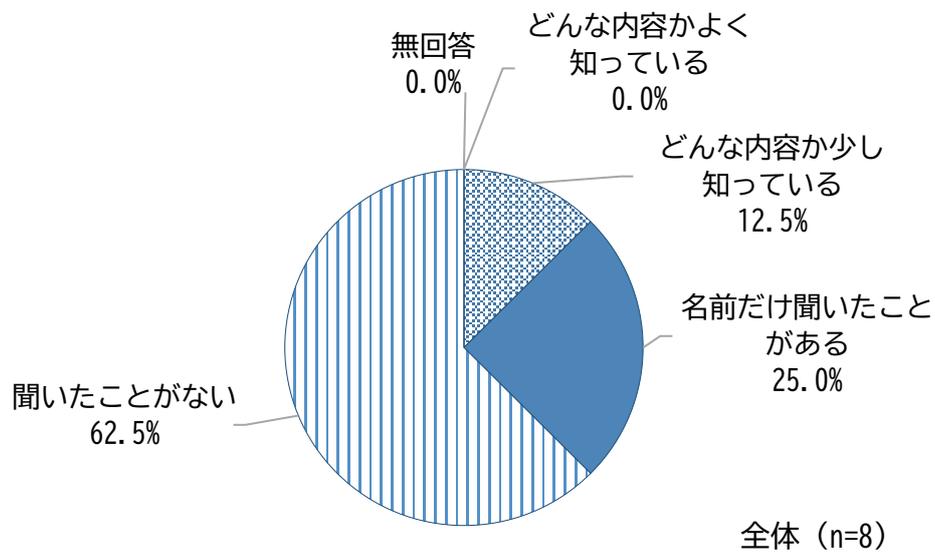
4 子どもの権利について

(1) 「児童の権利に関する条約」の認知度

問 23 あなたは、「児童の権利に関する条約」について聞いたことがありますか。
(○は1つ)

「児童の権利に関する条約」の認知度については、「聞いたことがない」が62.5%で最も高くなっています。

図表 3-4-1 「児童の権利に関する条約」の認知度

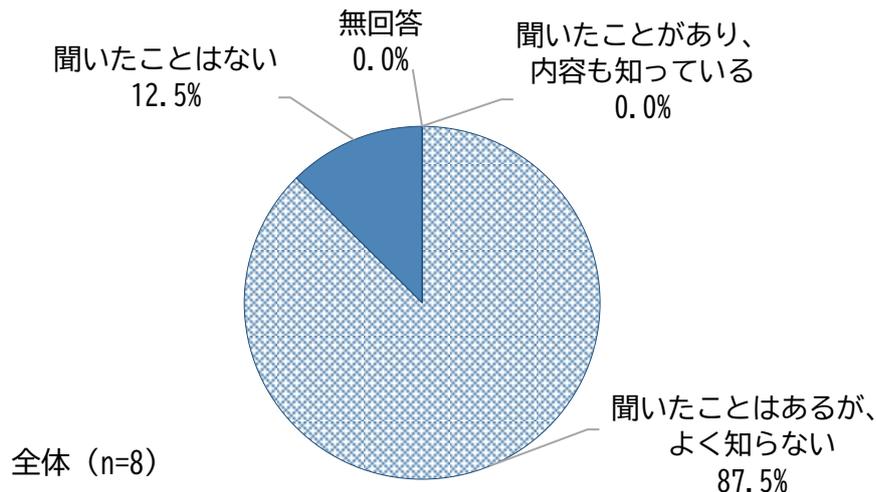


(2) 「子どもの意見の尊重」の認知度

問 24 あなたは、子どもが意見を表明する権利がある（子どもの意見の尊重）のを知っていますか。（○は1つ）

「子どもの意見の尊重」の認知度については、「聞いたことはあるが、よく知らない」が87.5%で最も高くなっています。

図表 3-4-2 「子どもの意見の尊重」の認知度

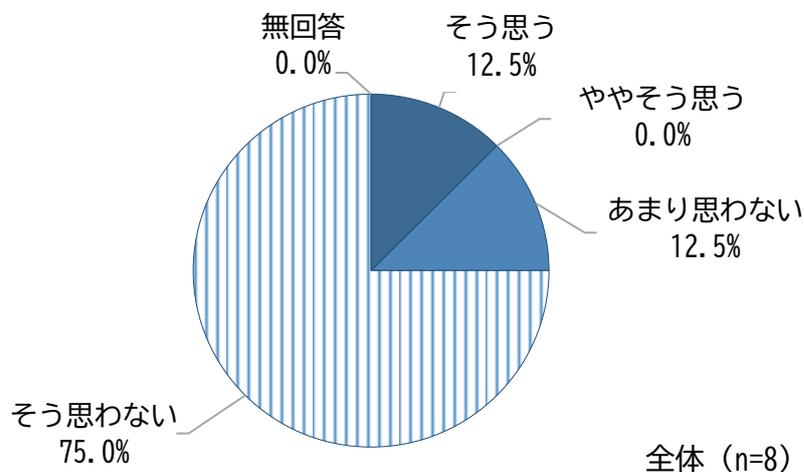


(3) 行政に対して意見を伝えたいか

問 25 あなたは、国や奈良県、上北山村の制度や政策について、思ったことや意見を伝えたいですか。（○は1つ）

行政に対して意見を伝えたいかについては、「そう思わない」が75.0%で最も高くなっています。

図表 3-4-3 行政に対して意見を伝えたいか



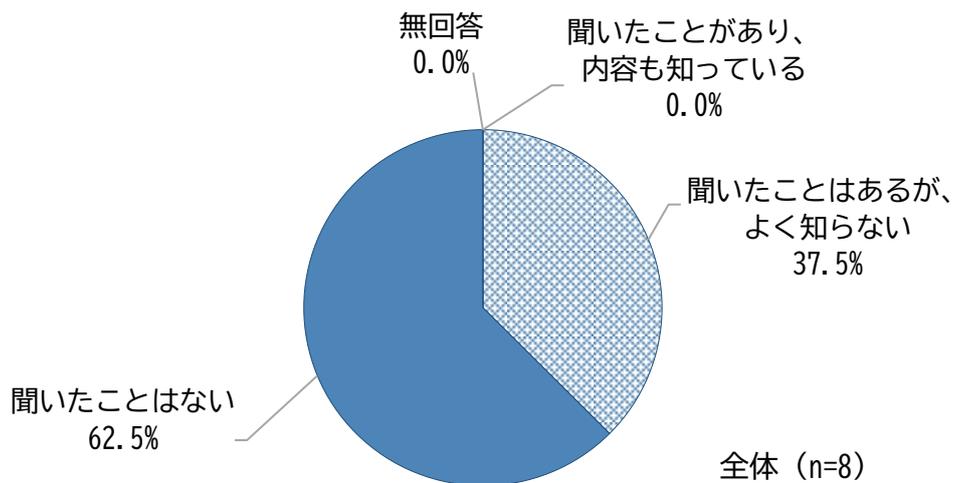
5 ヤングケアラーについて

(1) 「ヤングケアラー」の認知度

問26 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。(○は1つ)

「ヤングケアラー」の認知度については、「聞いたことはない」が62.5%で最も高くなっています。

図表 3-5-1 「ヤングケアラー」の認知度

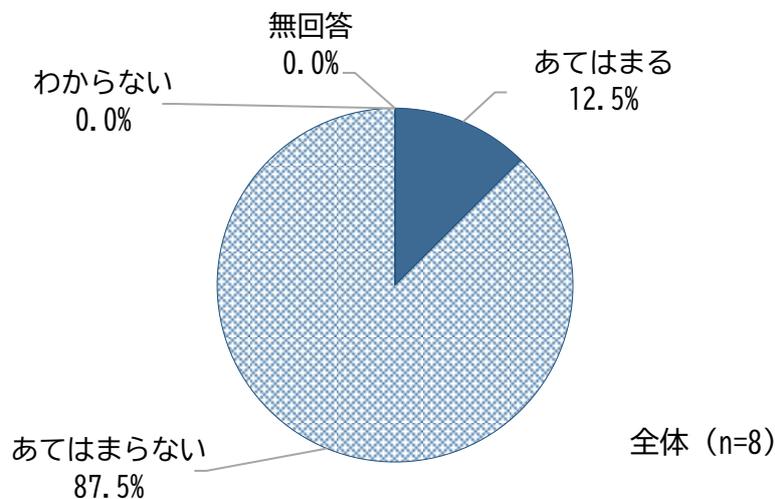


(2) 「ヤングケアラー」に該当するか

問27 あなたは「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。(○は1つ)

「ヤングケアラー」に該当するかについては、「あてはまる」が12.5%となっています。

図表 3-5-2 「ヤングケアラー」に該当するか



6 こどもまんなか社会について

(1) 「こどもまんなか社会」の実現に向かっているか

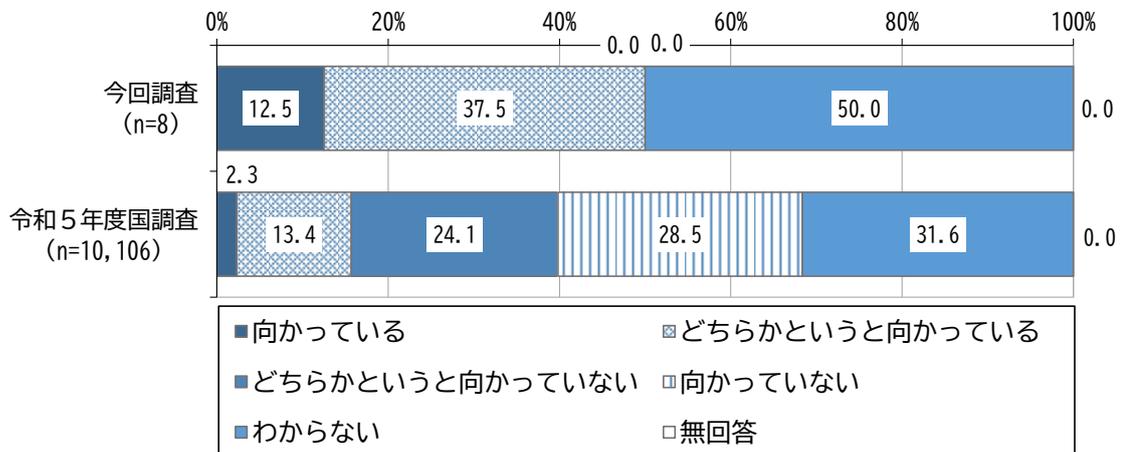
問 28 今の社会は「こどもまんなか社会」の実現に向かっていると思いますか。

(○は1つ)

こどもまんなか社会の実現に向かっているかについては、「わからない」が50.0%で最も高くなっています。

国が実施した調査と比較すると、『向かっている』（「向かっている」と「どちらかという toward 向かっている」の合計）（50.0%）では、国が実施した調査（15.7%）より34.3ポイント高くなっています。

図表 3-6-1 こどもまんなか社会の実現に向かっているか



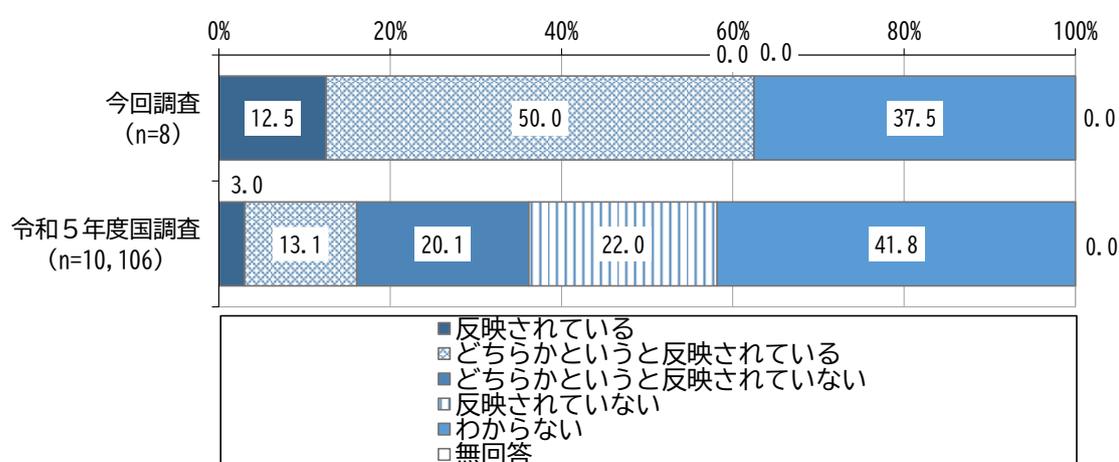
(2) 子ども・若者の意見が施策に反映されているか

問 29 上北山村は、子どもや若者の意見や考えが、社会やまちづくりに反映されていると思いますか。(○は1つ)

子ども・若者の意見が施策に反映されているかについては、「どちらかというと反映されている」が50.0%で最も高くなっています。

国が実施した調査と比較すると、『反映されている』（「反映されている」と「どちらかというと反映されている」の合計）(62.5%)では、国が実施した調査（16.1%）より46.4ポイント高くなっています。

図表 3-6-2 子ども・若者の意見が施策に反映されているか

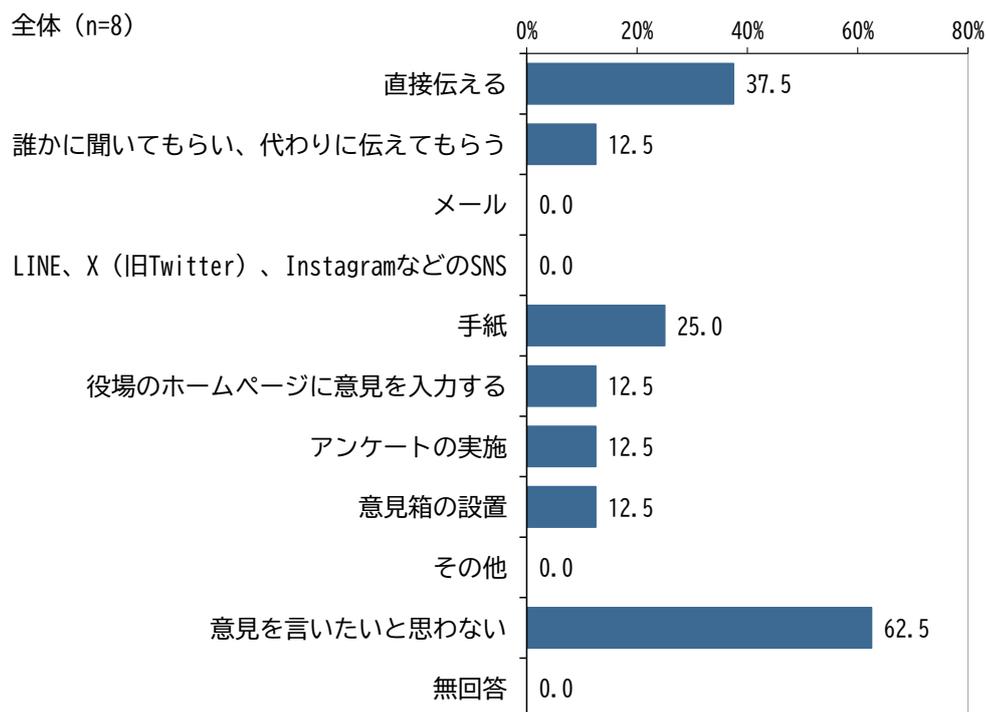


(3) 役場に意見を伝えやすい方法

問 30 あなたが役場に意見や考えを伝えやすいものは次のうちどれですか。
(あてはまる番号すべてに○)

役場に意見を伝えやすい方法については、「意見を言いたいと思わない」が62.5%で最も高くなっています。

図表 3-6-3 役場に意見を伝えやすい方法



(4) 自由意見

問 31 最後に、あなたがまわりの大人に言いたいことがあれば、自由に書いてください。
(役場にしてほしいこと、学校の先生に言いたいこと、家族にしてほしいことなど)

まわりの大人に言いたいことについての自由記述は、以下の通りとなっています。

図表 3-6-4 自由意見

自由意見
・なし (他同様意見 5 件)
・もっと他の学校とのふれあいをしたい!
・相談したいけど相談できなくて、話せなくてごめんね。

参考資料

1 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

「上北山村子ども・子育て支援事業計画」策定のためのアンケート調査

【アンケート調査へのご協力をお願いいたします】

日頃から、村政の運営にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、「第3期上北山村子ども・子育て支援事業計画（令和7～11年度）」の策定を進めるにあたり、子育て家庭の生活状況や村の施策に対する、保護者の皆様のご意見・ご要望を計画に反映させるために保護者の皆様にアンケート調査を実施いたします。

本調査は、就学前と小学生のお子さんがいいらっしゃるご家庭を対象に実施するものです。

なお、ご回答いただいた調査内容は、回答者個人が特定されることのないよう統計的に処理し、本村の計画及び事業実施に利用させていただきます。

本村の新しい子育て支援策を検討するための貴重な御意見とさせていただきます。期日までにご回答いただけますよう、ご協力をお願い申し上げます。

令和6年10月 上北山村長 山室 潔

【ご記入にあたってのお願い】

1. 調査票は、就学前及び小学生のお子さんのいるすべてのご家庭に、お子さんの人数分を配布しています。
ごきょうだいのいる場合は、それぞれのお子さんについて1部ずつご回答をお願いします。
2. 特にことわりのない限り、「お子さん」について、保護者の方がご記入ください。
3. ご回答は、選択肢に○印をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。
4. 就学前のお子さんについては問1～20、問23～31にお答えください。
小学生のお子さんについては問1～13、問21～31にお答えください。

下記の保護者の方	問1～問13	問14～問20	問21～問22	問23
①就学前のお子さん	○	○	×	○
②小学生のお子さん	○	×	○	○

5. ご記入が済みましたら、配布の際に入っていた封筒に入れ、封をして下記の方法でご提出ください。

【就園児・小学生】…保育園、小学校にご提出ください。
【未就園児】…役場職員が回収にうかがいます。

10月22日(火)まで

【この調査に関するお問い合わせ先】

上北山村 住民課 (担当 廣野、井奥)

TEL:07468-3-0223 ファックス:07468-3-0265

【すべての保護者の方におうかがいします。】

1 お子さんご家族の状況について

問1 お住いの地区はどちらですか。(○は1つ)

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 河合 | 2. 小椽 | 3. 白川 | 4. 西原 |
|-------|-------|-------|-------|

問2 この調査票の対象となっているお子さんの生年月日は、次のうちのどれに該当しますか。
また、小学生の方はどの学年に該当しますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 令和6年4月2日以降 | 2. 令和5年4月2日～令和6年4月1日 |
| 3. 令和4年4月2日～令和5年4月1日 | 4. 令和3年4月2日～令和4年4月1日 |
| 5. 令和2年4月2日～平成31年4月1日 | 6. 平成31年4月2日～令和2年4月1日 |
| 7. 平成30年4月2日～平成31年4月1日 | |
| 8. 小学1年生 | 9. 小学2年生 |
| 10. 小学3年生 | 11. 小学4年生 |
| 12. 小学5年生 | 13. 小学6年生 |

問3 この調査票の対象となっているお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。
(○は1つ)

- | | | | |
|-------|-------|-------|---------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 | 4. 4人以上 |
|-------|-------|-------|---------|

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|-------|-------|----------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他(具体的に:) |
|-------|-------|----------------|

問5 この調査にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。(○は1つ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者がいない |
|-----------|------------|

問6 この調査票の対象となっているお子さんからみて、同居の家族はどなたですか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | | | |
|----------|----------------|-------|-------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. 祖母 | 4. 祖父 |
| 5. きょうだい | 6. その他(具体的に:) | | |

問7 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（○は1つ）

- | | | |
|----------|---------------------|---------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 |
| 4. 主に祖父母 | 5. その他（具体的に： _____） | |

2 子どもの育ちをめぐる環境について

問8 日頃、この調査票の対象となっているお子さんの面倒をみてもらえる人はいますか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問9 この調査票の対象となっているお子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。（○は1つ）

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. いる／ある ⇒問10へ | 2. いない／ない ⇒問11へ |
|----------------|-----------------|

問9で「1. いる／ある」を選択した方にうかがいます。

問10 気軽に相談できる人や場所などについて教えてください。（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 保健所・保健センター（保健師） |
| 5. 保育士 | 6. 小学校教諭 |
| 7. 民生委員・児童委員 | 8. かかりつけの医師 |
| 9. 村の子育て関連窓口 | 10. その他（具体的に： _____） |

3 お子さんの母親・父親の就労状況について (保護者が祖父母などの場合は記入不要です)

問11 お子さんの保護者の就労状況について、「①現在の状況」と「②1年以内の希望」(実現見込みがある)をお答えください。(母親、父親それぞれ〇は1つ)

- ※ 「1」・「2」の選択肢には、産休・育休・介護休業中も含まれます。
- ※ 自営業や家事従事者も含めてお答えください。
- ※ ひとり親世帯の場合は、片方の親についての記入は不要です。
- ※ 「①現在の状況」と「②1年以内の希望」で同様の就労状況が想定される場合は、同じ番号を選択してください。

① 現在の状況

(1) 母親の就労状況 (〇は1つ)	(2) 父親の就労状況 (〇は1つ)
1. フルタイム【1週5日程度・1日8時間程度】	1. フルタイム【1週5日程度・1日8時間程度】
2. パート・アルバイト【フルタイム以外】	2. パート・アルバイト【フルタイム以外】
3. 専業主婦(夫)または就労していない	3. 専業主婦(夫)または就労していない

② 1年以内の希望 (実現見込みがある)

(1) 母親の就労状況 (〇は1つ)	(2) 父親の就労状況 (〇は1つ)
1. フルタイム【1週5日程度・1日8時間程度】	1. フルタイム【1週5日程度・1日8時間程度】
2. パート・アルバイト【フルタイム以外】	2. パート・アルバイト【フルタイム以外】
3. 専業主婦(夫)または就労していない	3. 専業主婦(夫)または就労していない

問11の「① 現在の状況」で「1. フルタイム」「2. パート・アルバイト」を選択した方(現在働いていると答えた方)にうかがいます。

問12 家を出る時刻と帰宅時刻を □ 内に数字でご記入ください。

- ※ 一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
- ※ 時間帯は24時間表記でご記入ください。(例 午後4時の場合 ⇒ 時)

(1) 母親	家を出る時間: <input type="text"/> <input type="text"/> 時	帰宅時間: <input type="text"/> <input type="text"/> 時
(2) 父親	家を出る時間: <input type="text"/> <input type="text"/> 時	帰宅時間: <input type="text"/> <input type="text"/> 時

問11の「② 1年以内の希望」で「3. 専業主婦(夫)または就労していない」を選択した方にうかがいます。

問13 1年よりも先、将来的な就労希望はありますか。(〇は1つ)

- ※ 「2」を選択した場合は、□ 内に希望する年齢を数字でご記入ください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 子育てや家事などに専念したい(就労希望なし)	1. 子育てや家事などに専念したい(就労希望なし)
2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になった頃に就労したい	2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になった頃に就労したい

【就学前のお子さんについてうかがいます。】※小学生の場合は、問21(8ページ)へ

4 お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

※ ここで言う「定期的な教育・保育事業」とは、月々、定期的にご利用している事業を指します。

問14 お子さんは現在「やまゆり保育園」を利用されていますか。(○は1つ)

1. やまゆり保育園を利用している ⇒問15へ
 2. やまゆり保育園を利用していない ⇒問16へ

問14で「1. やまゆり保育園を利用している」を選択した方にうかがいます。

問15(1) やまゆり保育園について、現在の利用状況、今後の利用希望を□内に数字をご記入ください。

※ 時間帯は24時間表記でご記入ください。(例 午後4時の場合 ⇒ 16時)

	A. 現在の利用状況	B. 希望する利用時間等
利用日数・時間	週□日 1日□□時間	週□日 1日□□時間
利用の時間帯	□□時~□□時	□□時~□□時

問15(2) 平日、定期的に教育・保育事業が必要な理由は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 子どもの教育や発達のため
 2. 現在、就労しているため
 3. 就労の予定がある/求職中であるため
 4. 家族・親族などを介護しているため
 5. 保護者に病気や障がいがあるため
 6. 学生であるため
 7. その他(具体的に:)

問13で「2. やまゆり保育園を利用していない」を選択した方にうかがいます。

問16 利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

※ 「7」を選択した場合は、□内に希望する年齢を数字でご記入ください。

1. 保護者が自宅でみている
 2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
 3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
 4. 保育・教育施設に空きがない
 5. 経済的な理由で事業を利用できない
 6. 延長・夜間などの時間帯の条件が合わない
 7. 子どもがまだ小さいため(□歳くらいになったら利用しようと考えている)
 8. その他(具体的に:)

5 お子さんの土曜、日曜日・祝日の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問17 お子さんの教育・保育事業(保育園など)について、土曜日、日曜日・祝日の利用希望はありますか。(一時利用を除く)

※ これらの事業には、保育料などの一定の利用料がかかります。

※ 時間帯は24時間表記でご記入ください。(例 午後4時の場合 ⇒ 時)

(1) 土曜日 (○は1つ) ※ 「2」または「3」を選択した場合は、□内に数字をご記入ください。

1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1~2回は利用したい	→	利用したい時間帯 <input type="text"/> <input type="text"/> 時~ <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
---	---	--

(2) 日曜日・祝日 (○は1つ) ※ 「2」または「3」を選択した場合は、□内に数字をご記入ください。

1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1~2回は利用したい	→	利用したい時間帯 <input type="text"/> <input type="text"/> 時~ <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
---	---	--

問17 (1) または (2) で「3. 月に1~2回は利用したい」を選択した方にうかがいます。

問18 毎週ではなく、月に1~2回利用したい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 月に数回仕事が入るため 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため 3. 親族の介護や手伝いが必要なため 4. リフレッシュのため(息抜きのため) 5. その他(具体的に: _____)

6 小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 19 お子さんが小学校に入ったら、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(1)小学校1～3年生の間、(2)小学校4～6年生の間でそれぞれ希望する場所を【選択肢】から3つまで選び、週あたりの希望日数をお答えください。(□内に数字を記入)

(1) 小学校1～3年生の間		(2) 小学校4～6年生の間	
場所 (番号を記入)	週あたりの希望日数 (数字を記入)	場所 (番号を記入)	週あたりの希望日数 (数字を記入)
□	週 □ 日くらい	□	週 □ 日くらい
□	週 □ 日くらい	□	週 □ 日くらい
□	週 □ 日くらい	□	週 □ 日くらい

↑

【選択肢】

1. 自宅	2. 祖父母宅や友人・知人宅
3. 習い事(ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など)	4. 放課後支援(※1)
5. 放課後児童クラブ	6. とちの木センター
7. その他(公園など)	

※ 1：放課後に教室を開放し、小学校教諭・地域住民の協力によって子どもたちの居場所をつくる取り組みです。

問19の(1)または(2)で「5. 放課後児童クラブ」を選択した方にうかがいます。

問20(1) 利用を希望する時間について、お答えください。

① 「小学校1～3年生の間」で「5. 放課後児童クラブ」を選択した方(○は1つ)

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. 下校時から16時まで | 2. 下校時から17時まで | 3. 下校時から18時まで |
| 4. 下校時から19時まで | 5. 下校時から20時まで | 6. 下校時から20時以降 |

② 「小学校4～6年生の間」で「5. 放課後児童クラブ」を選択した方(○は1つ)

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. 下校時から16時まで | 2. 下校時から17時まで | 3. 下校時から18時まで |
| 4. 下校時から19時まで | 5. 下校時から20時まで | 6. 下校時から20時以降 |

問20(2) 土曜日、日曜日・祝日、長期の休み(春・夏・冬休み)について、それぞれの期間における放課後児童クラブの利用希望をお答えください。

※ ①～③について「1」または「2」を選択した場合は、□内に希望する時間帯を数字でご記入ください。

※ 時間帯は24時間表記でご記入ください。(例 午後4時の場合 ⇒ 時)

① 土曜日

<p>1. 低学年の間(1～3年生)だけ利用したい</p> <p>2. 小学生の間(1～6年生)は利用したい</p> <p>3. 利用する必要はない</p>	→	<p>利用したい時間帯</p> <p><input type="text"/> <input type="text"/> 時～ <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで</p>
--	---	---

② 日曜日・祝日

<p>1. 低学年の間(1～3年生)だけ利用したい</p> <p>2. 小学生の間(1～6年生)は利用したい</p> <p>3. 利用する必要はない</p>	→	<p>利用したい時間帯</p> <p><input type="text"/> <input type="text"/> 時～ <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで</p>
--	---	---

③ 長期の休み(春・夏・冬休み)

<p>1. 低学年の間(1～3年生)だけ利用したい</p> <p>2. 小学生の間(1～6年生)は利用したい</p> <p>3. 利用する必要はない</p>	→	<p>利用したい時間帯</p> <p><input type="text"/> <input type="text"/> 時～ <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで</p>
--	---	---

【小学生のお子さんについてうかがいます。】※就学前の場合は、問23(10ページ)へ

7 お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問21 お子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。(1)現在の場所と、(2)今後の希望を【選択肢】から3つまで選び、週あたりの日数をお答えください。(□内に数字を記入)

(1) 現在の場所

場所 (番号を記入)	週あたりの日数 (数字を記入)
□	週 □ 日くらい
□	週 □ 日くらい
□	週 □ 日くらい

(2) 今後の希望

場所 (番号を記入)	週あたりの希望日数 (数字を記入)
□	週 □ 日くらい
□	週 □ 日くらい
□	週 □ 日くらい

【選択肢】

1. 自宅
2. 祖父母宅や友人・知人宅
3. 習い事
(ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など)
4. 放課後支援(※1)
5. とちの木センター
6. その他(公園など)

1. 自宅
2. 祖父母宅や友人・知人宅
3. 習い事
(ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など)
4. 放課後支援(※1)
5. 放課後児童クラブ
6. とちの木センター
7. その他(公園など)

※1 放課後に教室を開放し、小学校教諭・地域住民の協力によって子どもたちの居場所をつくる取り組みです。

問21の(2)で「5. 放課後児童クラブ」を選択した方にうかがいます。

問22(1) 平日の利用希望時間について、お答えください。(○は1つ)

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. 下校時から16時まで | 2. 下校時から17時まで | 3. 下校時から18時まで |
| 4. 下校時から19時まで | 5. 下校時から20時まで | 6. 下校時から20時以降 |

問21の(2)で「5. 放課後児童クラブ」を選択した方にうかがいます。

問22(2) 土曜日、日曜日・祝日、長期の休み(春・夏・冬休み)について、それぞれの期間における放課後児童クラブの利用希望をお答えください。

※ ①～③について「1」または「2」を選択した場合は、□内に希望する時間帯を数字でご記入ください。

※ 時間帯は24時間表記でご記入ください。(例 午後4時の場合 ⇒ 時)

① 土曜日

1. 低学年の間(1～3年生)だけ利用したい	}	→	利用したい時間帯 <input type="text"/> <input type="text"/> 時～ <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
2. 小学生の間(1～6年生)は利用したい			
3. 利用する必要はない			

② 日曜日・祝日

1. 低学年の間(1～3年生)だけ利用したい	}	→	利用したい時間帯 <input type="text"/> <input type="text"/> 時～ <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
2. 小学生の間(1～6年生)は利用したい			
3. 利用する必要はない			

③ 長期の休み(春・夏・冬休み)

1. 低学年の間(1～3年生)だけ利用したい	}	→	利用したい時間帯 <input type="text"/> <input type="text"/> 時～ <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
2. 小学生の間(1～6年生)は利用したい			
3. 利用する必要はない			

【すべての保護者の方にかがいます。】

8 とちの木センターについて

問23(1) あなたは「とちの木センター」を知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている ⇒問23(2)ハ

2. 知らない ⇒問23(4)ハ

問23(1)で「1. 知っている」を選択した方にかがいます。

問23(2) あなたは「とちの木センター」を利用したことがありますか。(○は1つ)

1. 利用したことがある ⇒問23(3)ハ

2. 利用したことがない ⇒問23(4)ハ

問23(2)で「1. 利用したことがある」を選択した方にかがいます。

問23(3) あなたは「とちの木センター」のどのような施設や整備を利用しましたか。

(あてはまる番号すべてに○)

【1階】

1. コインランドリー

2. コミュニティーカフェ

3. ダイニングホール・キッチン

【2階】

4. フィットネスルーム

【3階】

5. キッズルーム

6. もみじ図書館

7. とちのき(歴史・文化展示閲覧室)

8. コミュニティルーム(村民の社会教育と生涯学習室)

9. エンターテインメントルーム(音楽と映像の交流室)

10. その他(具体的に:)

問23(4) 現在、「とちの木センター」には上記の施設や整備がありますが、今後、どのような施設や整備、サービスがあれば利用したいですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 子どもの学習サポート

2. 子どもを一時的に預かってくれるサービス

3. 多世代交流イベント(親子で楽しめる読書会や多世代が楽しめる音楽やダンスのイベント等)

4. こども家庭支援センター(子どもの健康や発達、教育等に関する相談窓口)

5. こども発達サポートセンター(発達に支援を必要とするこどもたちへの支援)

6. こども保健センター(子どもに特化した保健センター)

7. 地域就労支援センター

8. その他(具体的に:)

9. わからない

9 育児休業などの職場と子育ての両立支援制度について

問24(1) この調査票の対象となっているお子さんが生まれた時(その後)、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(母親、父親それぞれ○は1つ)

(ひとり親世帯の場合、母親もしくは父親の記入は不要です。)

※ 「4」を選択した場合は、その理由を下記の「1」～「14」から選んで □ 内に番号をご記入ください。

(1) 母親 (○は1つ)	(2) 父親 (○は1つ)
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 現在取得中である	2. 現在取得中である
3. 取得した	3. 取得した
4. 取得していない	4. 取得していない
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 取得していない理由 (いくつでも) </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 取得していない理由 (いくつでも) </div>

【選択肢】

- | | |
|--|---------------------|
| 1. 育児休業を取りにくい職場の雰囲気があった | 2. 仕事が忙しかった |
| 3. (産休後に)仕事に早く復帰したかった | 4. 仕事に戻るのが難しそうだった |
| 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった | 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる |
| 7. 保育園などに預けることができた | 8. 配偶者が育児休業制度を利用した |
| 9. 配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった | |
| 10. 子育てや家事に専念するため退職した | |
| 11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった) | |
| 12. 有期雇用(アルバイト・パートを含む)のため育児休業の取得要件を満たさなかった | |
| 13. 育児休業を取得できることを知らなかった | |
| 14. その他 (具体的に: _____) | |

問24の(1)で育児休業を「3. 取得した」を選択した方にうかがいます。

問24(2) 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、「希望」はどうでしたか。□内に数字でご記入ください。

(1) 母親 (□に数字を記入)	(2) 父親 (□に数字を記入)
① 実際の復帰: □ 歳 □ □ か月	① 実際の復帰: □ 歳 □ □ か月
② 希望 : □ 歳 □ □ か月	② 希望 : □ 歳 □ □ か月

問 25 仕事と子育てを両立する上で必要だと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

1. 放課後児童クラブや保育園などの整備
2. 急な残業や出張などに、柔軟に対応してくれる保育事業の整備
3. 子どもや自分が病気やケガをした時に、面倒をみてくれる人や保育事業があること
4. 同居の家族が子育てに協力してくれること
5. 育児休業や介護休業などの取得が容易なこと
6. フレックスタイムや短時間勤務などの活用
7. 育児休業中の経済的支援が充実すること
8. 子育てや保育事業等に関する情報提供
9. その他(具体的に:)

10 子ども・子育て支援全般について

問 26 お子さんの子育て(教育を含む)をする上で、主に誰(どこ)から情報を得ていますか。
(あてはまる番号すべてに〇)

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人・知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 保健所・保健センター(保健師) |
| 5. 保育士 | 6. 小学校教諭 |
| 7. 民生委員・児童委員 | 8. かかりつけの医師 |
| 9. 役場の担当窓口 | 10. その他() |

問 27 子どもの健全育成や非行防止のために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇は3つまで)

1. 家庭でのしつけやこころの教育を充実する
2. 学校での生徒指導や教育を強化する
3. 学校や地域、行政、警察などが連携し、指導体制を充実する
4. 青少年が高齢者や大人など、地域の人びととふれあう機会を増やす
5. 青少年に及ぼす影響の大きい雑誌やビデオなどの販売、ちらし等を排除する
6. 万引きなどを防止するための管理体制を強化する
7. 青少年の非行防止・健全育成のための相談体制を強化する
8. 今のままでもよい
9. その他(具体的に:)

問 28 あなたは、地域の子どもたちとの交流や活動をさらに活発にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 活動に地域の人が参加する機会を増やす
2. 調整や助言を行う専門的なコーディネーター役が必要
3. 自治会など地域組織で、子どもや子育てについての活動に力を入れる
4. 住民を対象に地域活動を支援するボランティアの募集や養成をする
5. 住民を対象に地域活動を支援するNPOを育成する
6. 子どもにかかわる地域活動の情報を一元化する
7. 身近なところに、地域活動の拠点になる場をつくる
8. 地域において親子の仲間づくり・育児サークル※活動を推進する
9. 近隣市町村との子どもや子育てについて交流出来る場をつくる
10. 子ども食堂等による親子が食事や交流等を通して地域の人と繋がる居場所をつくる
11. 子どもが意見を出し合い、子どもが中心になって行う活動を育成する
12. 障がいがある子の参加を促進するなど、地域のすべての子どもが参加できるように配慮する
13. わからない
14. その他 (具体的に:)

※ 育児サークル：子どもとその保護者が集まって、一緒に遊びながら友達作りをしたり、情報交換をしたりして、子育てについて学び、悩みを相談しながら育児を共にしていこうとするサークル活動です。

問 29 あなたは、上北山村の子育て施策等に関する以下の項目を、どのように感じますか。
(それぞれ〇は1つ)

	はい	いいえ	どちらでもない
① 子育てを楽しんでいると感じていますか	1	2	3
② 子どもがいても安心して働けると感じていますか	1	2	3
③ 乳幼児健診の体制に満足していますか	1	2	3
④ 子どもへの教育環境が充実していると思いますか	1	2	3
⑤ 青少年が健全に過ごせるまちだと感じますか	1	2	3
⑥ 障がいがある子どもなどを安心して育てられると感じますか	1	2	3
⑦ 学校などの公共施設が子どもにとって安心できる場だと思いますか	1	2	3
⑧ 地域ぐるみで子どもを見守る体制ができていると思いますか	1	2	3
⑨ 子育てが地域の人たちに支えられていると感じますか	1	2	3
⑩ 公園など遊び場が充実していると思いますか	1	2	3
⑪ 犯罪被害にあうことの少ない安全なまちだと思いますか	1	2	3

問30 子育てに関して、日常的に悩んでいること、不安に感じること、または気になることはどのようなことですか。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 子どもの病気や発育・発達に関すること
2. 子どもの食事や栄養に関すること
3. 育児の方法がよくわからないこと
4. 子どもとの接し方に自信がもてないこと
5. 子どものしつけに関すること
6. 子どもとの時間を十分とれないこと
7. 話し相手や相談相手がいけないこと
8. 保護者同士の交流・付き合いが難しいこと
9. 子どもの教育に関すること
10. 子どもの将来の養育費に関すること
11. 子どもの友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること
12. 登園拒否、不登校に関すること
13. 仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと
14. 子育てに関して配偶者、パートナーの協力が少ないこと
15. 配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと
16. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場など周囲からの目が気になること
17. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
18. 子どもを叱りすぎているような気がする
19. 子育てのストレス等により、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと
20. 地域の子育て支援サービスの内容や利用方法がよくわからないこと
21. 子どもが安心して遊べる場所がないこと
22. ネット社会の子どもへの弊害が心配なこと
23. その他（具体的に： _____)
24. 特にない

問31 あなたは、上北山村が子育てしやすい村だと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------|---------------|-----------------|
| 1. 思う | 2. どちらかと言えば思う | 3. どちらかと言えば思わない |
| 4. 思わない | 5. わからない | |

2 こどもの意識と生活に関する調査

かみきたやまむら 上北山村 こ 子どもの生活についてのアンケート調査 ちょうさ

<アンケート調査ご協力のお願い>

- ・ この調査は、みなさんの生活状況などを調べるためのもので、上北山村が実施するものです。
- ・ 名前を書く必要はありませんので、あなたの回答が誰かに知られたり、家族に連絡が入ったりすることはありません。また、成績に影響するものではありません。自分の考えたとおりに書いてください。
- ・ 安心して答えられるよう、おうちの人や学校の先生には回答を見せないでください。
- ・ 質問の回答は、あてはまる番号を選んでください。質問の終わりに「○は1つ」や「あてはまる番号すべてに○」と書いてあるので、よく読んで答えてください。
- ・ 質問によっては、番号を選ぶのではなく、自分の考えを直接答えるものがあります。
- ・ あなたの回答は、プライバシーの保護に十分注意し、調査の目的以外には使用しません。
- ・ アンケートは、書き終わったら封筒に入れて、封をして10月22日(火)までに担任の先生に出してください。



れいわ ねん がつ 令和6年10月 かみきたやまむら 上北山村

【 この調査に関するお問い合わせ先 】

かみきたやまむら じゅうみんか 上北山村 住民課 (担当 ひろの いおく 廣野、井奥)

TEL:07468-3-0223 ファックス:07468-3-0265

問5 あなたは、今、自分が幸せだと思いますか。あなたの実感をお答えください。
(○は1つ)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえば、そう思う |
| 3. どちらかといえば、そう思わない | 4. そう思わない |

2 心だんの生活について

問6 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない) から「10」(十分に満足している)の数字で教えてください。
(○は1つ)

0 ←まったく満足していない					十分に満足している→ 10					
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問7 次の場所は、今のあなたにとって居場所(ほっとできる場所、安心できる場所)になっていますか。(それぞれ○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらかといえば そう思う	3 どちらかといえば そう思わない	4 そう思わない	5 あてはまるものはない、 わからない
① 自分の部屋	1	2	3	4	5
② 家庭	1	2	3	4	5
③ 学校	1	2	3	4	5
④ 地域(とちの木センターや公民館や公園など、現在住んでいる場所やそこにある建物など)	1	2	3	4	5
⑤ インターネット空間(SNS、YouTubeやオンラインゲームなど)	1	2	3	4	5

問8 以下の①～③の項目について、あなたはどれくらいよく感じていますか。
(それぞれ○は1つ)

	1 まったく ない	2 ほとんど ない	3 時々 ある	4 いつも ある
① 自分には話せる人がいないと感じることがある	1	2	3	4
② 自分はまわりから、取りのこされていると感じることがある	1	2	3	4
③ 自分はひとりぼっちだと感じることもある	1	2	3	4

問9 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。(○は1つ)

1. まったくない	2. ほとんどない
3. たまにある	4. 時々ある
5. しばしばある・いつもある	

問10 家族とあなたのかかわりは、どのようなものですか。(それぞれ○は1つ)

	1 そう 思う	2 そう 思う ど ちら か と い え ば	3 そう 思 わ な い ど ち ら か と い え ば	4 そう 思 わ な い
① 何でも悩みを相談できる人がいる	1	2	3	4
② こまったときは助けてくれる	1	2	3	4
③ 他の人には言えない本音を話せることがある	1	2	3	4
④ いっしょに楽しい時間を過ごしている	1	2	3	4

問11 学校で出会った友だち（現在通っている学校やこれまでに通っていた学校の友だちなど）と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。（それぞれ○は1つ）

	1 そう思う おも	2 そう思う おも どちらかといえば	3 そう思わない おも どちらかといえば	4 そう思わない おも
① 何でも悩みを相談できる人がいる	1	2	3	4
② こまったときは助けてくれる	1	2	3	4
③ 他人には言えない本音を話せることがある	1	2	3	4
④ いっしょに楽しい時間を過ごしている	1	2	3	4

問12 地域の人（近所の人など）と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。（それぞれ○は1つ）

	1 そう思う おも	2 そう思う おも どちらかといえば	3 そう思わない おも どちらかといえば	4 そう思わない おも
① 何でも悩みを相談できる人がいる	1	2	3	4
② こまったときは助けてくれる	1	2	3	4
③ 他人には言えない本音を話せることがある	1	2	3	4
④ いっしょに楽しい時間を過ごしている	1	2	3	4

問13 インターネット上における人やグループ（実際には会ったことがなかったり、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合いの人やグループ）と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。（それぞれ○は1つ）

	1 そう思う	2 そう思う どちらかといえば	3 そう思わない どちらかといえば	4 そう思わない
① 何でも悩みを相談できる人がいる	1	2	3	4
② こまったときは助けてくれる	1	2	3	4
③ 他の人には言えない本音を話せることがある	1	2	3	4
④ いっしょに楽しい時間を過ごしている	1	2	3	4

問14 あなたは、だれとでもすぐに仲良くなれる方ですか。（○は1つ）

1. そう思う	2. どちらかといえば、そう思う
3. どちらかといえば、そう思わない	4. そう思わない

問15 あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思えますか。（○は1つ）

1. そう思う	2. どちらかといえば、そう思う
3. どちらかといえば、そう思わない	4. そう思わない

問16 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。（○は1つ）

1. 希望がある	2. どちらかといえば希望がある
3. どちらかといえば希望がない	4. 希望がない

問17 あなたは、週にどのくらいごはんを食べていますか。(それぞれに○は1つ)

① 朝ごはん

- | | | |
|-----------------|-------------|-----------|
| 1. 毎日食べる (週 7日) | 2. 週 5～6日 | 3. 週 3～4日 |
| 4. 週 1～2日 | 5. ほとんど食べない | |

② 晩ごはん

- | | | |
|-----------------|-------------|-----------|
| 1. 毎日食べる (週 7日) | 2. 週 5～6日 | 3. 週 3～4日 |
| 4. 週 1～2日 | 5. ほとんど食べない | |

問18 あなたは、平日 (月曜日から金曜日) の放課後をいつもどのようにすごしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|-------------------------|
| 1. 学校にいる |
| 2. 放課後児童クラブ (学童保育) にいる |
| 3. 家で親や祖父母等の大人とすごす |
| 4. 家で子どもだけですごす |
| 5. 公園などで友達と遊んでいる |
| 6. クラブ活動や地域のスポーツ活動をしている |
| 7. 塾や習いごとを行っている |
| 8. その他 (具体的に: _____) |

問19 ふだん家 (暮らしている場所) にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。よくしていることをすべて選んでください。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------------------|---------------------|
| 1. テレビを見る | 2. ラジオを聴く |
| 3. 本を読む | 4. 新聞を読む |
| 5. ゲームをする (オンラインゲームを含む) | 6. 勉強をする |
| 7. 家事をする | 8. 家族の看病をしたり、お世話をする |
| 9. インターネットをする (YouTube、SNSを含む) | |
| 10. あてはまるものはない | |

3 相談先について

問20 あなたは今までに、ものごとがうまくいかず落ち込んだ経験があったと思いますか。または、現在、ありますか。最もあてはまるものを選んでください。(○は1つ)

1. あった (または、現在ある)
2. どちらかといえば、あった (ある)
3. どちらかといえば、なかった (ない)
4. なかった (ない)
5. わからない、答えられない

問21 あなたが、ものごとがうまくいかず落ち込んだときに、どういった人なら、相談したり、助けてもらったりしやすいと感じますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 家族
2. 学校の友だち
3. 地域の友だち
4. 先輩や後輩
5. 学校の先生
6. スクールカウンセラーなど学校にいる専門家
7. 地域の人
8. 病院や相談できる場所などにいる専門家 (学校以外の専門家)
9. 同じように落ち込んだ経験をした人たち
10. その他 (具体的に:)
11. 誰にも相談したり、助けてもらったりしようと思わない
12. わからない

問22 あなたは、家庭や学校以外で、悩みやこまりごとなどを相談できる場所があることを知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている
2. 知らない

あともう少し!



4 こ 子どもの権利について

< 児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）とは？ >

児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）は、子ども（18歳未満の人）が守られる対象であるだけでなく、権利をもつ主体であることを明確にしました。子どもがおとなと同じように、ひとりの人間としてもつ様々な権利を認めるとともに、成長の過程にあつて保護や配慮が必要な、子どもならではの権利も定めています。

問23 あなたは、「児童の権利に関する条約」について聞いたことがありますか。

（○は1つ）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. どんな内容がよく知っている | 2. どんな内容が少し知っている |
| 3. 名前だけ聞いたことがある | 4. 聞いたことがない |

問24 あなたは、子どもが意見を表明する権利がある（子どもの意見の尊重）のを知っていますか。（○は1つ）

- | |
|----------------------|
| 1. 聞いたことがあり、内容も知っている |
| 2. 聞いたことはあるが、よく知らない |
| 3. 聞いたことはない |

問25 あなたは、国や奈良県、上北山村の制度や政策について、思ったことや意見を伝えたいですか。（○は1つ）

- | | |
|------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う |
| 3. あまり思わない | 4. そう思わない |



5 ヤングケアラーについて

<ヤングケアラーとは？>

本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものこと。責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている。



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている。



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。



障がいや病気のある家族の回りの世話をしている。



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

問26 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。(○は1つ)

1. 聞いたことがあり、内容も知っている
2. 聞いたことはあるが、よく知らない
3. 聞いたことはない

問27 あなたは「ヤングケアラー」にあてはまるとお思いますか。(○は1つ)

1. あてはまる
2. あてはまらない
3. わからない

6 こどもまんなか社会について

「こどもまんなか社会」とは、こどもや若者のみなさん一人ひとりの意見を聴いて、その声を大切にして、こどもや若者のみなさんにとって最もよいことは何かを考え、こどもに関する取組・政策を社会のまんなかに据えることです。

問28 今の社会は「こどもまんなか社会」の実現に向かっていていると思いますか。

(○は1つ)

1. 向かっている
2. どちらかという toward 向かっている
3. どちらかという toward 向かっていない
4. 向かっていない
5. わからない

問29 上北山村は、子どもや若者の意見や考えが、社会やまちづくりに反映されていると思いますか。(○は1つ)

1. 反映されている
2. どちらかという toward 反映されている
3. どちらかという toward 反映されていない
4. 反映されていない
5. わからない

問30 あなたが役場に意見や考えを伝えやすいものは次のうちどれですか。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 直接伝える
2. 誰かに聞いてもらい、代わりに伝えてもらう
3. メール
4. LINE、X (旧 Twitter)、Instagram などの SNS
5. 手紙
6. 役場のホームページに意見を入力する
7. アンケートの実施
8. 意見箱の設置
9. その他 ()
10. 意見を言いたいと思わない

問31 最後に、あなたがまわりの大人に言いたいことがあれば、自由に書いてください。

(役場にしてほしいこと、学校の先生に言いたいこと、家族にしてほしいことなど)

<hr/>

以上で調査は終わります。ご協力ありがとうございました。

第3期上北山村子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査
報告書

令和6(2024)年11月

編集・発行 上北山村住民課

〒639-3701

奈良県吉野郡上北山村大字河合330番地

TEL: 07468-3-0223

FAX: 07468-3-0265
